

エクシオール ブリッサタイプ

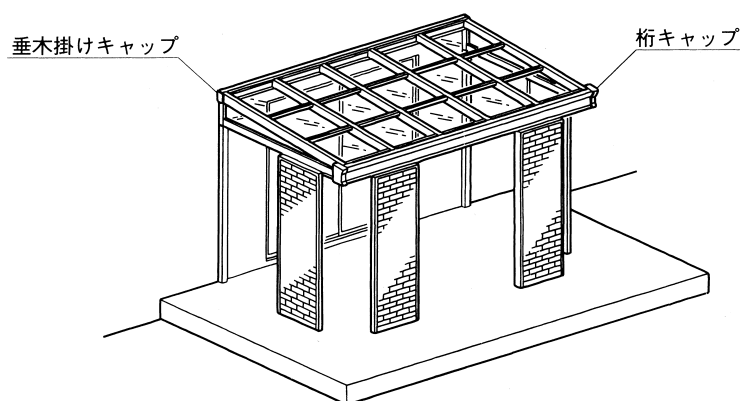
取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

1 ブリッサ 施工時の重要注意事項

施工のまえにご確認ください

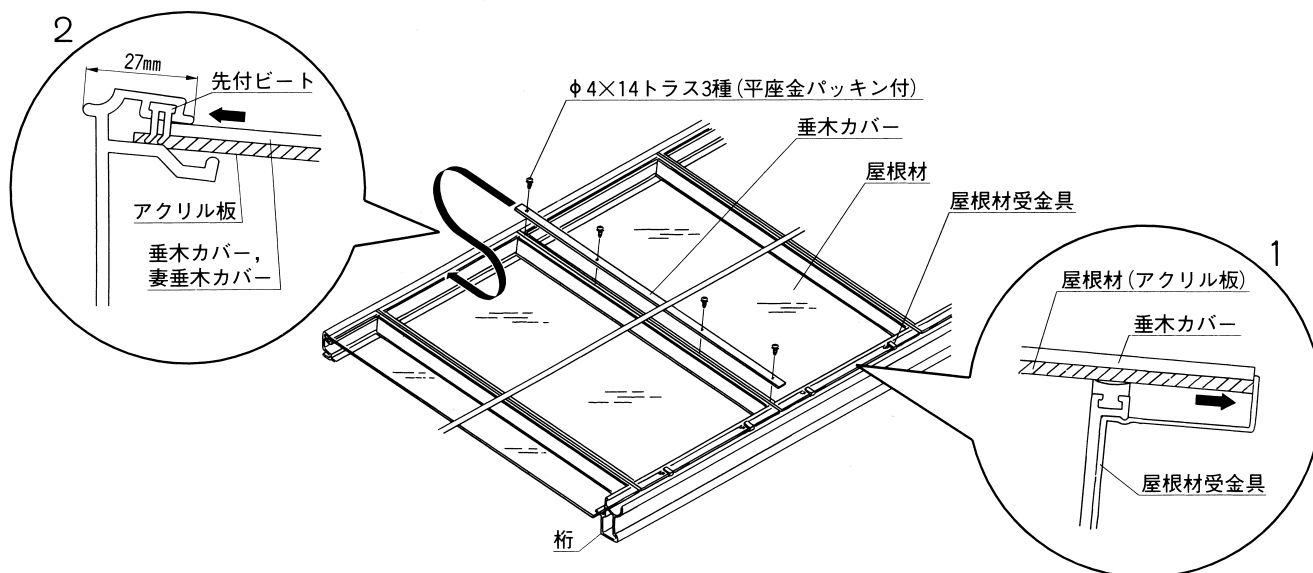
注1 部品(屋根部)の取付け



- ①必ず屋根材を取付ける直前に施工して下さい。
- ②各箇所しっかりとコーキングを施して下さい。

注2 屋根材の取付け

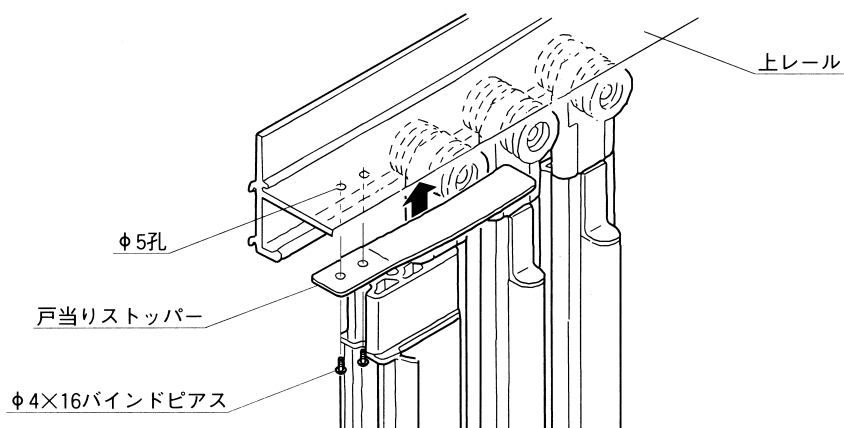
1. 屋根材(アクリル板)の取付は桁側の屋根材受け金具まで引出してセットして下さい。屋根材受けまで引出しないと、先端から水が回り込む恐れがあります。屋根材の片寄りに注意して下さい。屋根材が片寄ると、垂木カバーのセットが不十分になり浮いてしまい、そのまま固定すると吹き上げ力(風)に対し弱くなる恐れがあり、水が浸入する危険もあります。
2. 垂木カバーおよび妻垂木カバーは図示のように垂木掛けの中に挿入して施工して下さい。垂木カバー及び妻垂木カバーを垂木掛けの中まで(先付ビートに当たるまで)挿入しないと、雨漏れの原因となります。



施工のまえにご確認ください つづき

注3 戸当りストッパーの取付け

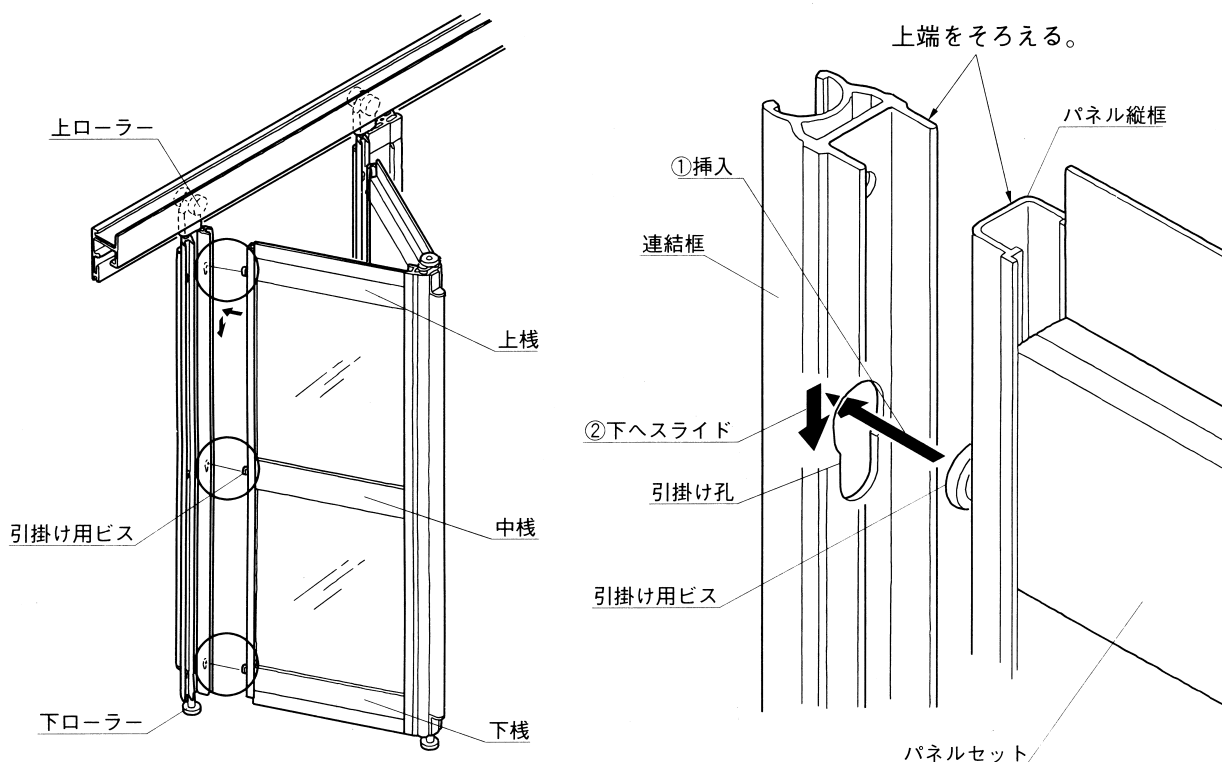
レール(引っ掛け側)に組付前に必ず所定位置にφ5の孔加工を行って下さい。また、戸当りストッパーは、パネル吊込み後に必ず取付けて下さい。所定位置に取付けないと、パネルを閉めるときに戸袋出口でロックして(戸袋内でパネルが広がる為)スムーズに出なくなり、破損の原因となります。



注4 パネルの取付け

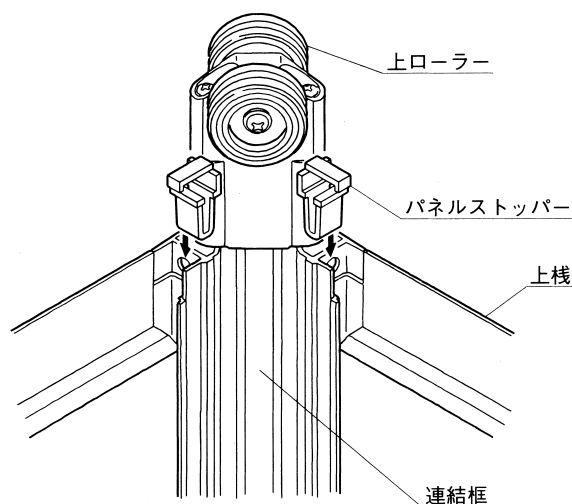
パネルセットの吊込時は、パネル縦框上端と連結框上端とをそろえてから、パネル部を引掛け孔に挿入し下へスライドさせて嵌合させて下さい。この時必ずパネルの上中下3ヶ所に引掛け用ビスの頭が完全に引っ掛かっていることを確認して下さい。

引掛け用ビスの頭が完全に引っ掛かっていないと、パネルが脱落したり、破損の恐れがあります。



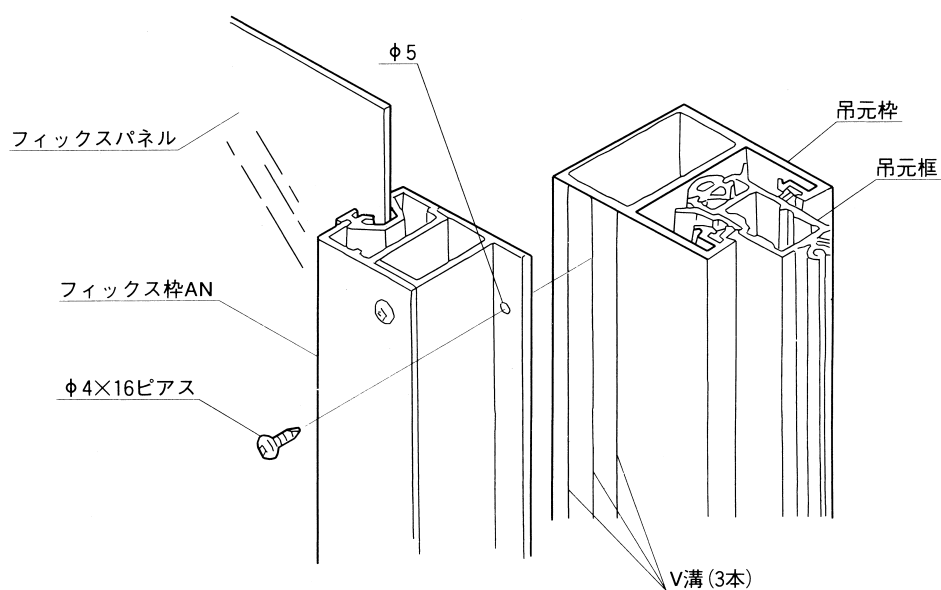
注5 パネルストッパーの取付け

全パネルの吊込みが完了後、連結框上部にパネルストッパーを取付けて下さい。
パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをする危険があります。



注6 フィックス枠ANの取付け

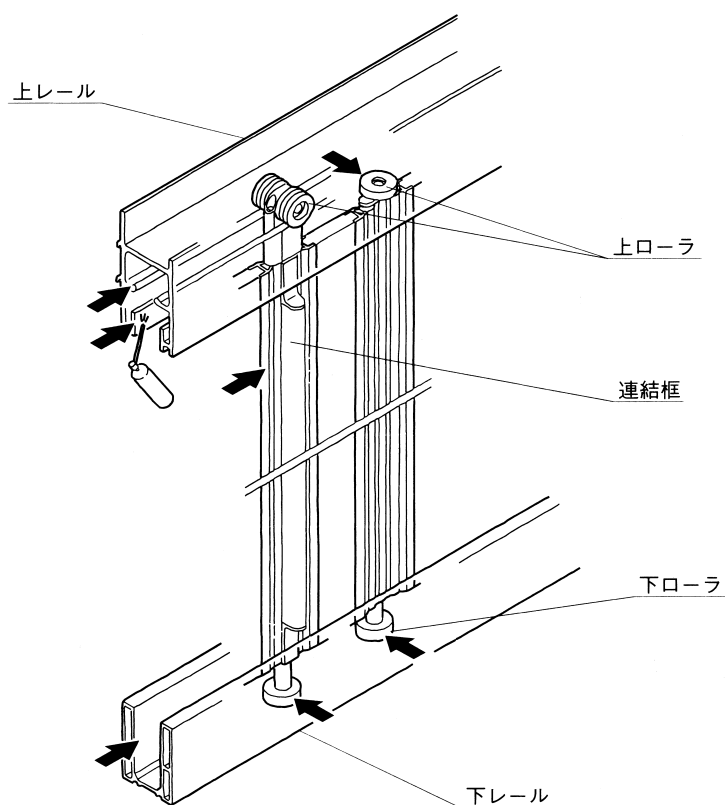
吊元枠へのフィックス枠ANの固定は、下図のように吊元枠側面の3本のV溝内に納まる位置で固定して下さい。V溝より外れると折戸パネルの開閉に不具合を生じる恐れがあります。



施工のまえにご確認ください つづき

注7 上下レール、上下ローラーの清掃

施工完了後、上下レール内、上下ローラー、摺動部等にCRC等の潤滑剤を吹きつけ、パネルがスムーズに開閉できることを確認して下さい。



2 プリッサ セット部品梱包明細

① 支柱・側枠セット

名 称	員 数
支柱	2
側枠(右)ASSY	1
側枠(左)ASSY	1
側枠蓋	4
アンカー棒	2

② 支柱セット

名 称	員 数
支柱	1

③ 桁・垂木掛けセット

名 称	員 数			
	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁ASSY	1	1	1	1
垂木掛けASSY	1	1	1	1
桁キャップB	2	2	2	2
桁キャップC	2	2	2	2
垂木掛けキャップ(右)	1	1	1	1
垂木掛けキャップ(左)	1	1	1	1
丸エルボ	6	6	6	6
丸樋	1	1	1	1
堅樋ASSY	2	2	2	2
堅樋キャップA	2	2	2	2
堅樋キャップB(右)	1	1	1	1
堅樋キャップB(左)	1	1	1	1
コーキング剤	1	1	1	1
接着剤	1	1	1	1
取付説明書	1	1	1	1
取扱説明書	1	1	1	1

④ 垂木セット

名 称	員 数			
	7尺 2本入	7尺 3本入	9尺 2本入	9尺 3本入
垂木ASSY	2	3	2	3
垂木カバーASSY	2	3	2	3
中骨ASSY	4	6	6	9

⑤ 妻垂木セット

名 称	員 数	
	7尺	9尺
妻垂木ASSY(右)	1	1
妻垂木ASSY(左)	1	1
妻垂木カバー	2	2
中骨ASSY	2	3
妻梁妻垂木組付金具(右)	1	1
妻梁妻垂木組付金具(左)	1	1
妻梁妻垂木組付金具取付けネジ	4	4

⑥ 妻梁セット

名 称	員 数
妻梁ASSY	2
上部方立ASSY(右)	1
上部方立ASSY(左)	1
妻垂木押え縁	2
上部方立用グレチャン	2
妻梁上部フィックスパッキン	2

⑦ 妻梁上部フィックスパネルセット

名 称	員 数
妻梁上部フィックスパネル	2

⑧ 屋根材セット

名 称	員 数	
	2枚入	3枚入
屋根材	2	3

⑨ 柱ベースセット

名 称	員 数
柱ベースASSY	1

⑩ 戸当り吊元框セット

名 称	員 数
戸当り框(掛け)ASSY	1
戸当り框(受け)ASSY	1
吊元框ASSY	2
吊元ストッパー	2

⑪ 吊元枠セットA

名 称	員 数
吊元枠ASSY	1

梱包明細書 つづき

12 戸当り吊元框セット(片引き用)

名 称	員 数
戸当り框(掛け) A S S Y	1
片引き用戸当り受け A S S Y	1
吊元框 A S S Y	1
吊元ストッパー	1

13 コーナーフィックスセット

名 称	員 数
コーナーフィックス取付け上下枠 A S S Y	2
フィックス取付け側枠 1 A S S Y	2
コーナーフィックスパネル A S S Y	1

14 側面フィックス枠セット

名 称	員 数
フィックス取付け側枠 1 A S S Y	1
フィックス取付け側枠 2 A S S Y	1
側面フィックス取付け上下枠 A S S Y	2
側面フィックス上下枠	2
フィックス側枠 A S S Y	2
側面フィックス上下蓋	2
側面フィックス用グレチャン(縦)	2
側面フィックス用グレチャン(横)	2
フィックス用パッキン 4	1
フィックス枠取付けネジ	8

15 フィックスパネルセット

名 称	員 数
フィックスパネル	2

16 ロックパネルセット

名 称	員 数
ロックパネル A S S Y	1
パネルストッパー	4

17 連結框セット

名 称	員 数
連結框 A S S Y	1

18 接着剤セット

名 称	員 数	
	1本入り	10本入り
接着剤	1	10

19 ネジセット

名 称	員 数	
	A	B
φ4×8特サラ3種(D=8)	100	100
φ4×12トラス3種(D=8)	190	220
φ4×14トラス3種 (平座金・パッキン付)(D=8)	100	130
φ4×16バインドピラス	280	300
φ6×70六角コーチスクリュー	11	13
φ4.1×32丸木ネジ	100	100
φ4.5×63丸木ネジ	15	15
フィッシャープラグ S 6タイプ	100	100
φ4×12六角フランジ付1種(十字穴付)	21	27

20 水切りセット

名 称	員 数		
	W:717	W:1057	W:1847
水切り笠木 A S S Y	1	1	1
水切りベース A S S Y	2	2	2
水切り笠木側枠	1	1	1
下部留め金具	2	2	2
ベースサイディング取付けネジ	70	105	140

21 ベースサイディング A セット

名 称	員 数	
	H:2100	H:2300
ベースサイディング A-1	2	2
ベースサイディング A-2	—	2

22 ベースサイディング B セット

名 称	員 数
ベースサイディング B	2

23 タイルセット

名 称	員 数	
	小箱	大箱
二丁掛け平	34	56

24 タイルセット(役物平)

名 称	員 数
役物平	64

25 方立セット

名 称	員 数
方立	2
方立溝蓋	2
中柱(A)取付けアングル	2
中柱(A)組付け金具	4

26 桁レールセット

名 称	員 数	
	外収納	内収納
桁上レール(引掛け側)	1	1
桁上レール(カバー側)	1	1
桁下レール	1	1
フィックス用パッキン3	2	2
下レール連結材A	1	1
下レール連結材B	1	1
戸当りストッパー	2	2
ストッパーガイド	2	2
ストッパーガイド取付けネジ	2	2
上棧カバー	4	—
連結框カバーA	2	—
連結框カバーB	2	—
ロック框カバーA	2	—
ロック框カバーB	2	—
上レール吊元枠, 戸当り枠取付けネジ	5	5

27 妻梁レールセット

名 称	員 数			
	A(7尺)		9尺	
	外収納	内収納	外収納	内収納
妻梁上レール(引掛け側)	1	1	1	1
妻梁上レール(カバー側)	1	1	1	1
妻梁下レール	1	1	1	1
フィックス用パッキン3	1	1	1	1
下レール連結材A	1	1	1	1
下レール連結材B	1	1	1	1
戸当りストッパー	1	1	1	1
ストッパーガイド	1	1	1	1
ストッパーガイド取付けネジ	1	1	1	1
上棧カバー	2	—	4	—
連結框カバーA	1	—	2	—
連結框カバーB	1	—	2	—
ロック框カバーA	1	—	2	—
ロック框カバーB	1	—	2	—
上レール吊元枠, 戸当り枠取付けネジ	5	5	5	5

28 錠セット

名 称	員 数		
	1個入り	2個入り	3個入り
シリンダー錠	1	2	3
化粧リング	1	2	3
サムターン	1	2	3
シリンダー錠取付ネジ	1	2	3
化粧リング取付ネジ	2	4	6
サムターン取付ネジ	1	2	3
鍵	3	3	3

29 ネジセット

名 称	員 数	
	ネジセットA	ネジセットB
φ4×8特サラ3種(D=6)	100	100
φ4×12トラス3種(D=8)	190	220
φ4×14トラス3種(D=8) 平座金、樹脂パッキン付	100	130
φ4×12六角フランジ付1種	21	27
φ4×16バインドピラス	280	300
φ6×70六角コーチスクリュー	11	13
φ4.1×32丸木ネジ	100	100
φ4.5×63丸木ネジ	15	15
フィッシャープラグS6	100	100

エクシオール ブリッサ INDEX

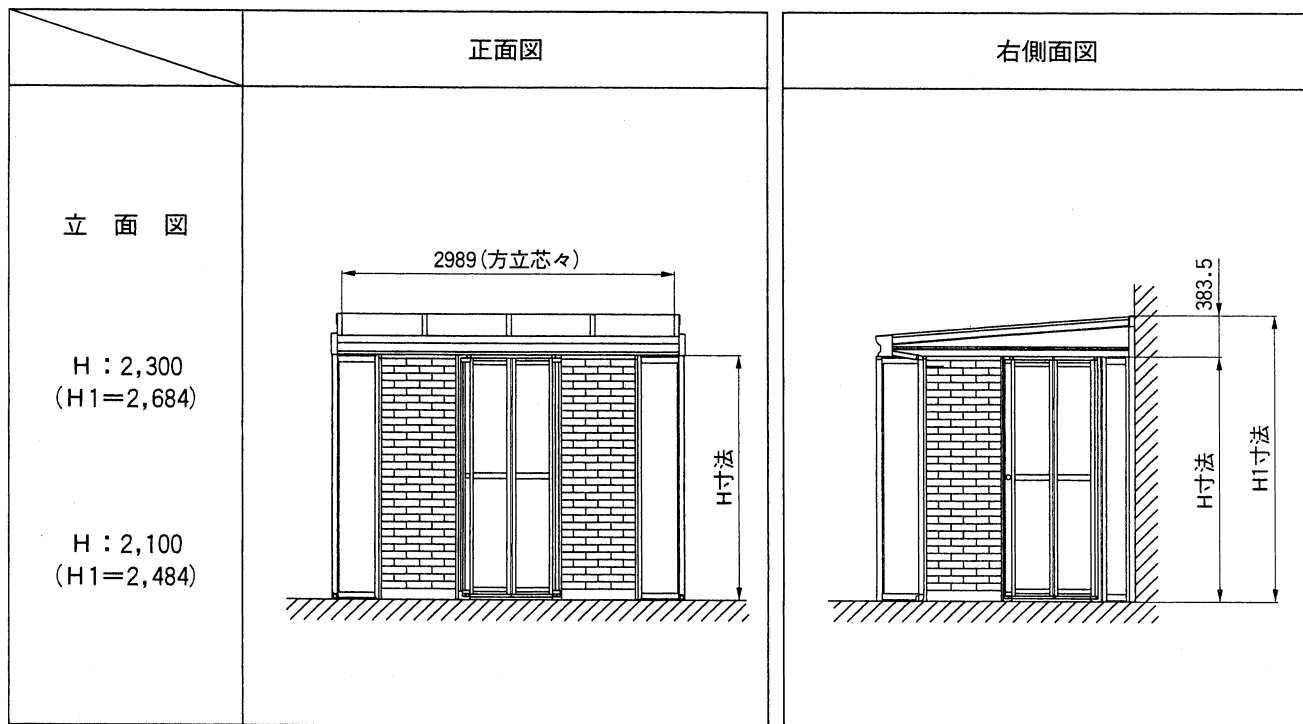
1	施工時の重要注意項目	1
2	セット部品梱包明細	5
3	基本寸法図	10
3-1	7尺 基本寸法図	10
3-2	9尺 基本寸法図	14
4	床の施工	18
4-1	柱の位置出し	18
4-2	土間の仕上げ	19
5	部材名称と本体の施工	21
5-1	垂木掛け・上部方立の取付け	22
5-2	柱・桁・妻梁の取付け	23
5-3	垂木・妻垂木・中骨の取付け	27
5-4	水切りベースの取付け	28
5-5	ベースサイディングの取付け	28
5-6	側枠の取付け	29
5-7	タイルの貼り込み	30
5-8	三角フィックスの取付け	31
5-9	屋根材の取付け	32
5-10	側枠蓋の取付け	33
5-11	水切り笠木側枠の取付け	33
5-12	コーナーフィックス取付枠の組立て	34
5-13	コーナーフィックスの取付け	35
6	部材名称と上下レールの施工	37
6-1	妻梁上レールの取付け	38
6-2	桁上レール(引掛け側)の取付け	39
6-3	上レール(カバー側)の取付け	40
6-4	吊元枠・戸当り枠(片開きのみ)の組立て	41
6-5	パッキン材の取付け	43
6-6	下レールの取付け	43
7	部材名称とパネルの施工	45
7-1	戸当り框への錠の取付け	46
7-2	戸当り框・連結框・吊元枠の取付け	47
7-3	パネルの吊込み	48
7-4	戸当りストッパー及びストッパーガイドの取付け	49
7-5	パネル上棧への戸袋水切りカバーの取付け(外収納のみ)	50
7-6	側面フィックスパネルの取付け	51
7-7	パネルの調整	55
7-8	縦樋の取付け	56
7-9	下レール調整金具の取付け(10ヶ入)	59

8	形材一覧表	60
9	取付寸法図	62
10	出幅断面納まり図	64
11	間口断面納まり図	66
12	チェックリスト	68
12-1	本体関係	68
12-2	レール関係	68
12-3	パネル関係	69

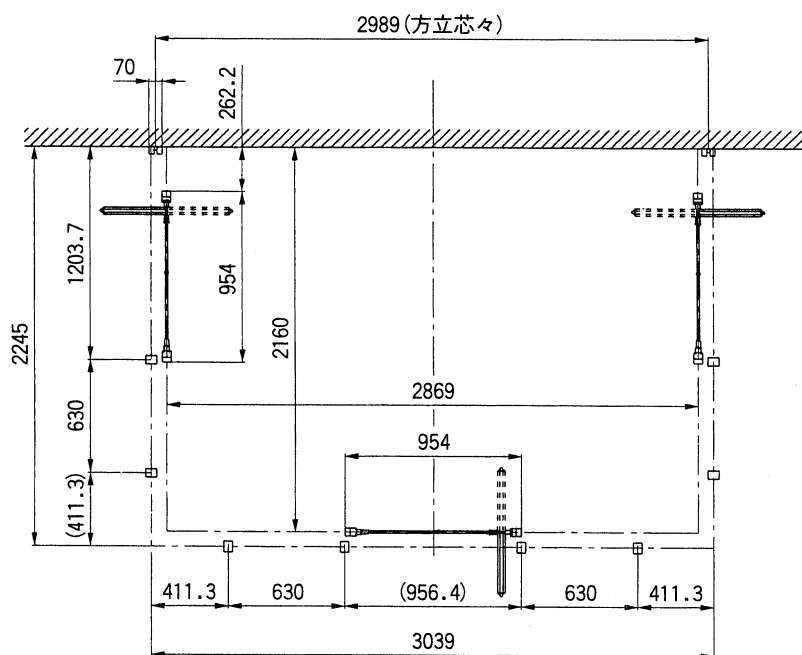
3 ブリッサ 基本寸法図

3-1 7尺 基本寸法図

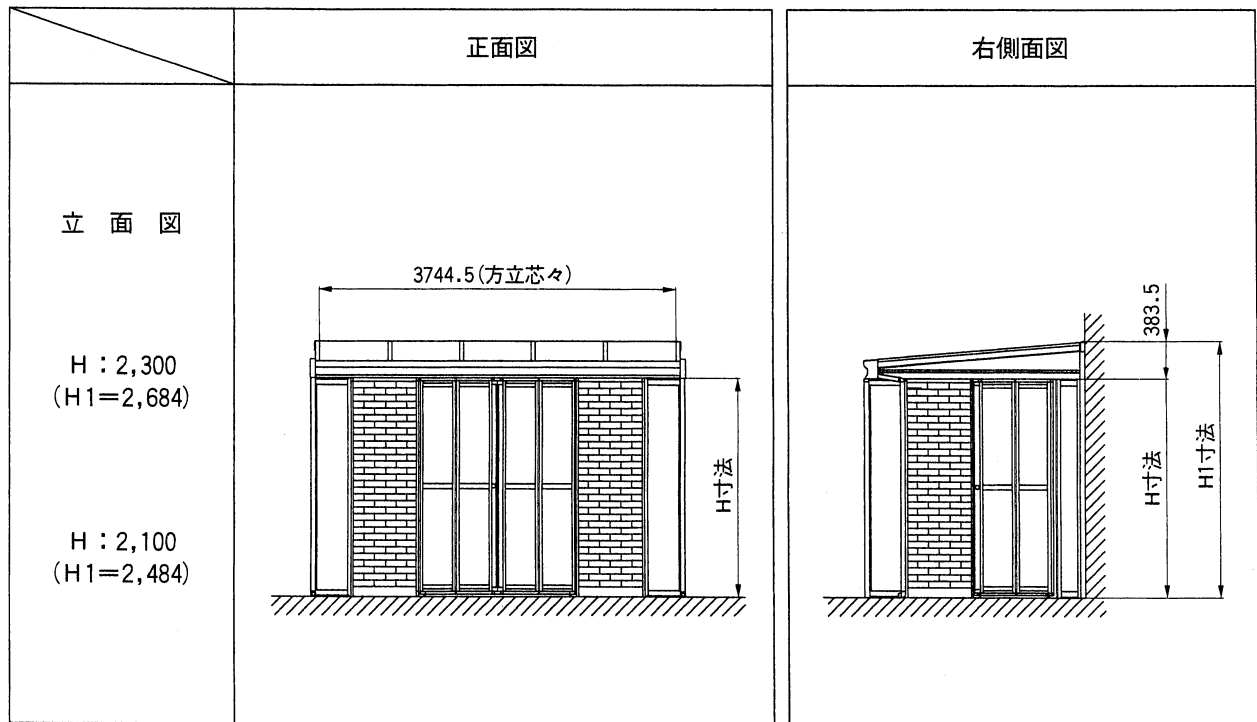
1 間口 1.5間



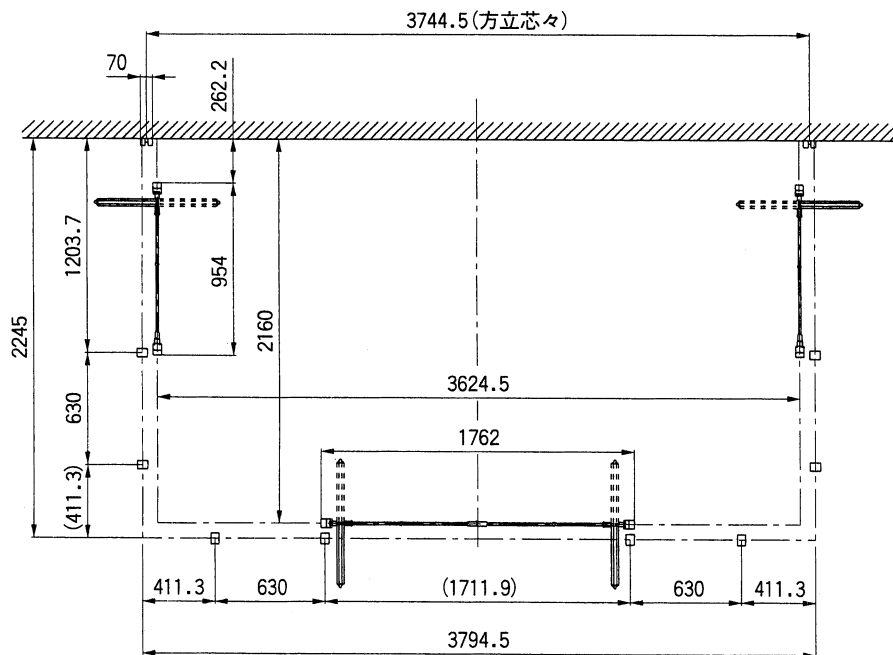
平面図



2 間口 2.0間

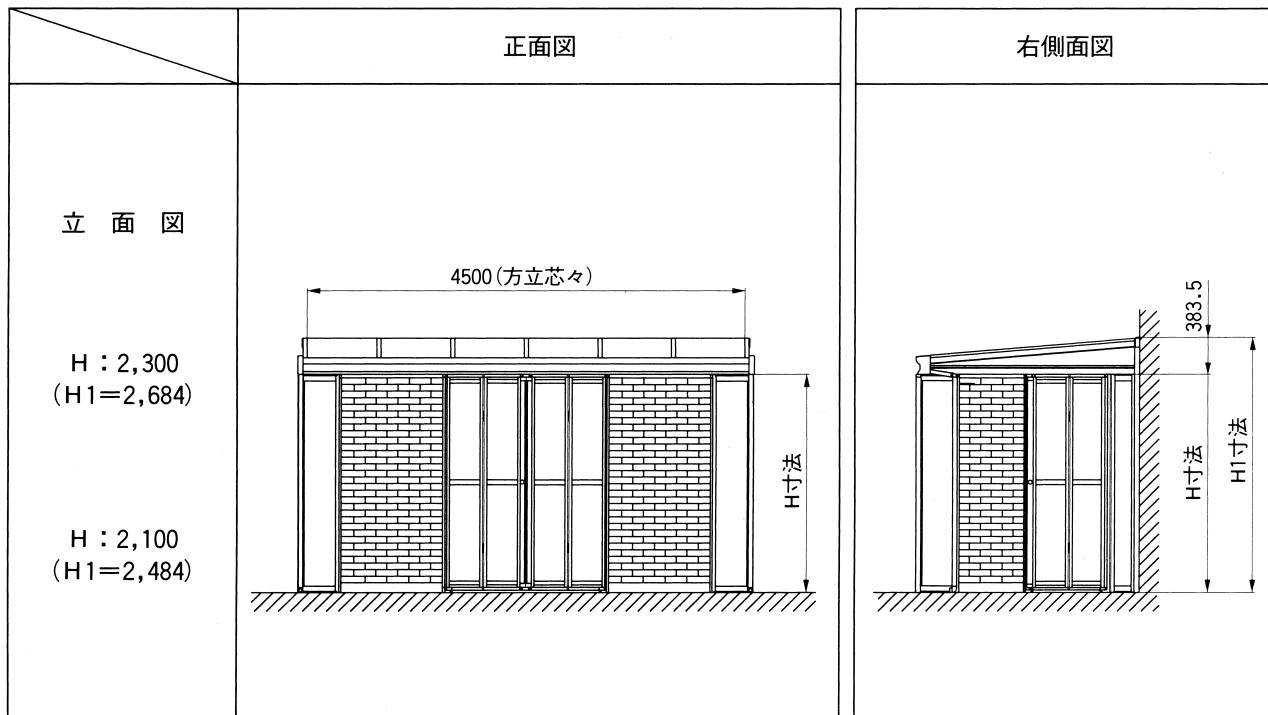


平面図

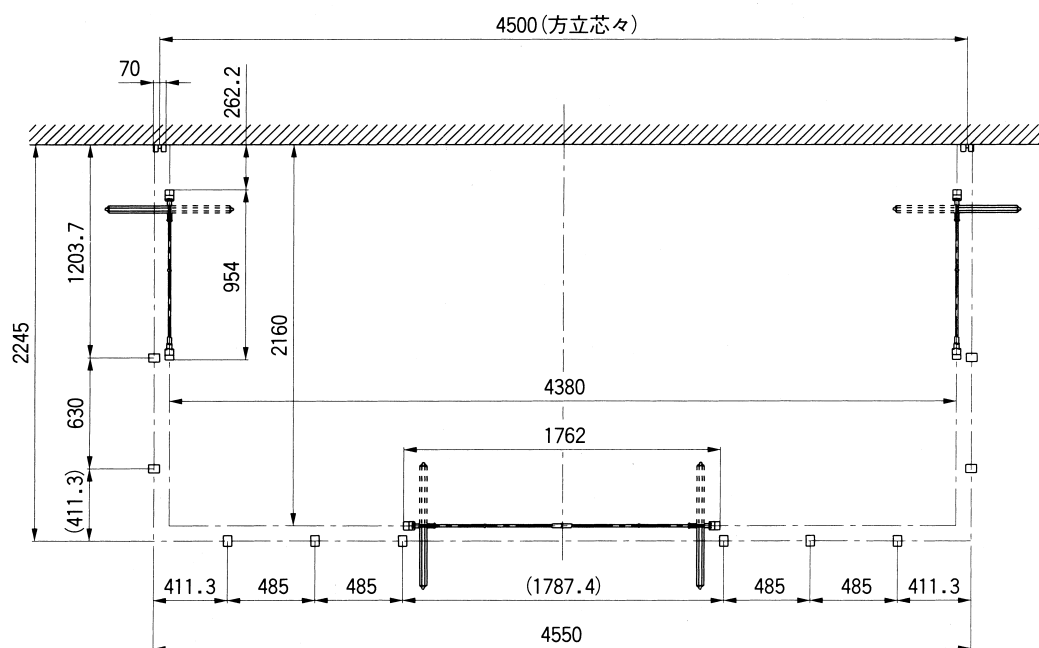


3-1 つづき

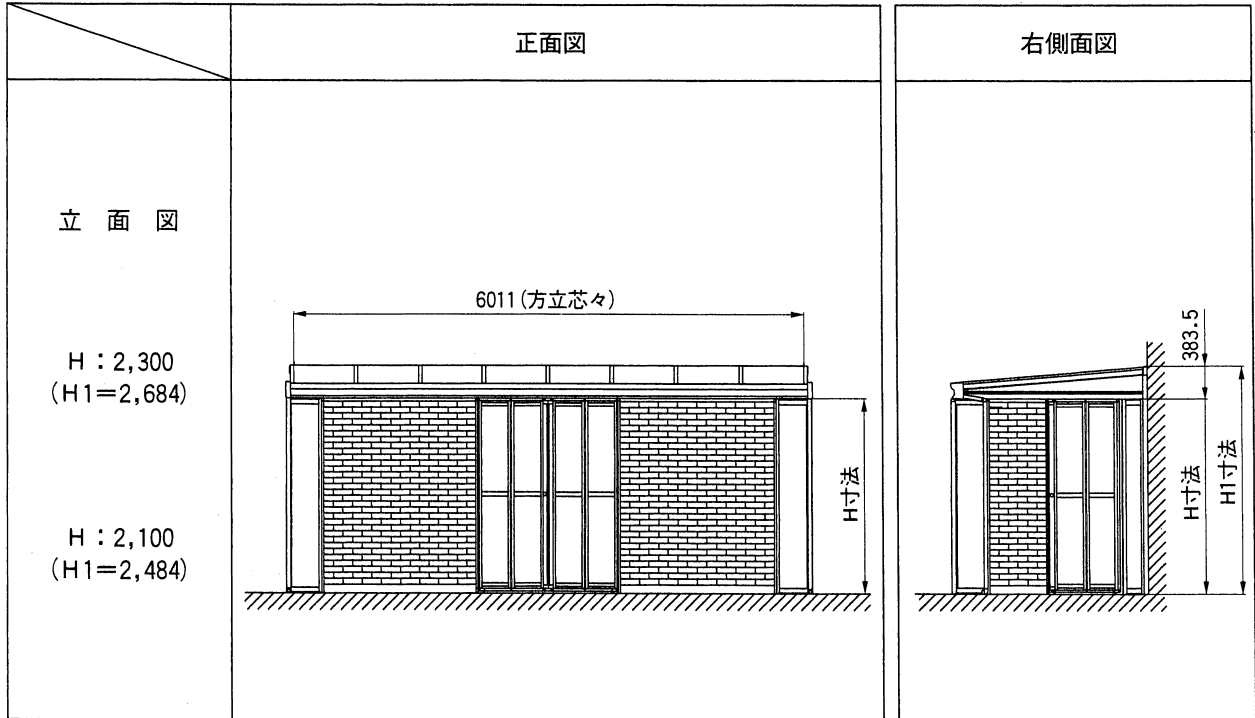
③ 間口 2.5間



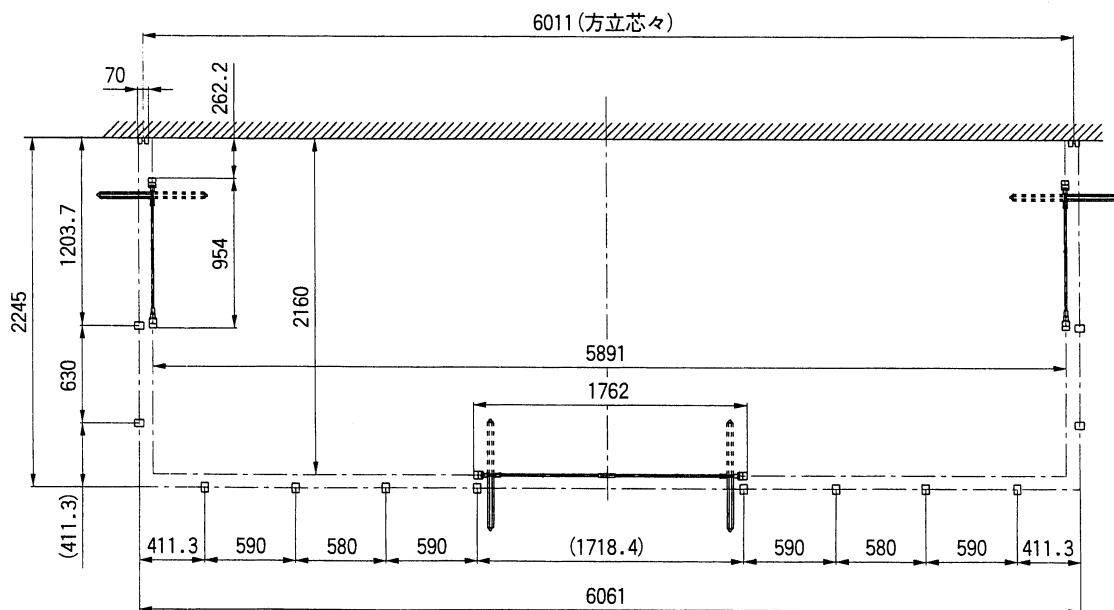
平面図



④ 間口 3.0間

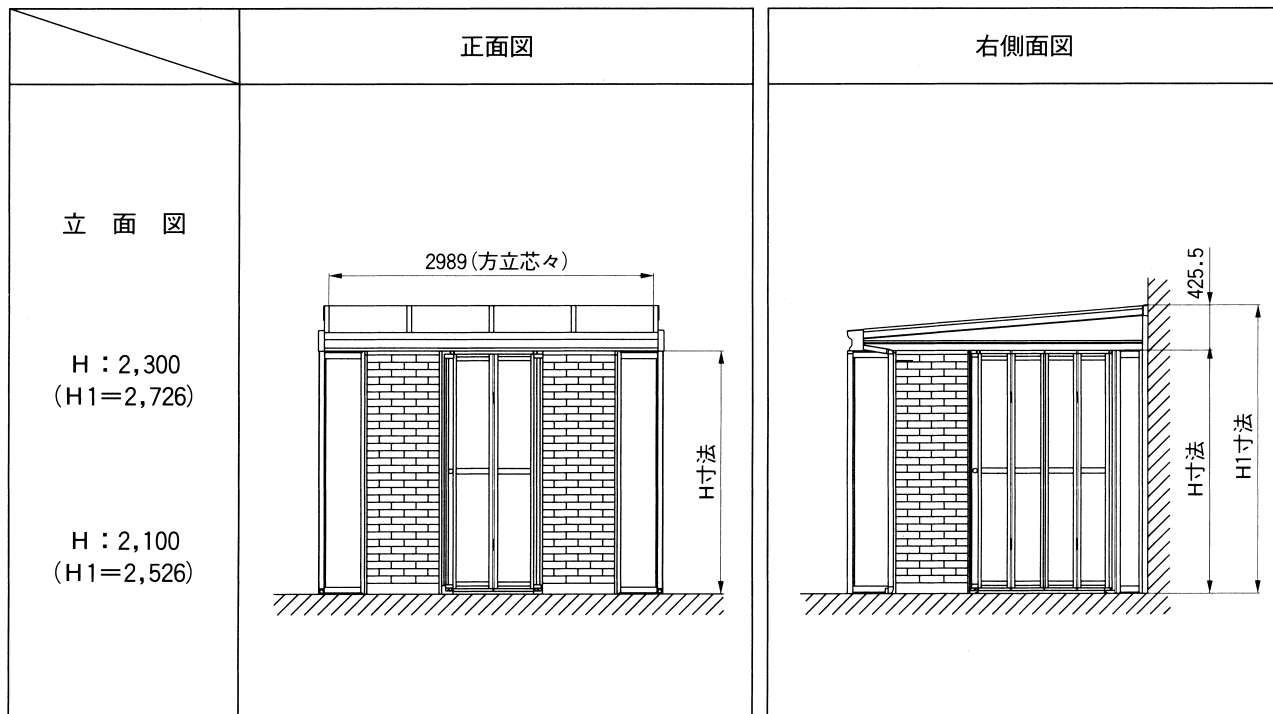


平面図

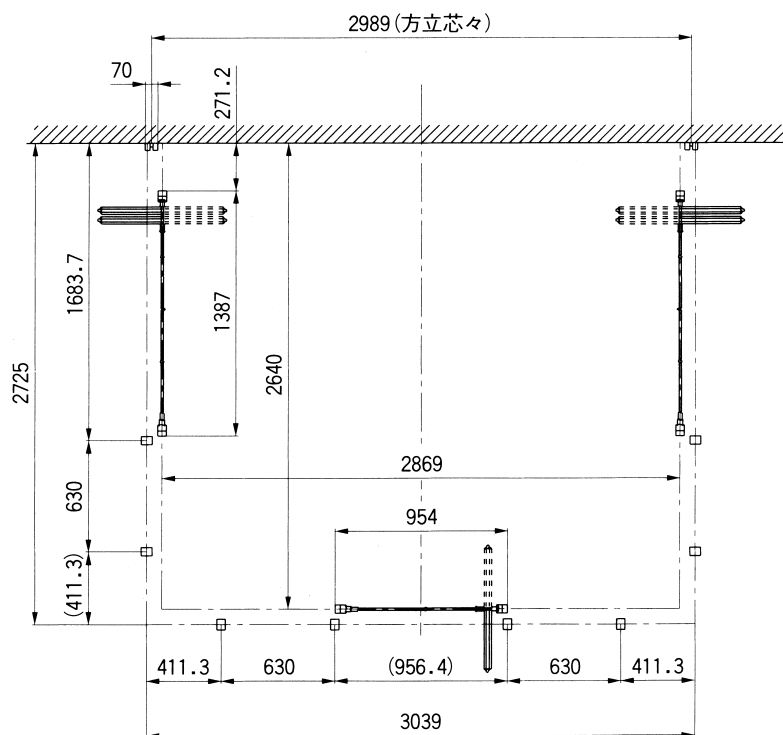


3-2 9尺 基本寸法図

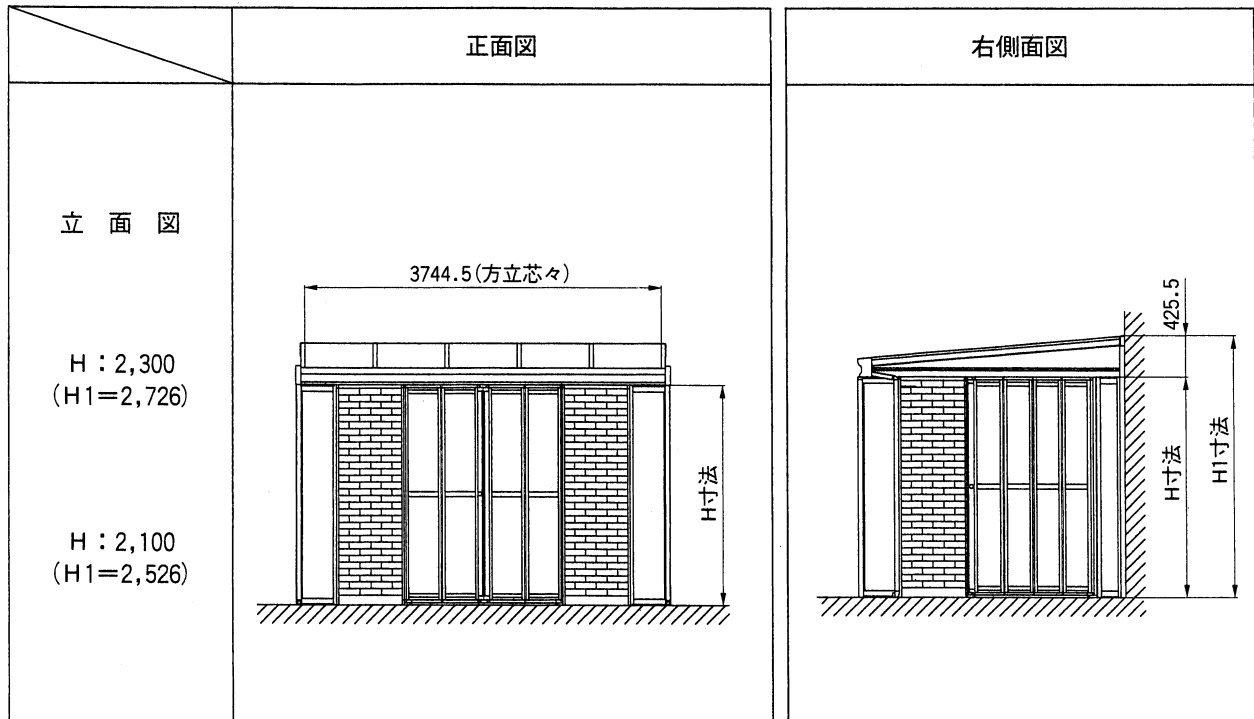
① 間口 1.5間



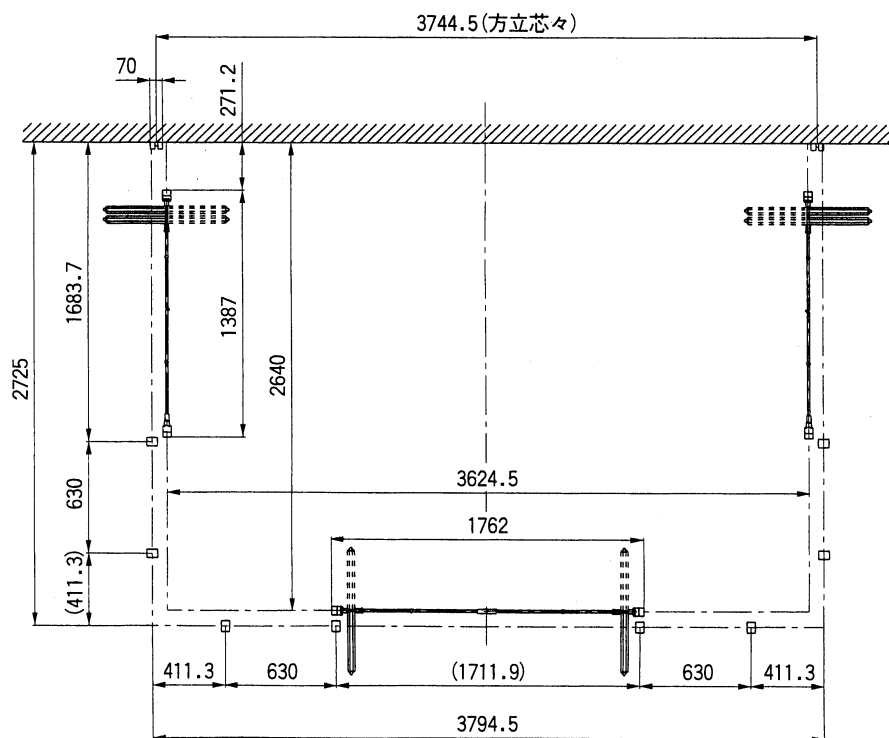
平面図



② 間口 2.0間

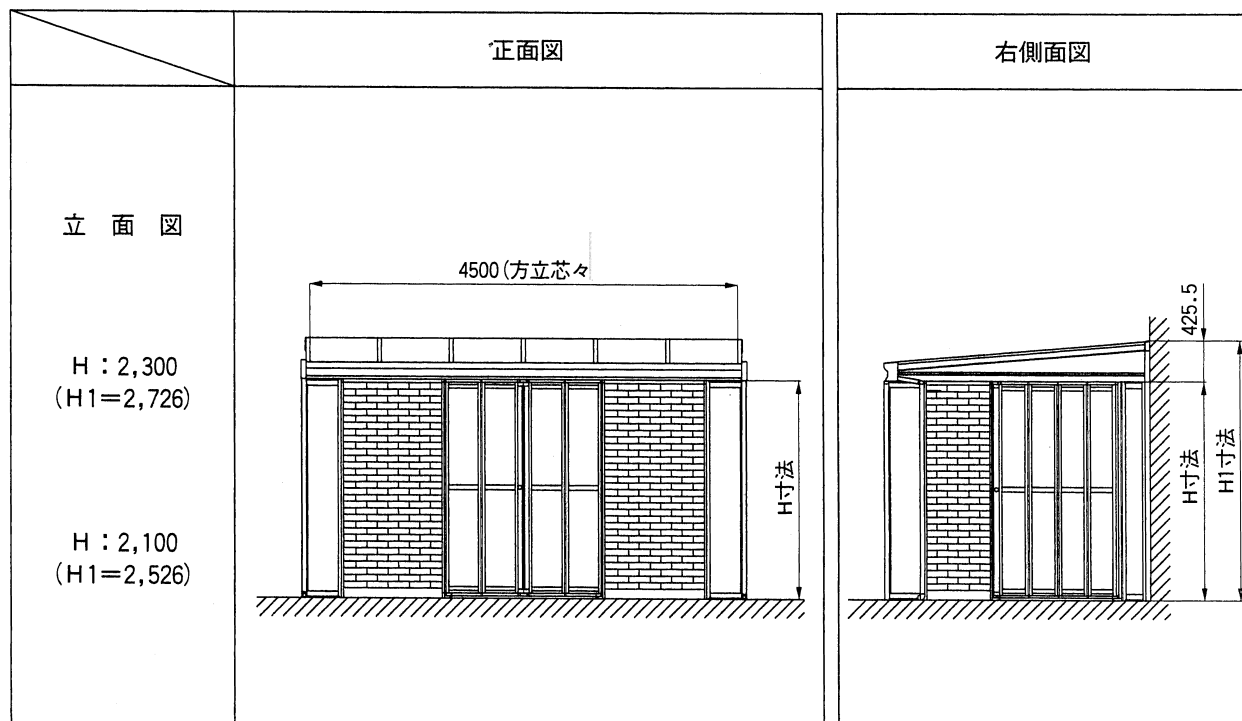


平面図

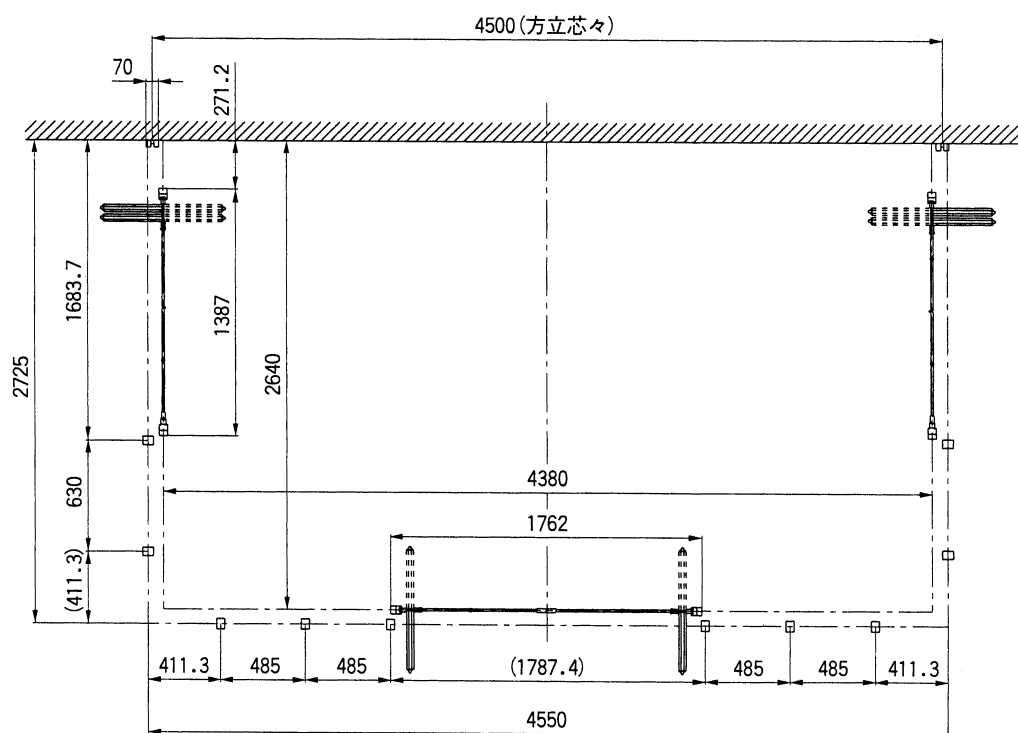


3-2 つづき

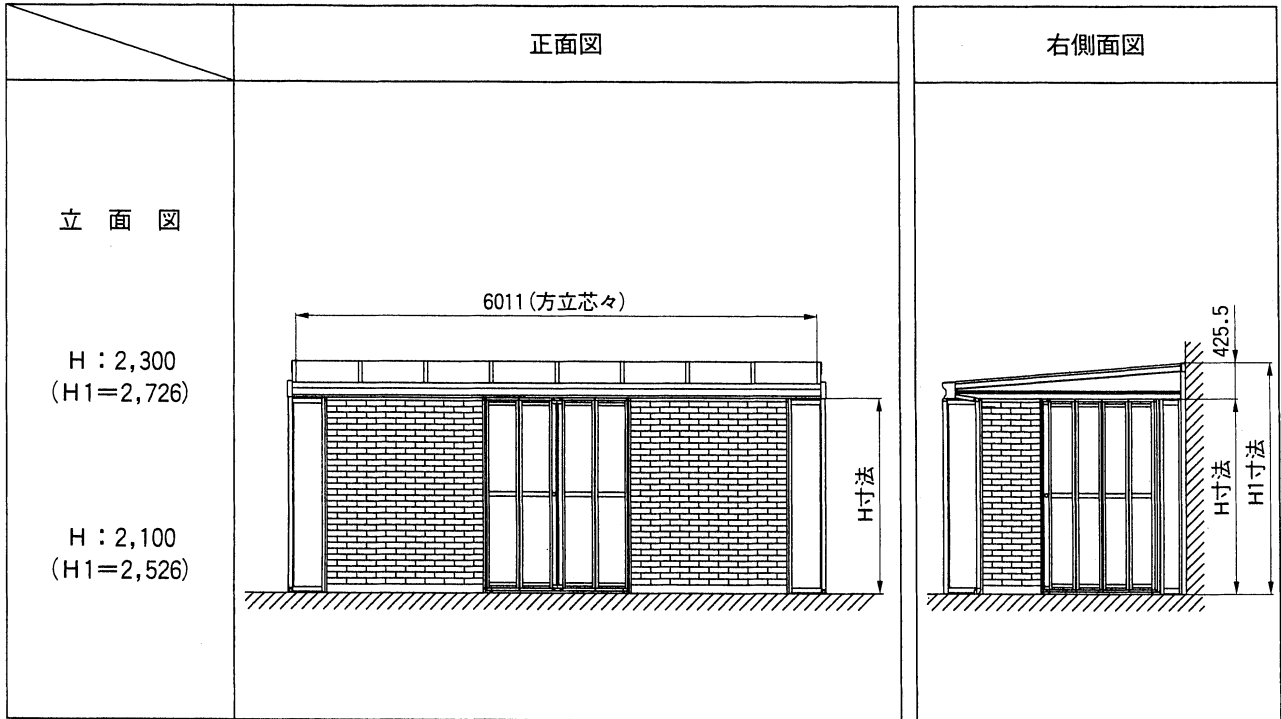
③ 間口 2.5間



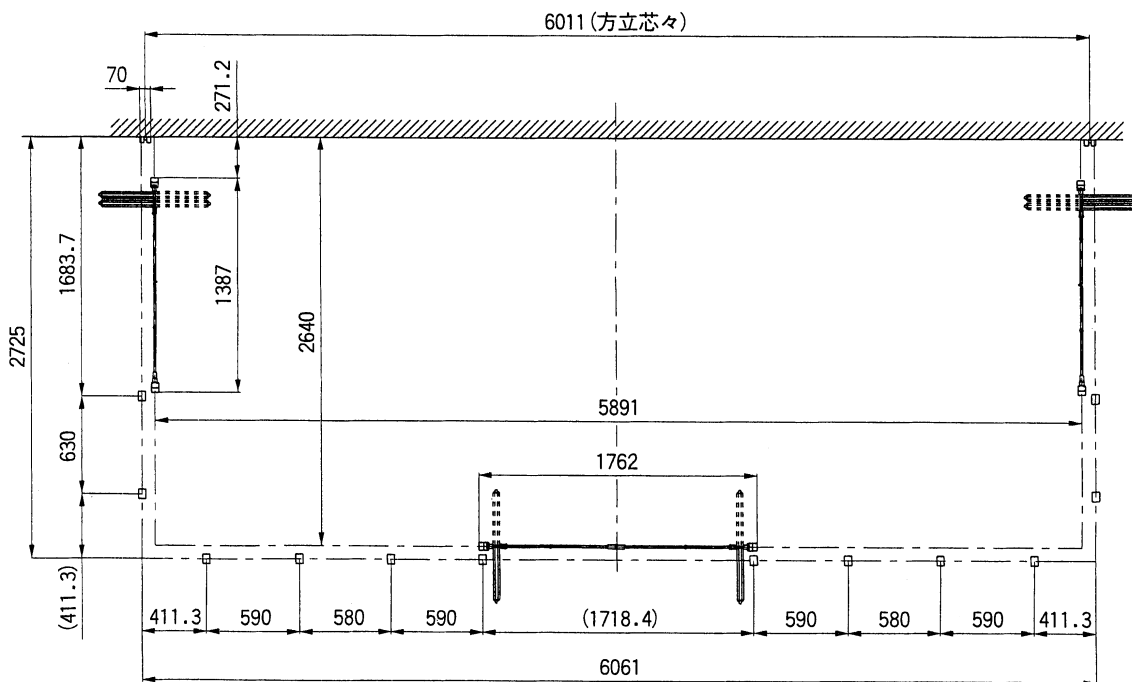
平面図



④ 間口 3.0間



平面図

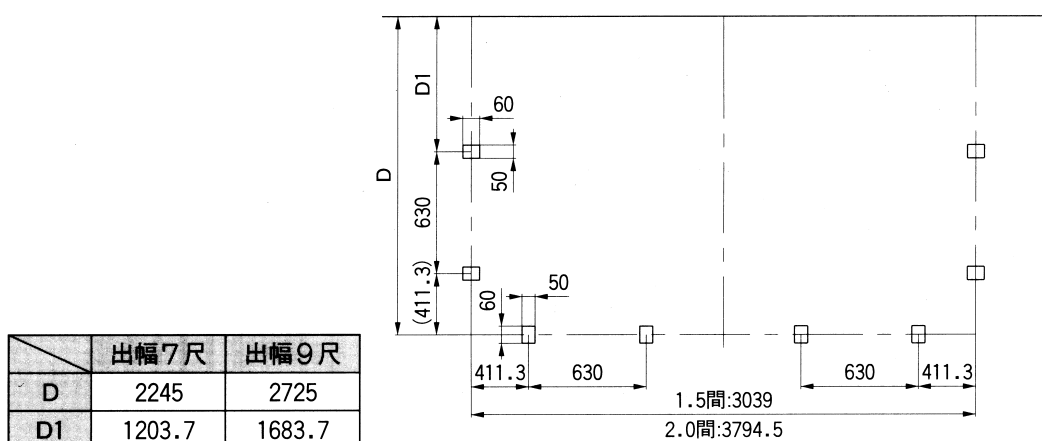


4 ブリッサ 床の施工

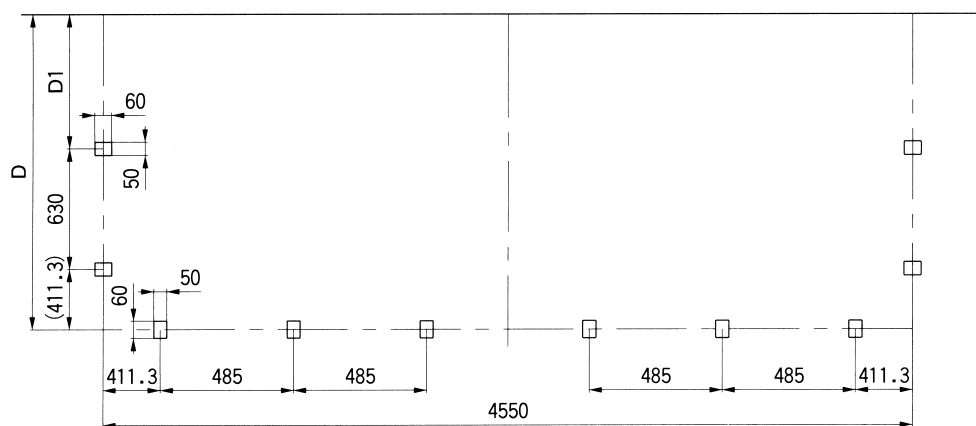
4-1 柱の位置出し

- ①仕様納りを基に、柱の取付け位置を確認して下さい。
- ②床レベルを合わせぐり石を敷き、土間コンクリートを下打ちして下さい。
柱埋込み仕様では、柱の取付け位置に穴を確保して下さい。
- ③仕様納りを基に、柱の取付け位置を墨出しして下さい。

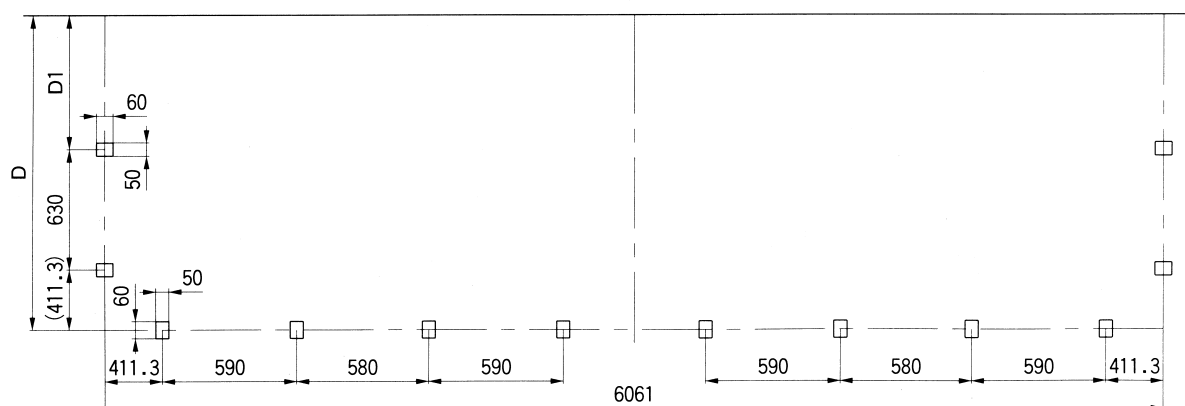
間口1.5間及び2.0間 柱寸法



間口2.5間 柱寸法

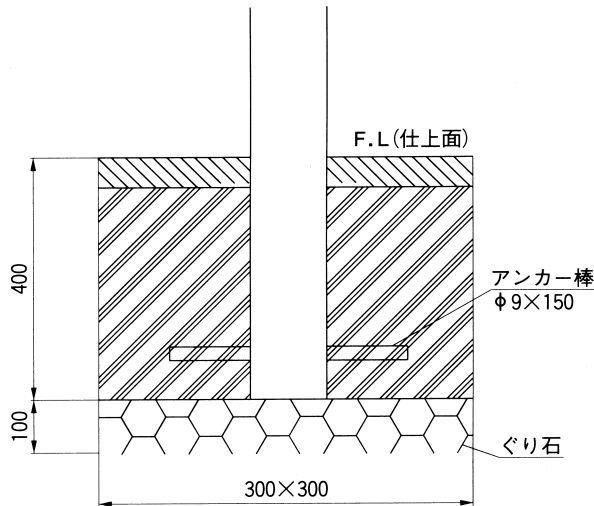


間口3.0間 柱寸法

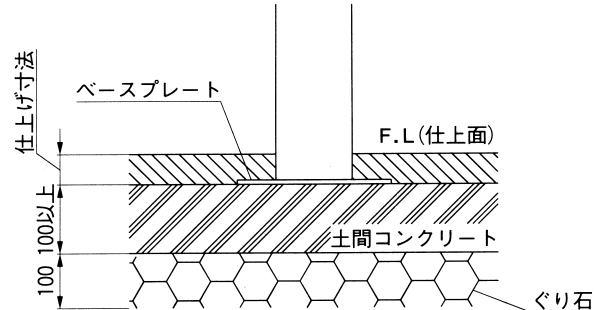


4-2 土間の仕上げ

① 埋込み式



② 床直付式



H寸法	切断寸法
2300	2291+仕上げ寸法
2100	2091+仕上げ寸法

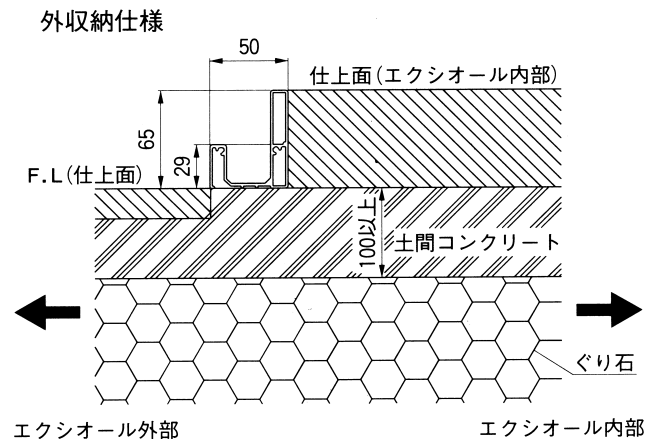
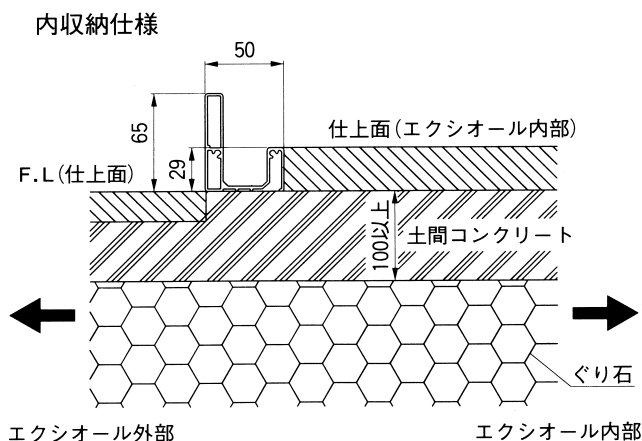
レール施工に際して

1) 前面及び両側面のいずれかに、内収納を用いる場合

エキシオール内部の仕上面は、下レール上面 (H=29 m/m) 以下に設定して下さい。
(内収納仕様の納りを参照願います。)

2) 前面及び両側面の全てに、外収納を用いる場合

エキシオール内部の仕上面は、下レール上面 (H=65 m/m) 以下に設定して下さい。
(外収納仕様の納りを参照願います。)



基礎部のご注意

- 地盤の軟弱なところでは、柱の埋込み深さ、基礎の大きさを考慮して下さい。
- コンクリートあるいはモルタルには急結剤を絶対に使用しないで下さい。使用しますと、アルミが腐食する恐れがあります。
- 海砂は、アルミを腐食させる恐れがありますので、十分水洗いした物をご使用下さい。
- 柱基礎部には必ずぐり石を敷き、柱内部の水抜きができるようにして下さい。
- 寒冷地域では凍結により柱が浮き上がる恐れがありますので、埋込み深さを十分考慮して下さい。
- コンクリートの養生期間は十分にとり、期間中は重い物をのせたり、振動させたりしないで下さい。
- 土中埋設物には、ご注意下さい。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

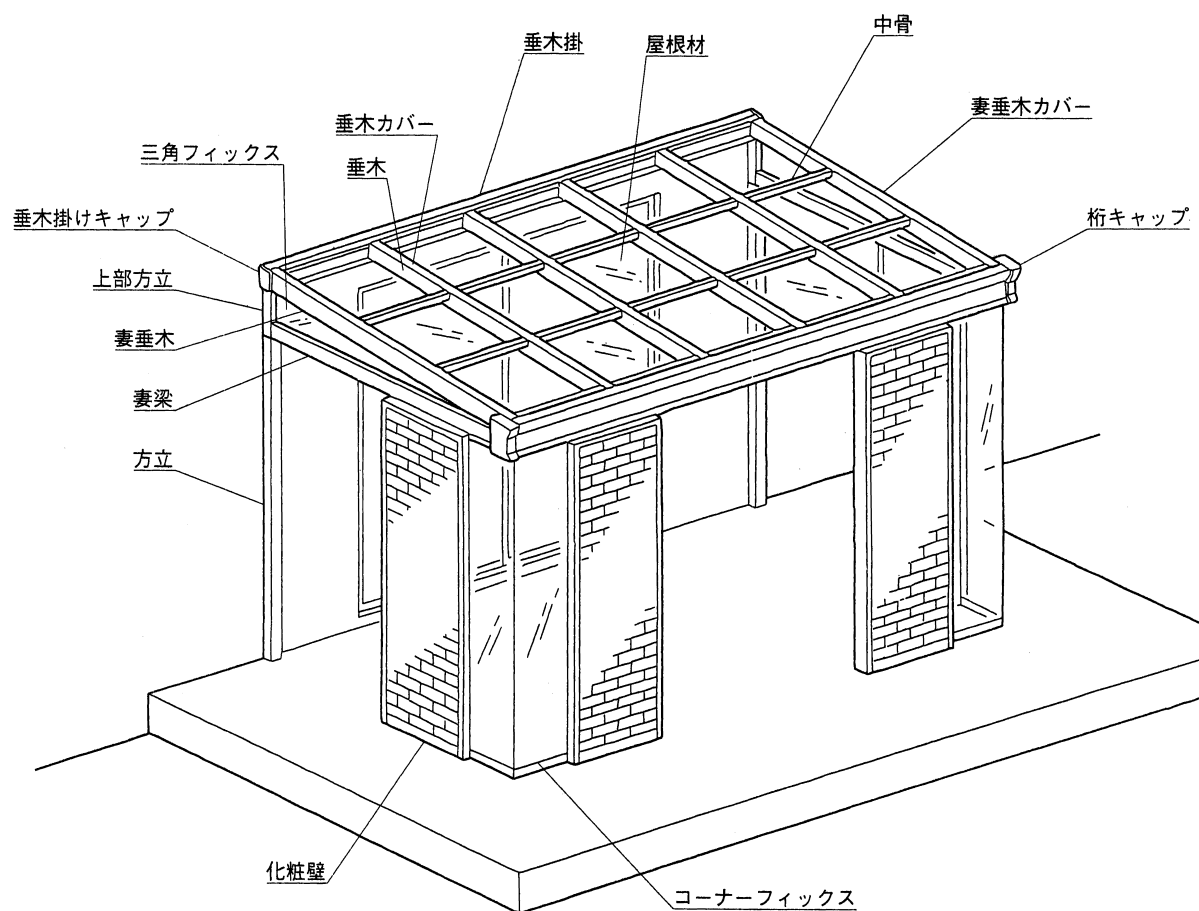
.....

.....

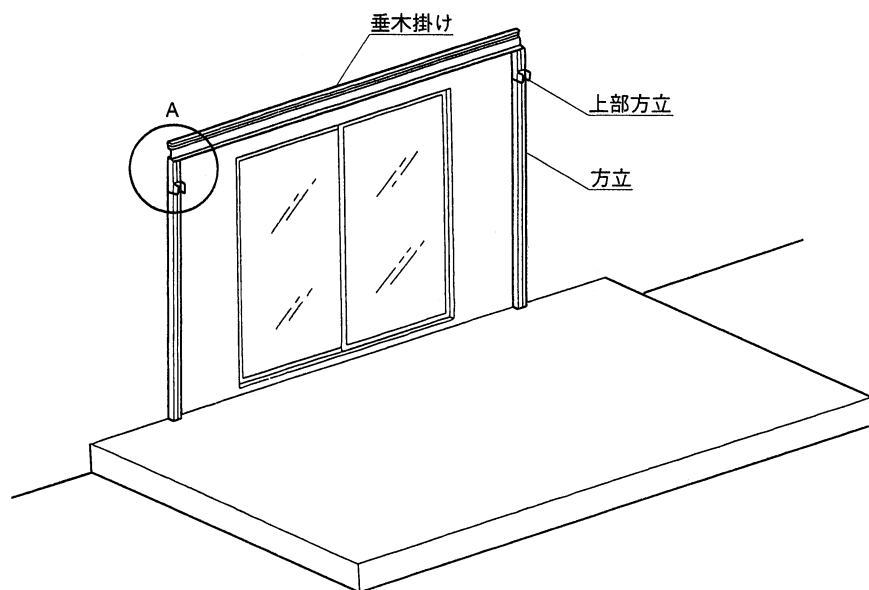
.....

.....

5 ブリッサ 部材名称と本体の施工



5-1 垂木掛け・上部方立・方立の取付け

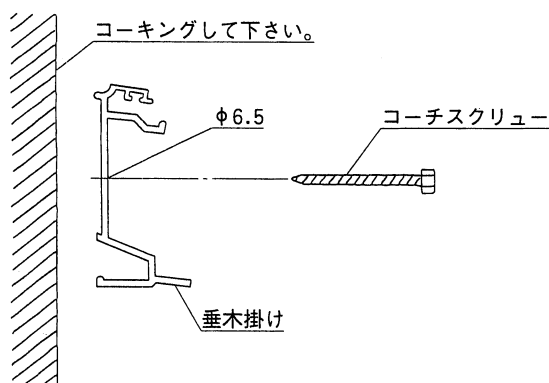


- ①P.16を参照して垂木掛けを各サイズごとに位置出しをして躯体の補強部材のある箇所に垂木掛け中央のV溝部にφ6.5の孔をあけコーチスクリューにて固定して下さい。
- ②垂木掛け上部方立組付金具に上部方立を組付けた後、躯体に取付けて下さい。

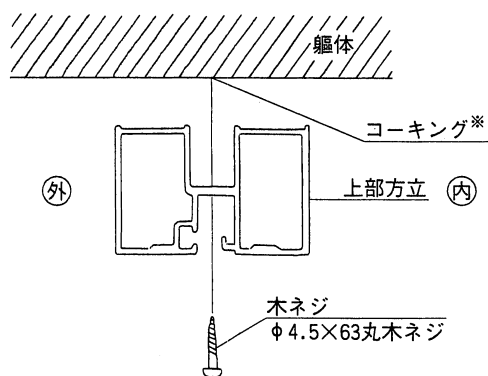
<注 意>

- 「垂木掛け、上部方立組付ネジ(φ4×12トラス3種)」「垂木掛け取付コーチスクリュー」「上部方立取付ネジ(φ4.5×63丸木ネジ)」を使用します。

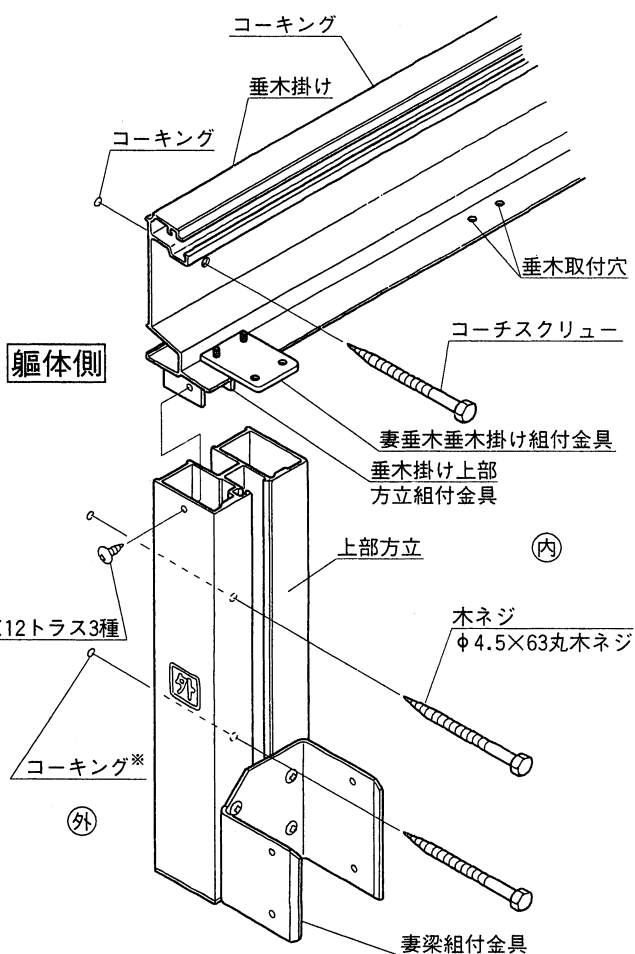
1. 上部方立および方立の「内」「外」に注意して下さい。
2. 「垂木掛け」「上部方立」「方立」の「水平」「垂直」に注意して下さい。
3. 躯体と垂木掛けのスキ間にコーキングして下さい。



- 垂木掛けの水平を出しコーチスクリューで躯体補強部に止めて下さい。



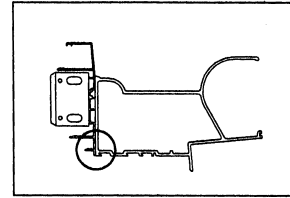
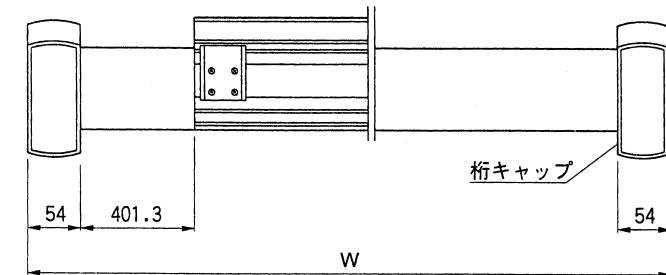
- 上部方立および方立の垂直を出し丸木ネジで躯体の補強部に止めて下さい。
- ※躯体の下穴はコーキングで充てんします。



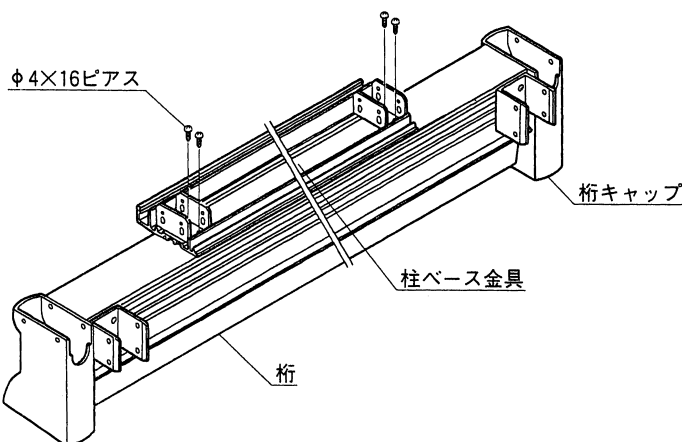
A 部詳細図

5-2 柱・桁・妻梁の取付け

① 桁と水切り笠木の取付け



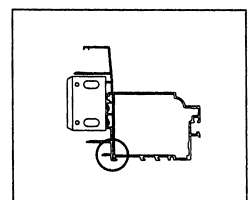
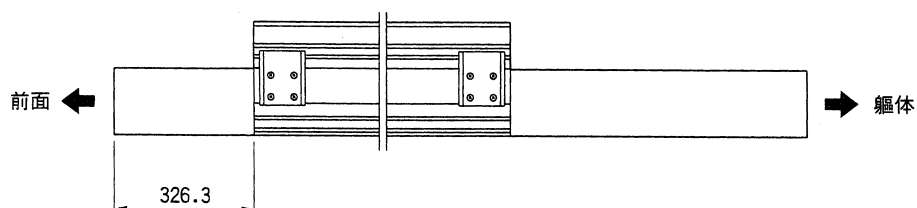
固定する際、水切り笠木の端部と桁底面端部を一致させて下さい。



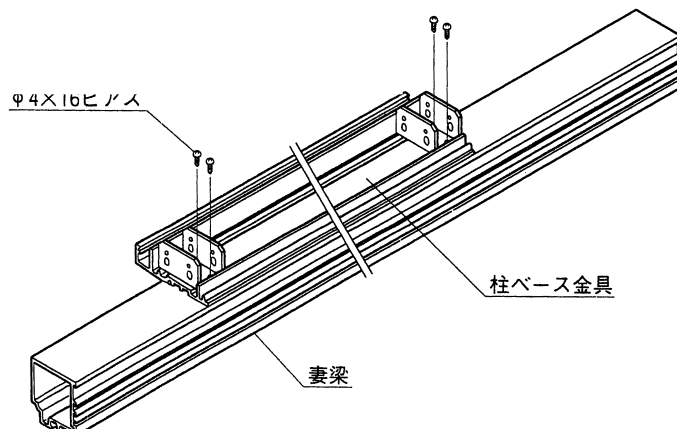
●水切り笠木の端部を指定寸法にあわせ、下孔よりφ4×16ピースにて取付けて下さい。

取付け時水切り笠木にビートが挿入されている事を確認して下さい。

② 妻梁と水切り笠木の取付け



固定する際、水切り笠木の端部と妻梁底面端部を一致させて下さい。

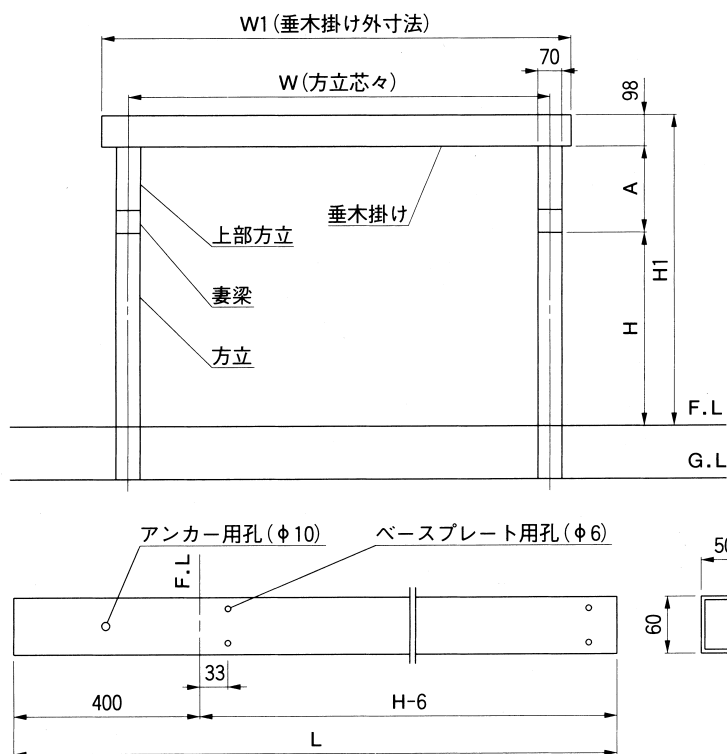


●水切り笠木の端部を指定寸法にあわせ、下孔よりφ4×16ピースにて取付けて下さい。

取付け時水切り笠木にビートが挿入されている事を確認して下さい。

5-2 つづき

③ 柱の設定



間口	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	2989	3744.5	4500	6011
W1	3079	3834.5	4590	6101

出幅7尺の場合		
H	H1	A
2300	2683.5	285.5
2100	2483.5	

出幅9尺の場合		
H	H1	A
2300	2725.5	327.5
2100	2525.5	

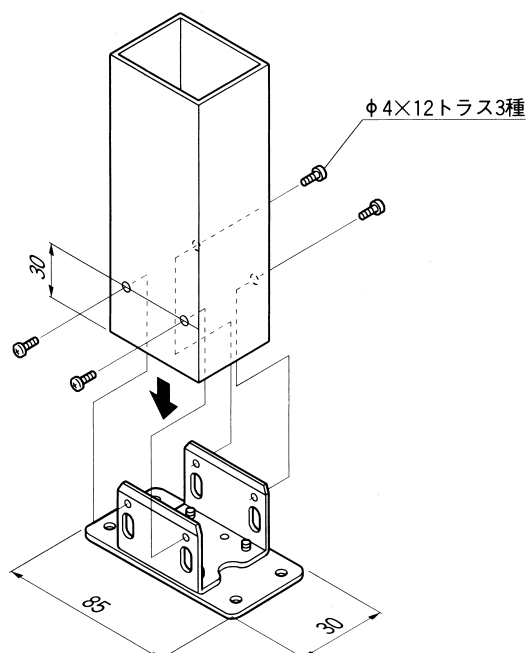
出荷時の柱切断寸法

H寸法	切断寸法 (L)
2300	2694
2100	2494

④ 埋込み式の建て込み

- 柱位置を出し約30cm四方、深さ50cmの穴を掘って下さい。(P17の埋込み式を参照)

⑤ 床直付式の建て込み



F.L上にベースプレートを固定する際の柱切断寸法

H寸法	切断寸法 (L)
2300	2291
2100	2091

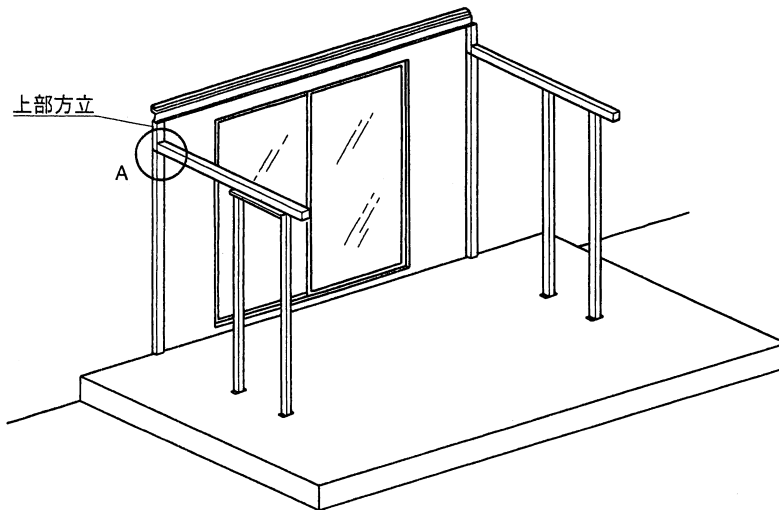
1. 切断寸法の基準は、柱上部より計算して下さい。
2. ベースプレート取付け用の孔は加工されています。

ベースプレートの固定位置を土間コンクリートに設定する際の柱切断寸法 (P17の床直付式を参照)

H寸法	切断寸法 (L)
2300	2291+仕上げ寸法
2100	2091+仕上げ寸法

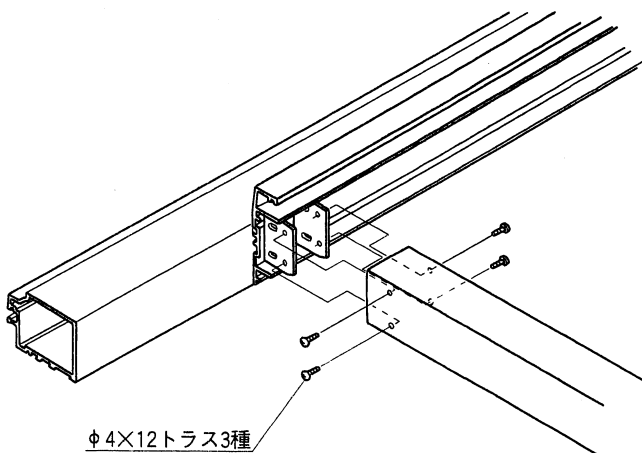
ベースプレート取付け用の孔(φ6)を再加工して下さい。

⑥ 柱と妻梁の取付け

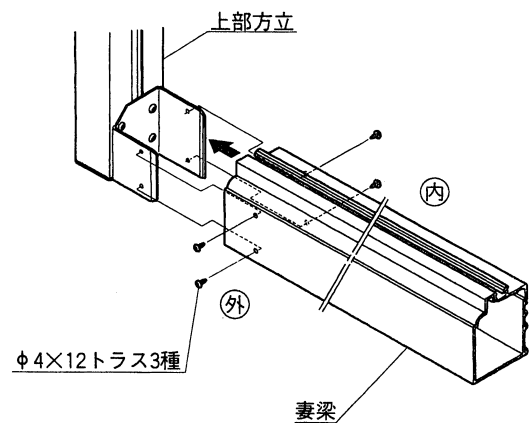


- 「柱」と「妻梁」を組付け後「妻梁」を「上部方立」に組付けて下さい。

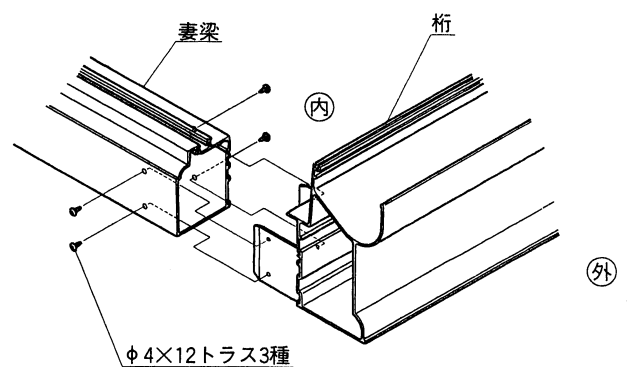
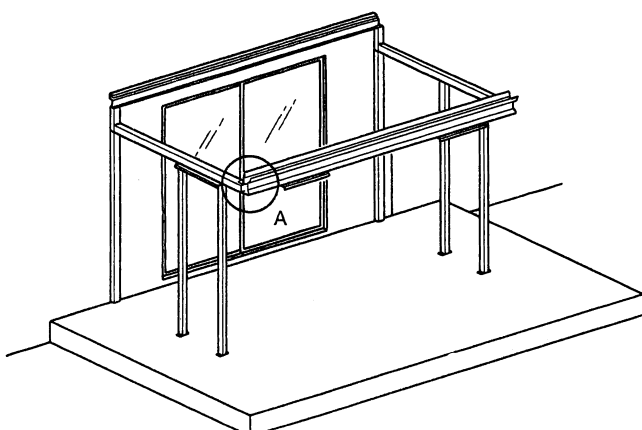
妻梁の「内」「外」に注意して下さい。
「妻梁」、「柱」の「水平」「垂直」に注意して下さい。



A 部詳細図



⑦ 桁と妻梁の取付け

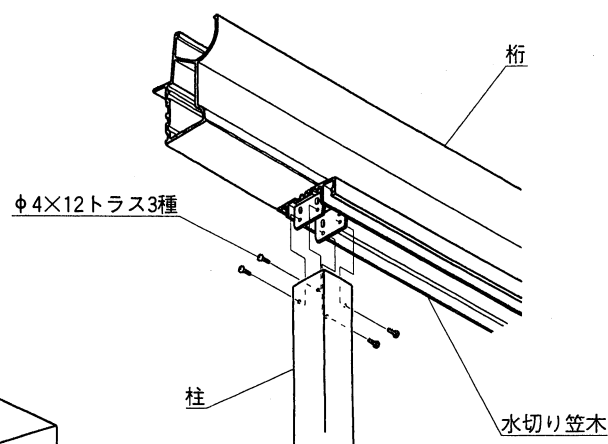
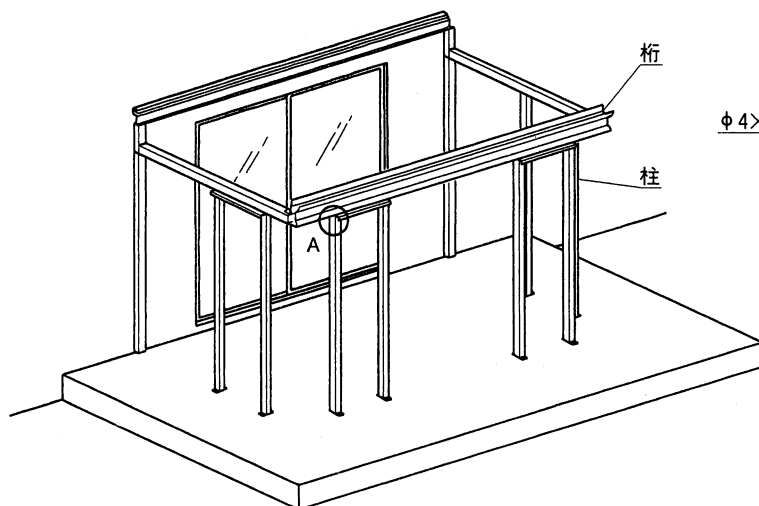


A 部詳細図

- 取付ネジにて、桁を妻梁に取付けて下さい。

5-2 つづき

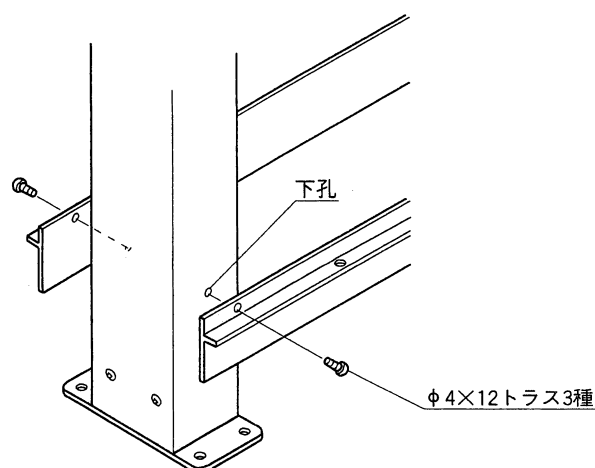
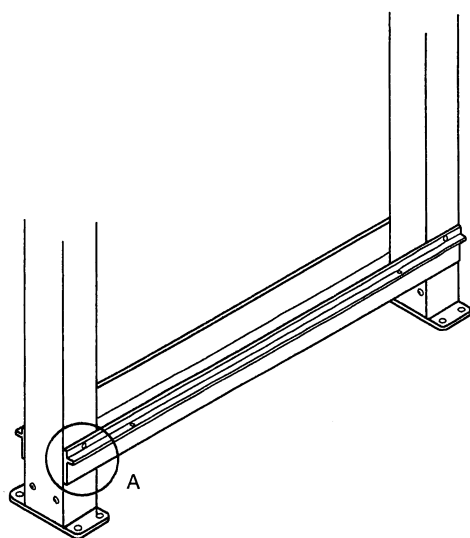
⑧ 桁と柱の取付け



A 部詳細図

- 柱を水切り笠木下部に差し込み、取付ネジにて固定して下さい。

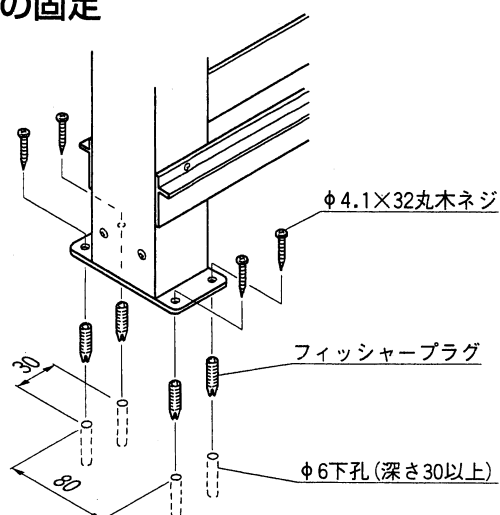
⑨ 下部留め金具の取付け



A 部詳細図

- 柱の下孔に取付ネジにて固定して下さい。

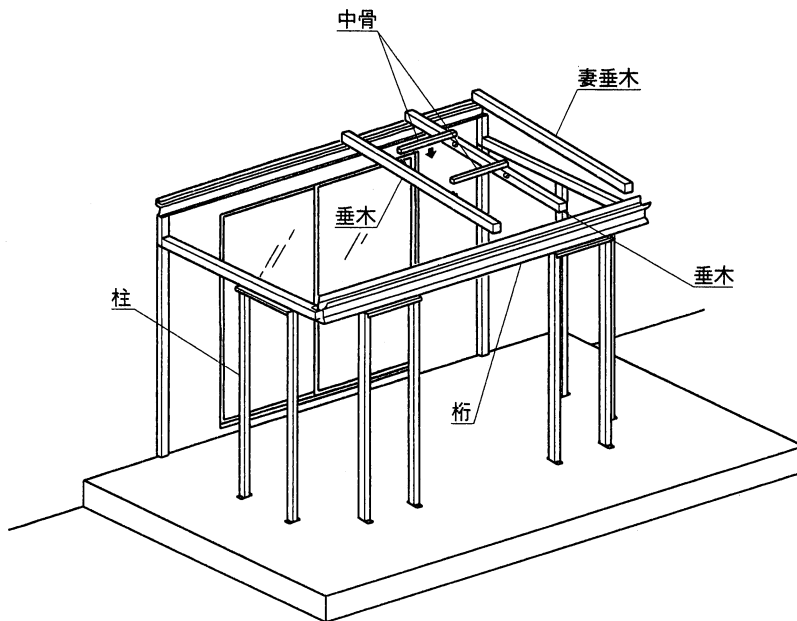
⑩ 柱の固定



- 埋込み式……柱の「垂直」に注意し固定して下さい。
- 床直置式……床にφ6の下孔をあけ、フィッシャープラグと取付ネジで固定して下さい。

5-3 垂木・妻垂木・中骨の取付け

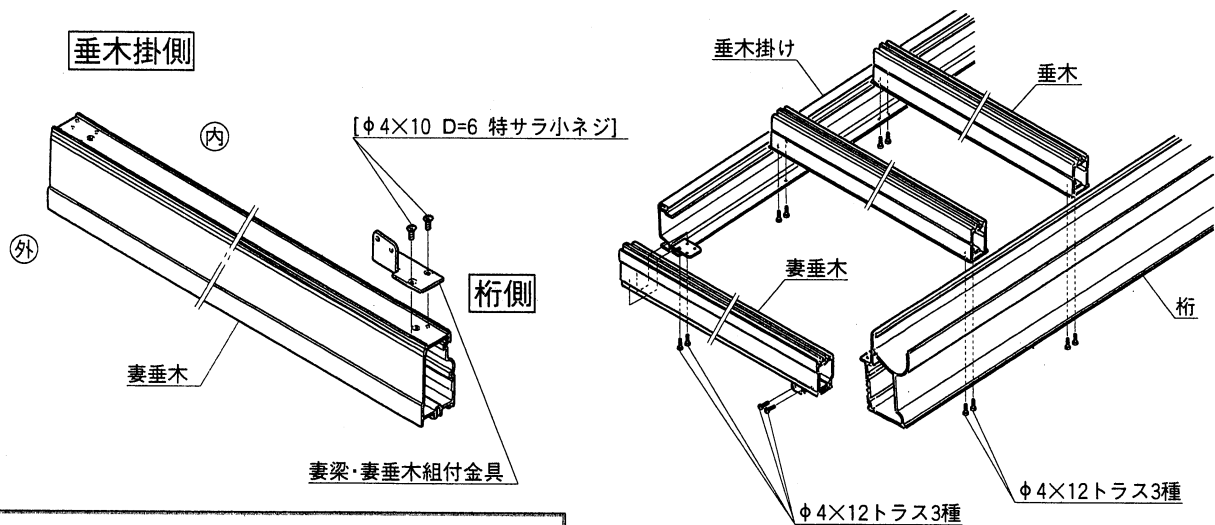
① 垂木・妻垂木の取付け



- ① 妻垂木に妻梁・妻垂木組付金具を取付けて下さい。(φ4×10特サラビスは梱包の中に入っています。)
- ② 取付ネジにて、垂木・妻垂木を桁及び垂木掛けに取付けて下さい。

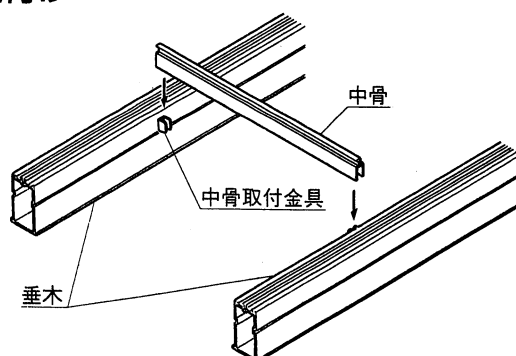
1) 標準タイプ

垂木掛側



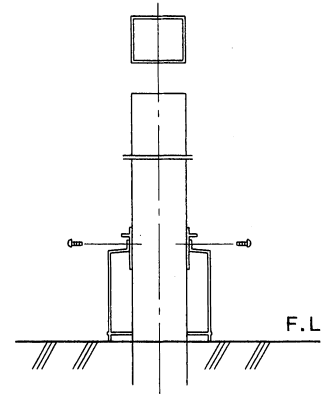
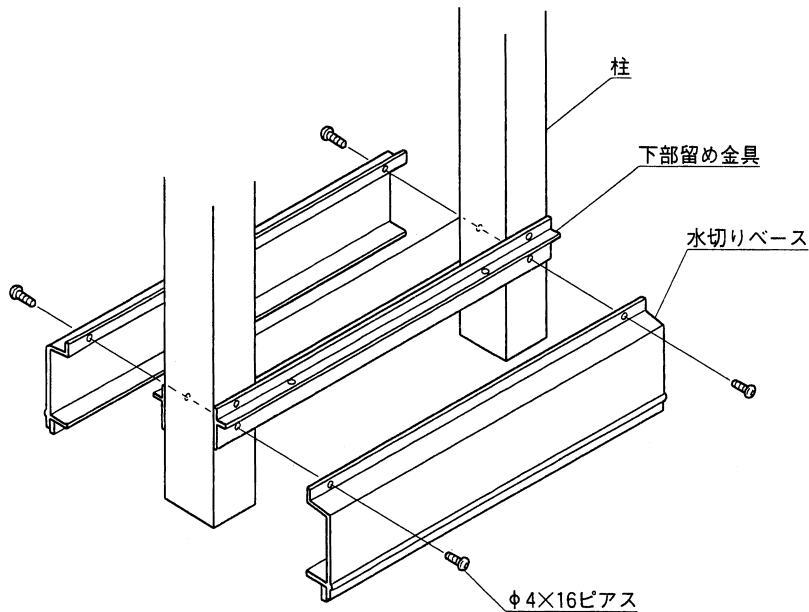
図中[]で示してあるネジは梱包に入っています。

② 中骨の取付け



- 左図の様に垂木に付いている中骨取付金具に中骨を上から押し込んで下さい。

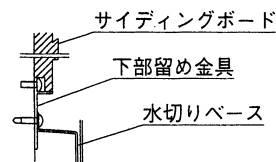
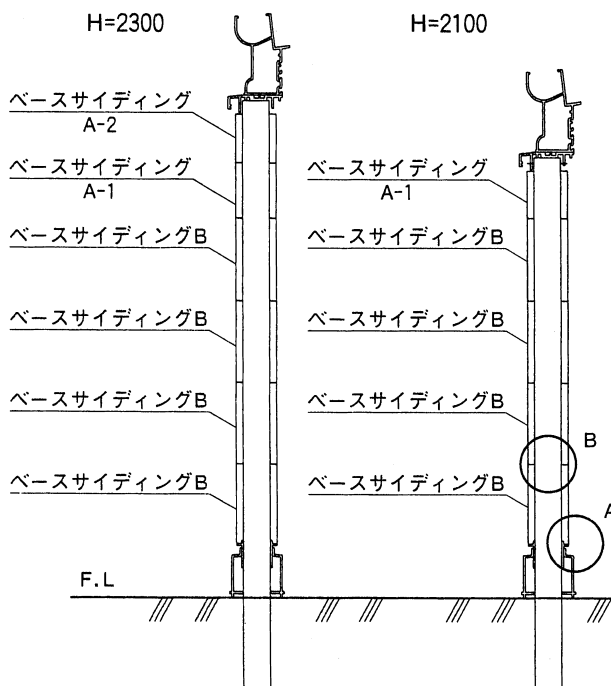
5-4 水切りベースの取付け



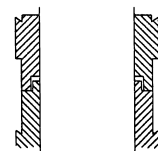
- 水切りベースを下部留め金具の下にセットし、取付ネジで取付けて下さい。

水切りベースの下面が、床に接するように軽く押え込みながらネジ止めして下さい。

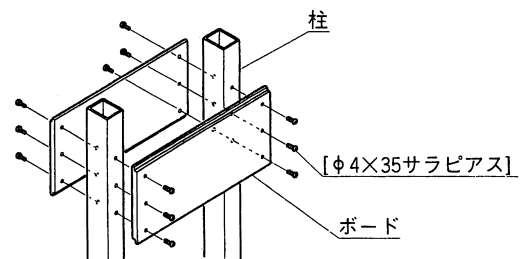
5-5 ベースサイディングの取付け



A部詳細図



B部詳細図



- H寸法を確認に、下より順番に取付ネジにて固定して下さい。

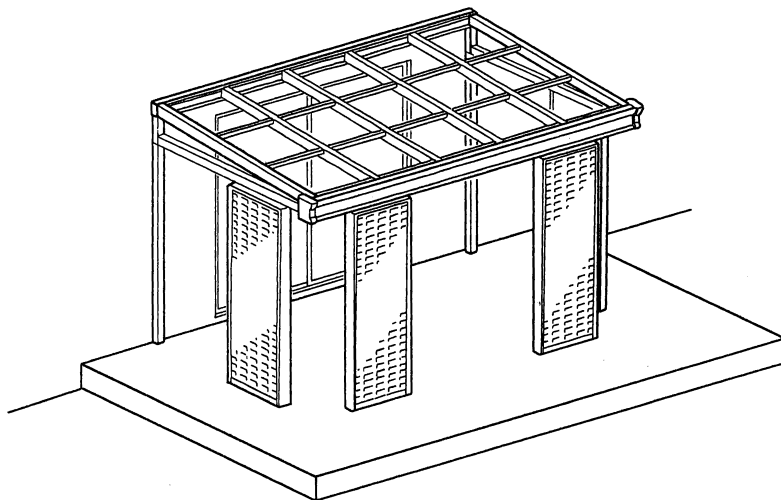
1. ベースサイディングは両面共通です。
2. ベースサイディングが柱外側に出ないようにして下さい。

ベースサイディングのH寸法

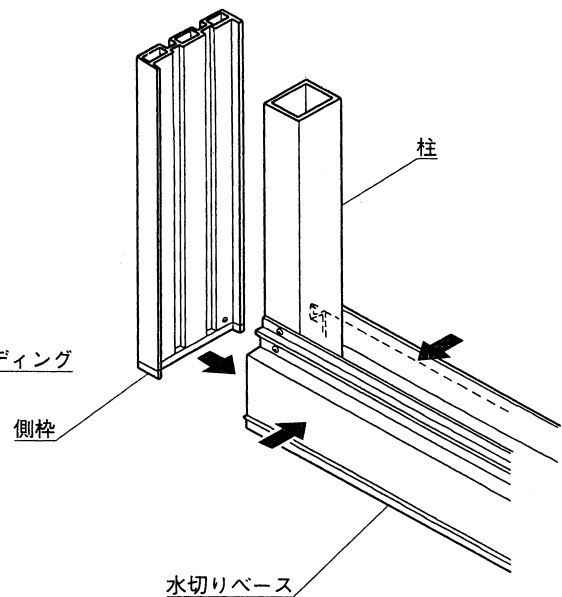
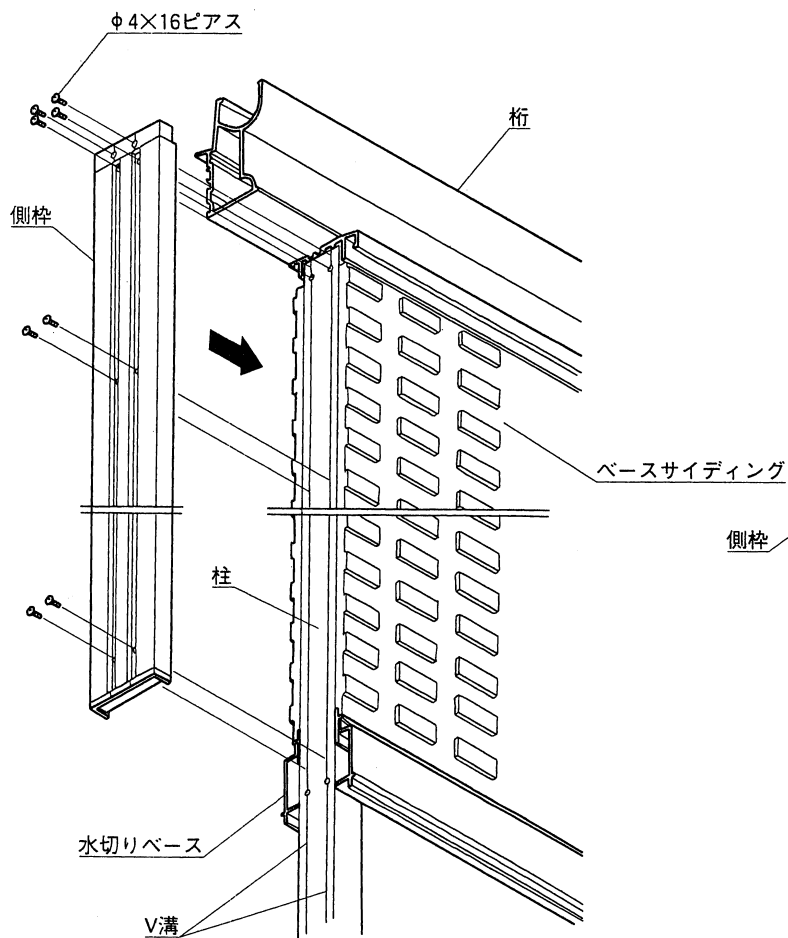
B	420	H=2300, 2100 共通
A-1	257	H=2300, 2100 共通
A-2	210	H=2300 のみ使用

図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

5-6 側枠の取付け

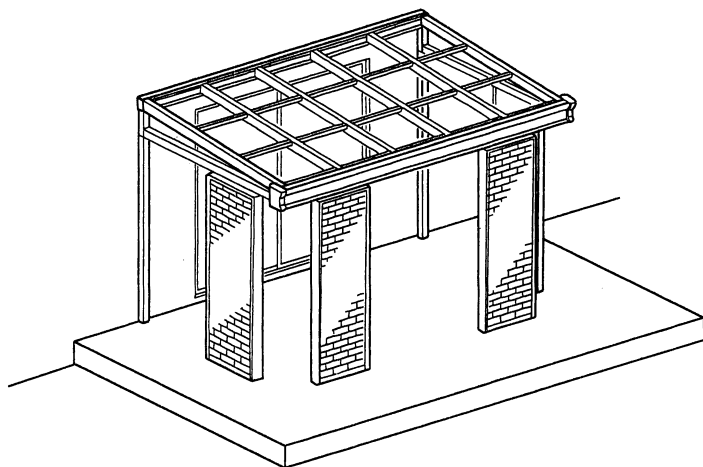


- 柱のV溝を目安にして取付ネジにて固定して下さい。



水切りベースの下部が側枠の幅に対して開いている時は、水切りベースを内側に押え込みながら固定して下さい。

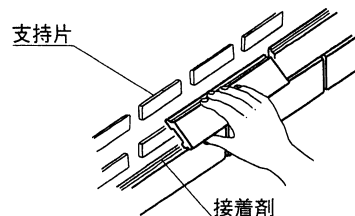
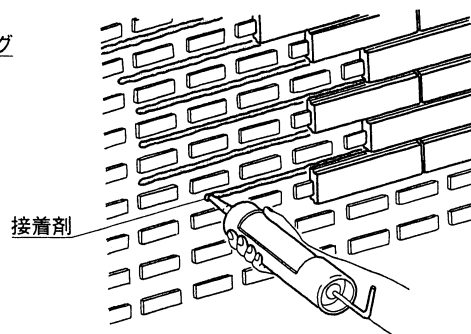
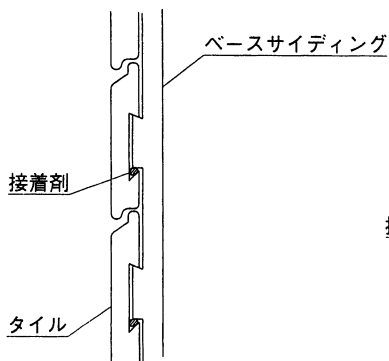
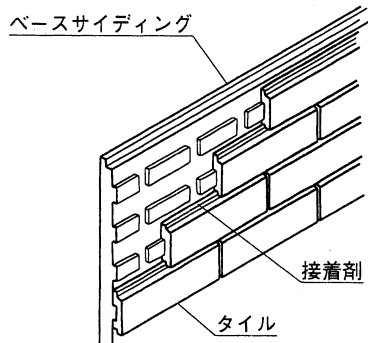
5-7 タイルの貼り込み



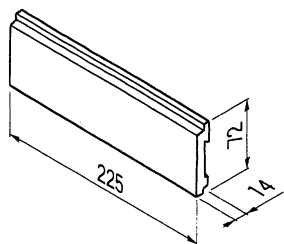
① 1回の塗布面積は、接着剤の表面に皮膜が張る前(15分程度)にタイルが貼り付けられる面積として下さい。
塗布量は平部で接着剤1本当たり1.5㎡が目安です。

② タイルを支持片に引っ掛け、サイディングボードに密着させて下から順に貼り上げて下さい。

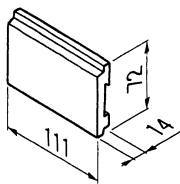
注 手に接着剤が付くとタイル表面を汚してしまうので接着剤が付かないように作業を行って下さい。



使用タイル

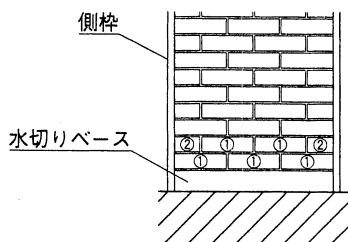


① 二丁掛タイプ

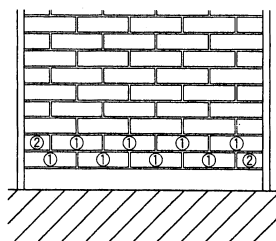


② 役物タイプ

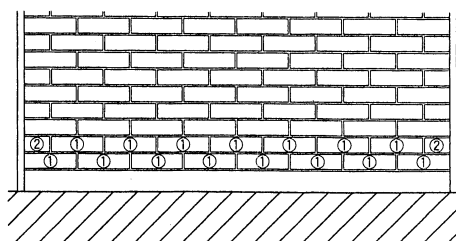
1. 一段目の張り出しは、二丁掛タイプのタイルから御使用下さい。
2. 「2.5間 前面」は、段数に無関係に二丁掛タイプと役物タイプの両タイルを使用します。
3. 各段ごと、両外側のタイルを側枠にラップさせ最後に中央部のタイルを入れ込み調整して下さい。



1.5間前面
2.0間前面
全タイプ側面



2.5間前面

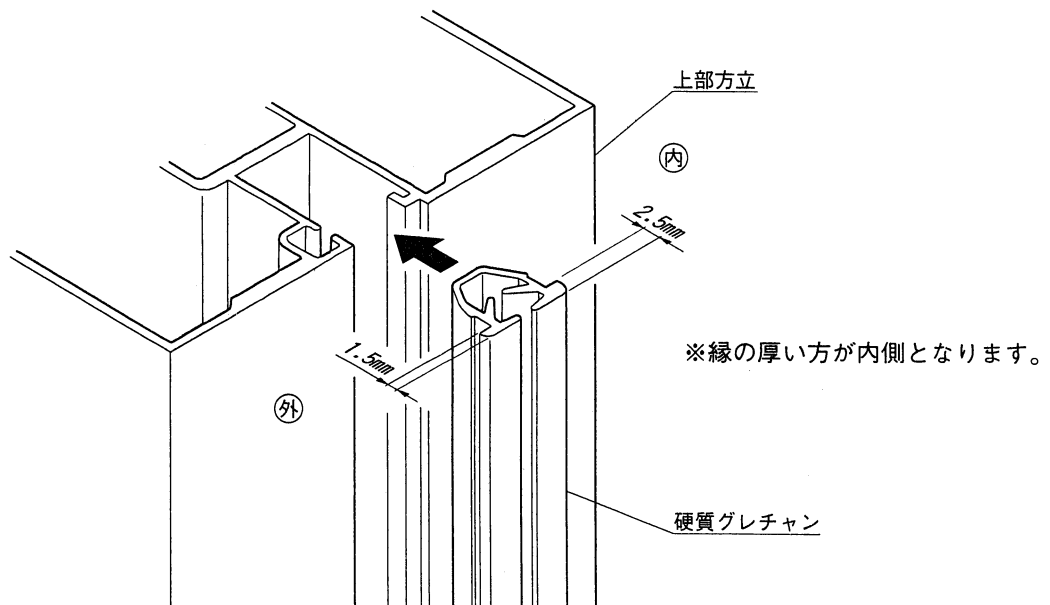
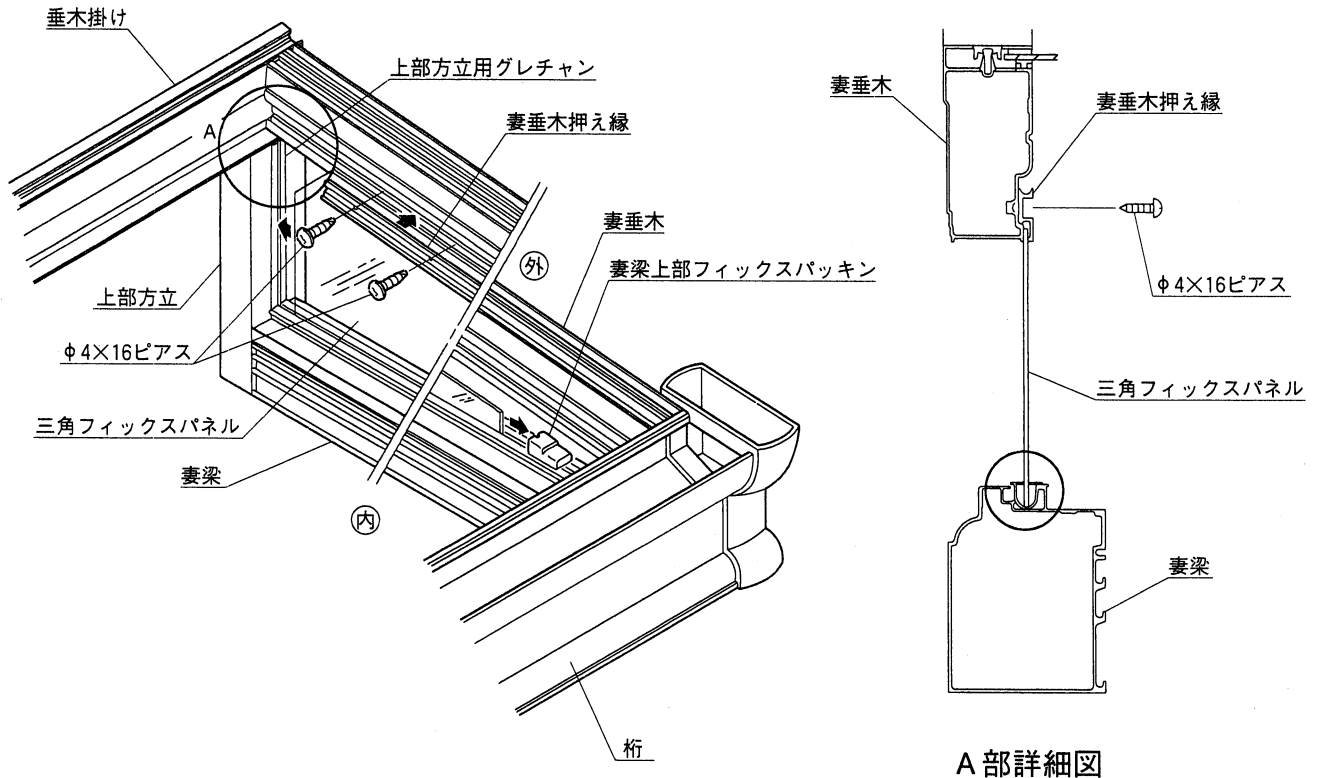


3.0間前面

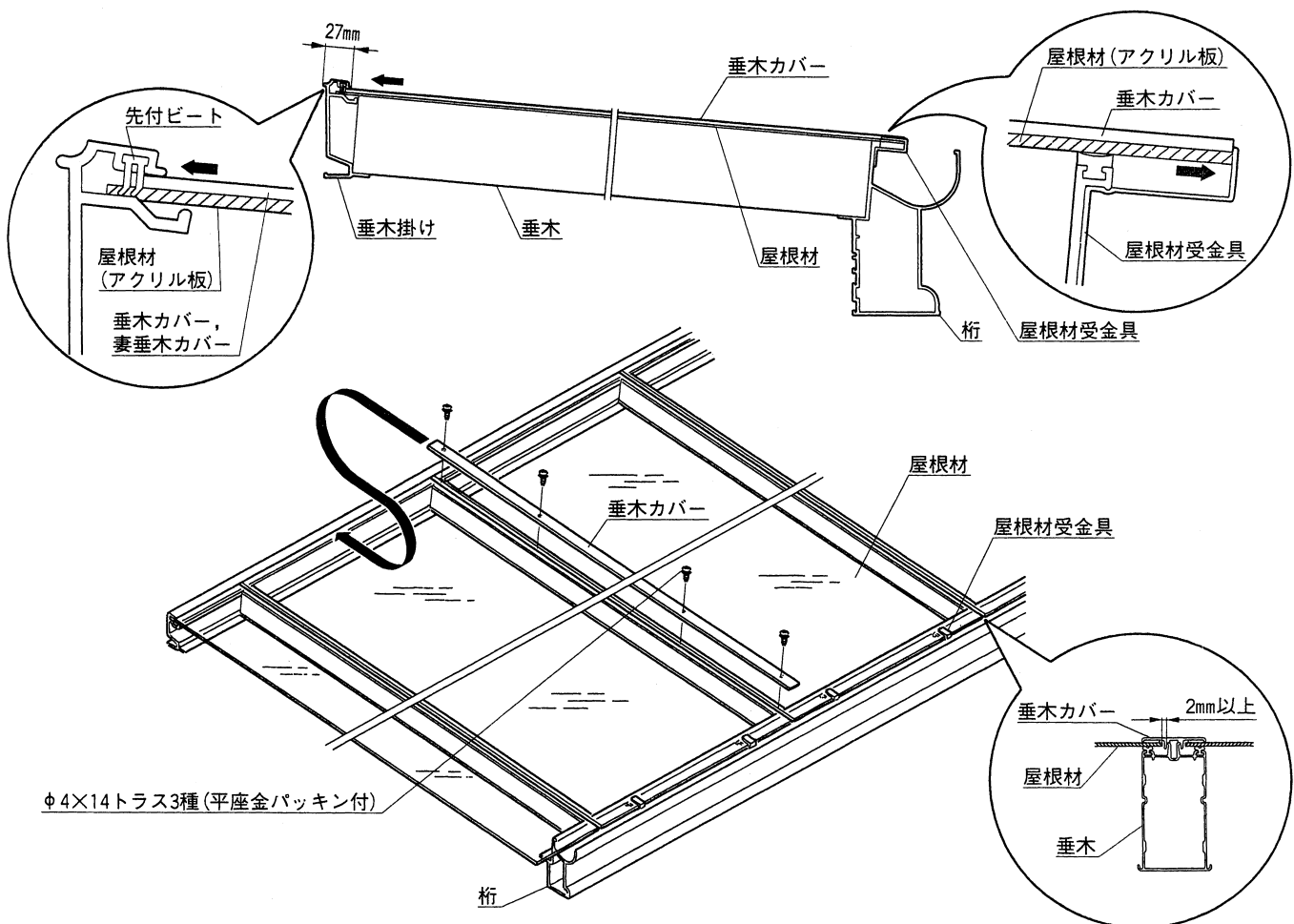
5-8 三角フィックスの取付け

- ①上部方立にグレチャンを挿入し、妻垂木先端下側に妻梁上部フィックスパッキンを挿入して下さい。
 ㊦上部方立用グレチャンは内、外側方向性有り、取付に注意して下さい。

- ②三角フィックスパネル(アクリル板)をセットし、妻垂木押え縁をネジ止めして下さい。
 ㊦妻梁上部フィックスパッキンの溝に三角アクリル板が納まるように挿入して下さい。



5-9 屋根材の取付け



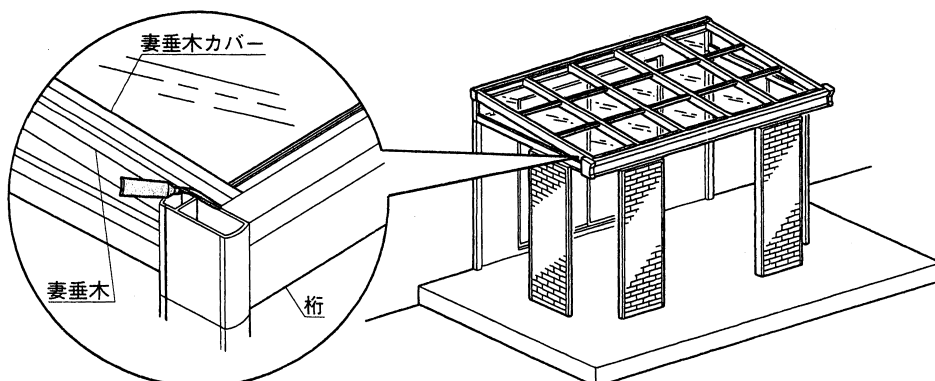
- ①左右どちらかの妻垂木より1スパン毎順に取付けて下さい。
- ②垂木掛けの溝に屋根材を差し込み、屋根材受金具の先端まで引出して下さい。
- ③垂木カバーを垂木掛けに差し込み、垂木掛け側から順番にネジ止メして下さい。

垂木カバーの先端が垂木掛けの溝に確実に挿入されたことを確認の上、垂木に固定して下さい。正しく挿入されると、屋根材の先端(雨樋側)と先端がそろいます。

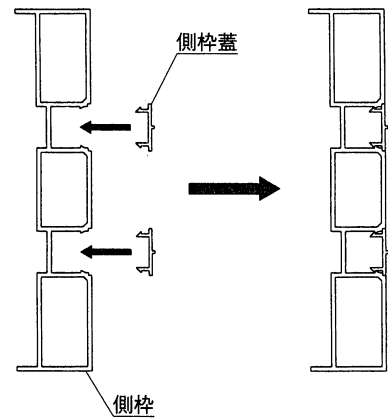
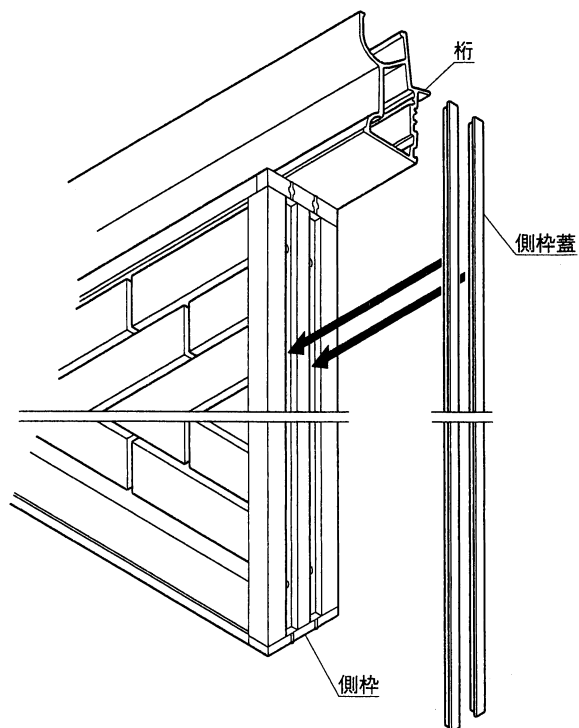
※垂木カバー及び妻垂木カバーを垂木掛けの中まで(先付ビートに当たるまで)挿入しないと、雨漏れの原因となります。

庇等によりネジが取付けられない場合垂木カバーを垂木掛けに押しこみネジ止メできない箇所に、φ4×12六角フランジ付ネジをスパナ等で固定して下さい。

- 本体施工後、妻垂木カバーと妻垂木及び桁の隙間にコーキングを施して下さい。
- ※コーキングを充分に行なわないと雨漏れの原因となります。



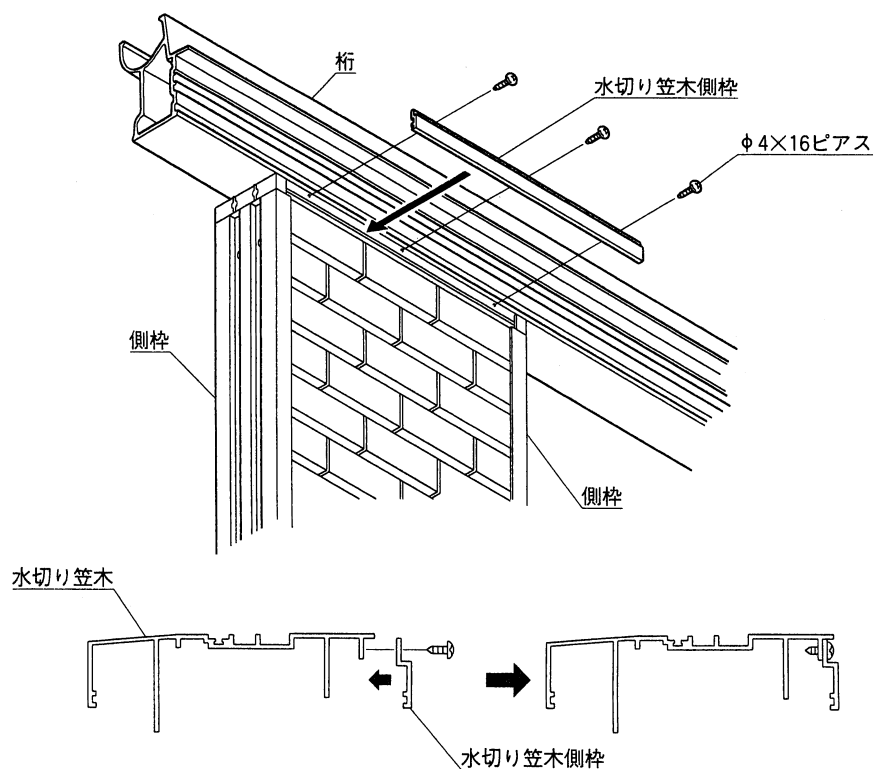
5-10 側枠蓋の取付け



●蓋の端部より側枠の溝へ軽くたたきながら取付けて下さい。

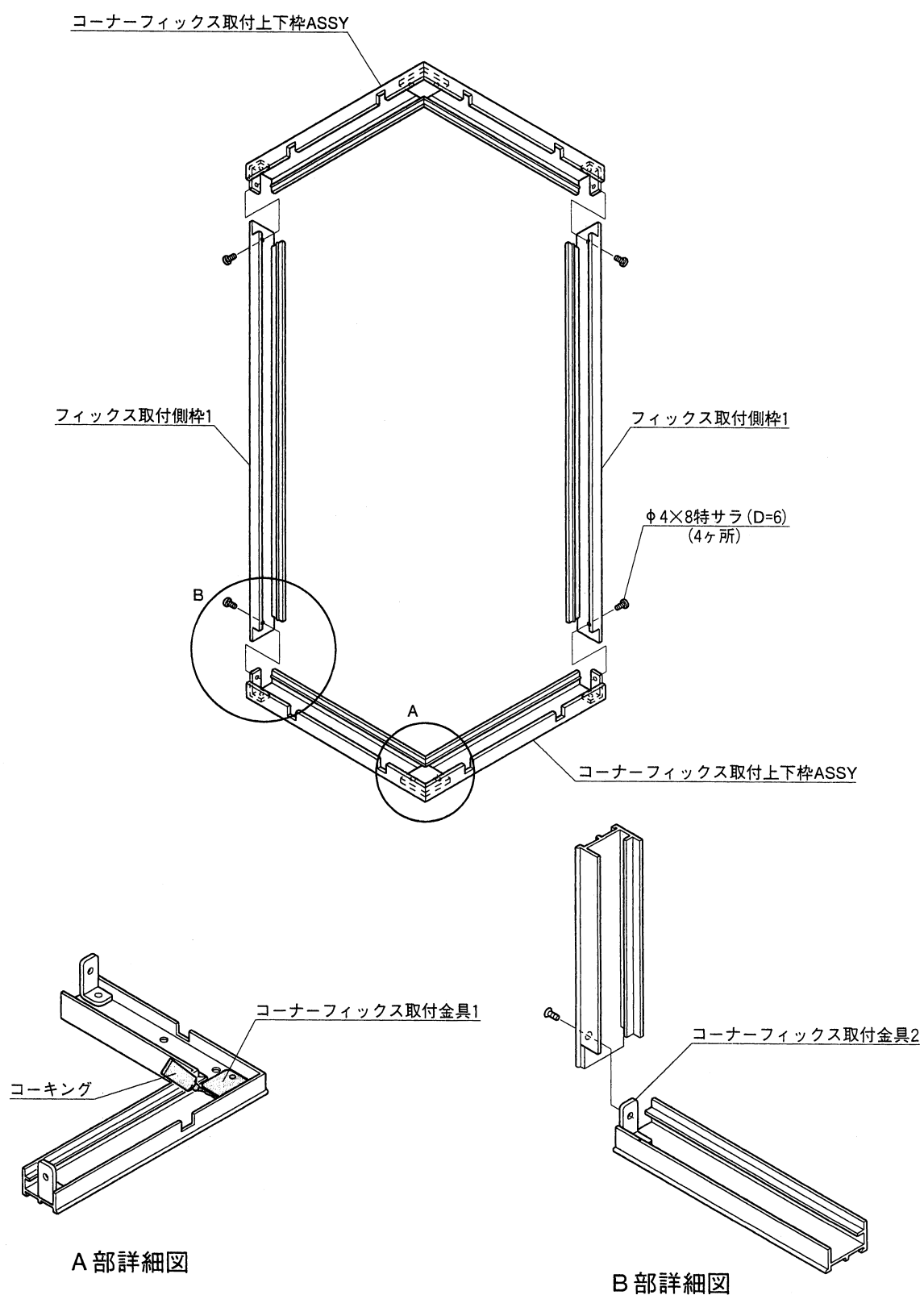
1. 蓋を取付ける前に、再度側枠が柱にネジ止めされているか確認して下さい。
2. 蓋をあまり強くたたかないで下さい。変形の恐れがあります。

5-11 水切り笠木側枠の取付け



●水切り笠木の上部内側に取付ネジにて固定して下さい。

5-12 コーナーフィックス取付枠の組立て

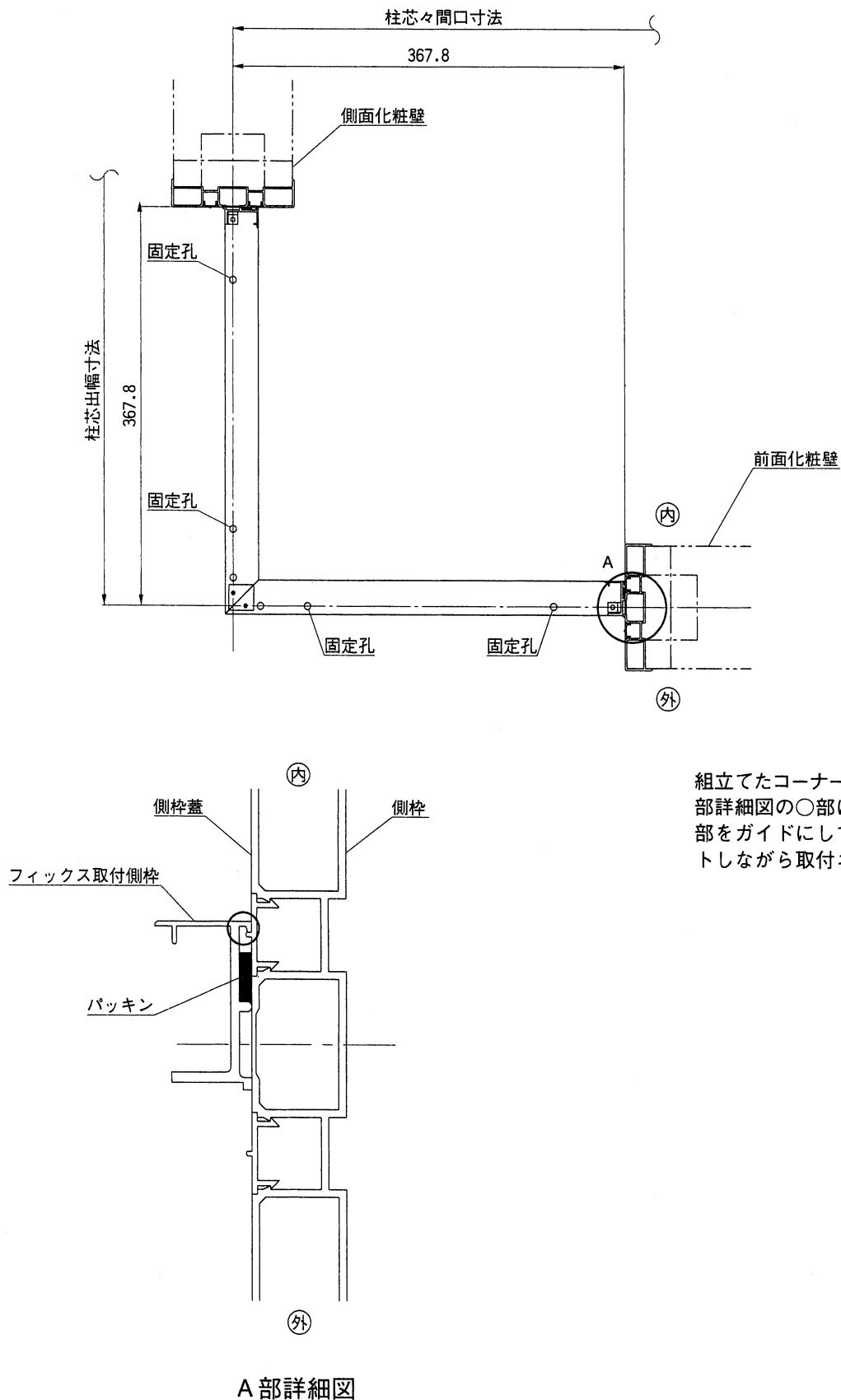


● コーナーフィックス取付上下枠ASSYとフィックス取付側枠1を取付ネジで組立てます。

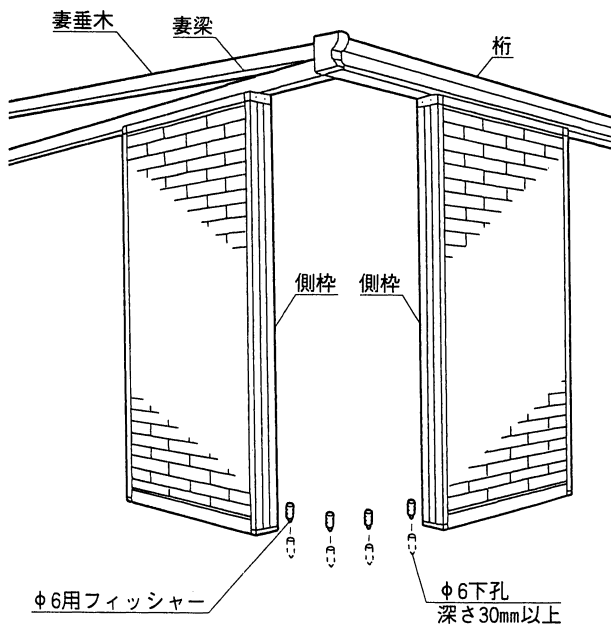
コーナー取付上下枠合わせ部分にコーキングをして下さい。

5-13 コーナーフィックスの取付け

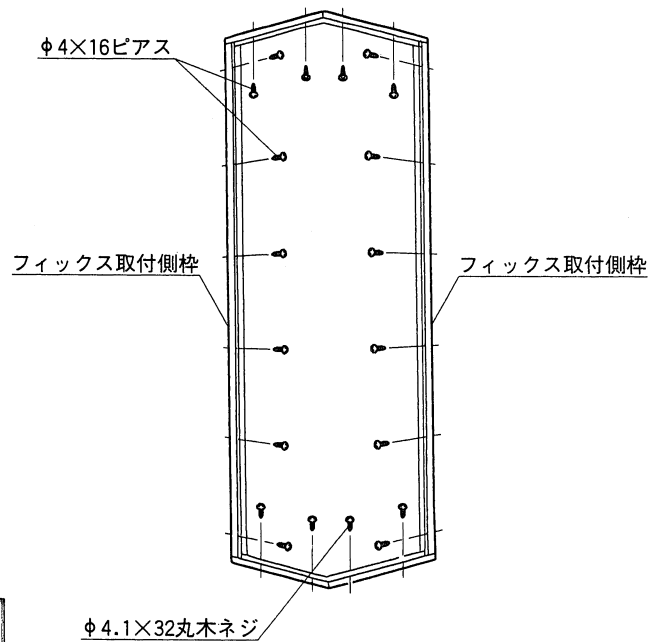
① コーナーフィックス取付枠の取付け



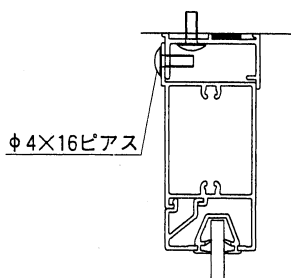
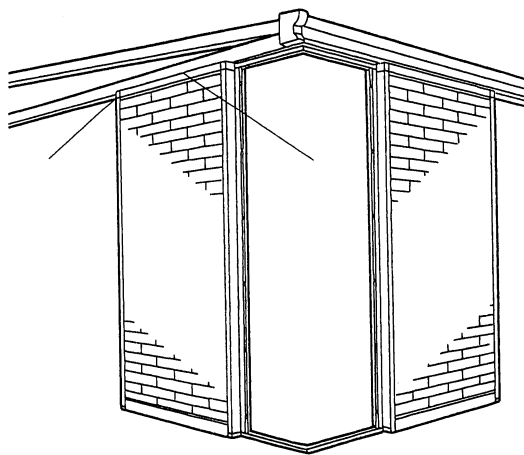
5-13 つづき



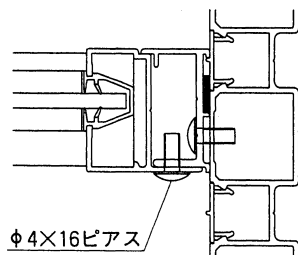
枠の取付けビスは最初に「桁」「妻梁」面に固定し、次に側面、底面を固定して下さい。



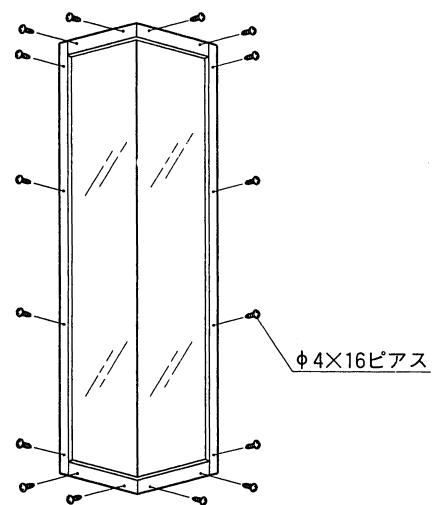
② コーナーフィックスパネルの取付け



上下取付詳細図

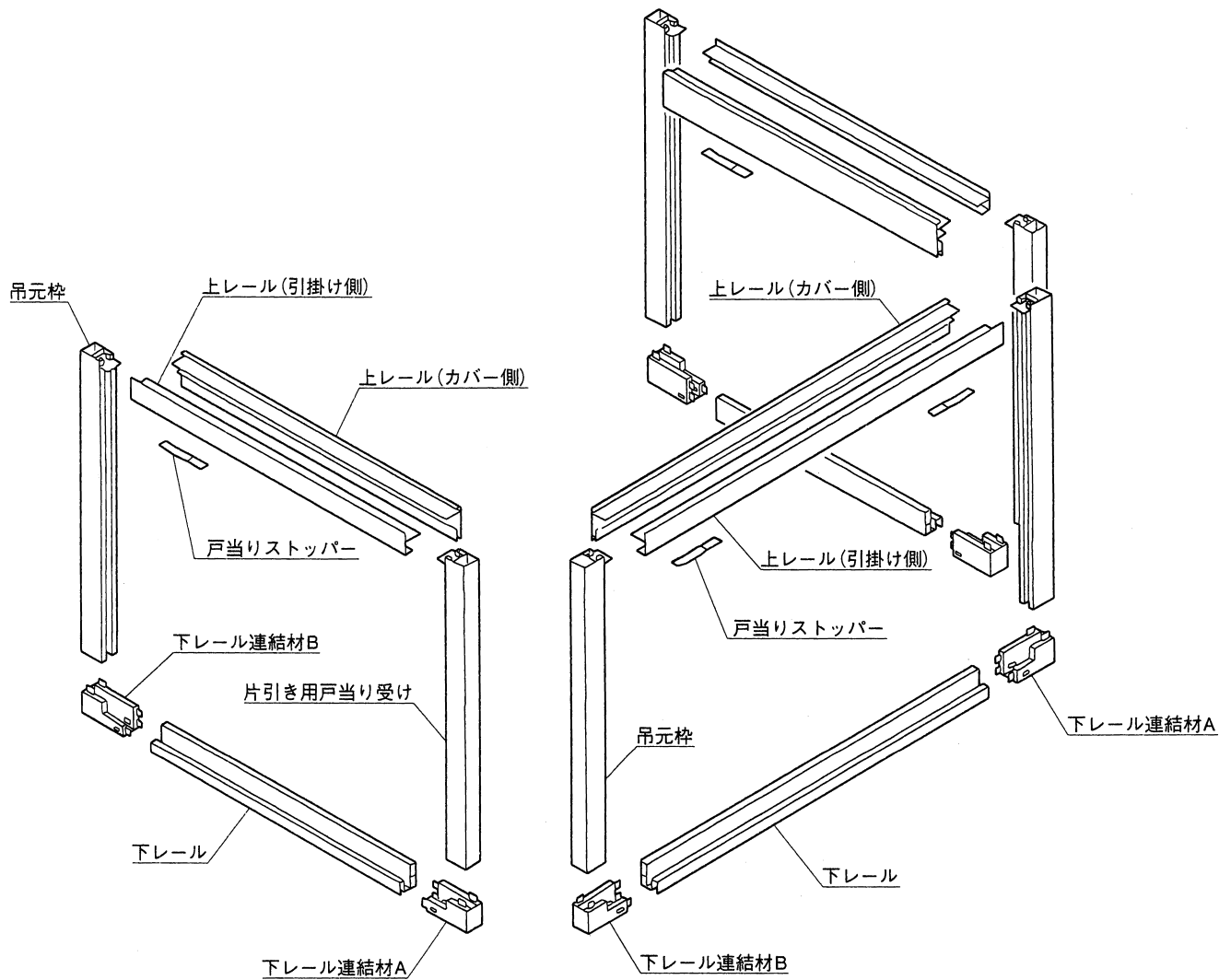


側面取付詳細図



●取付枠にコーナーフィックスパネルを外側よりはめこみ、取付ネジにて固定します。

6 プリッサ 部材名称と上下レールの施工

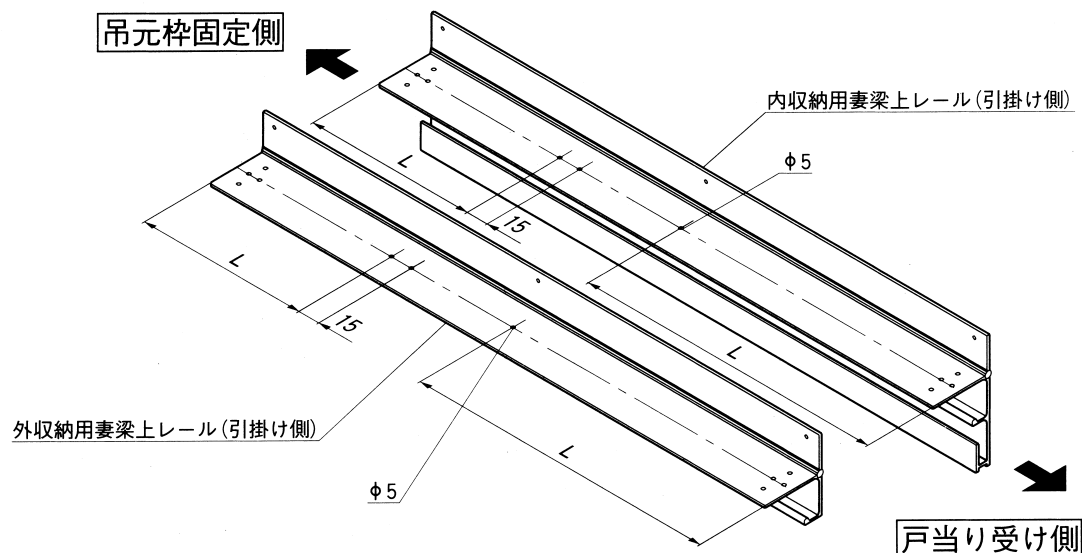


<注 意>

本図は、側面：外収納仕様
前面：両開き仕様

6-1 妻梁上レールの取付け

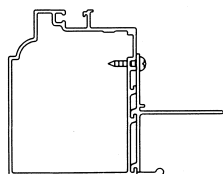
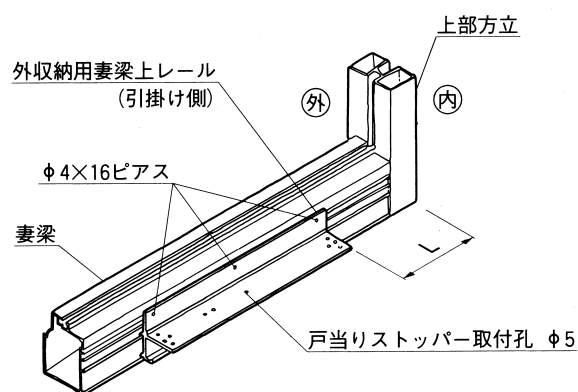
- 妻梁レールセットの梱包を開いた時点で、下記の表に従って(戸当りストッパー取付孔φ5)の孔加工をして下さい。
内、外収納レール共、妻梁に引掛ける側のみ孔加工します。
左右どちらのレールも吊元枠に固定する側端よりL寸法をとって下さい。



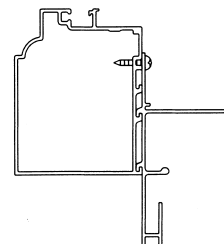
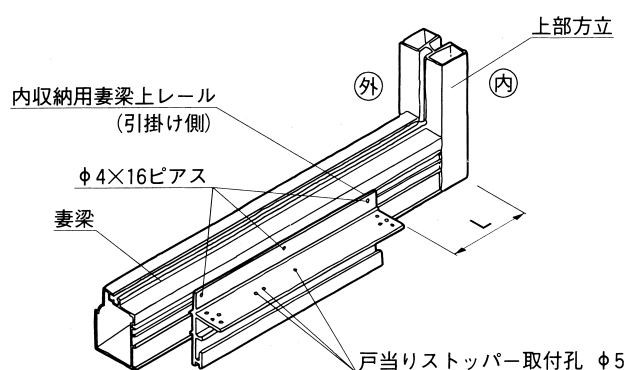
- 1.5間の「桁レールセット」には、上記「妻梁レールセット7尺用」を使用します。
- 1.5間の桁レールとして使用する場合は、標準仕様で吊元枠固定側が外観『右側』です。(本図通り)

出 幅	L
7 尺	149
9 尺	191

① 戸袋外収納の場合



② 戸袋内収納の場合

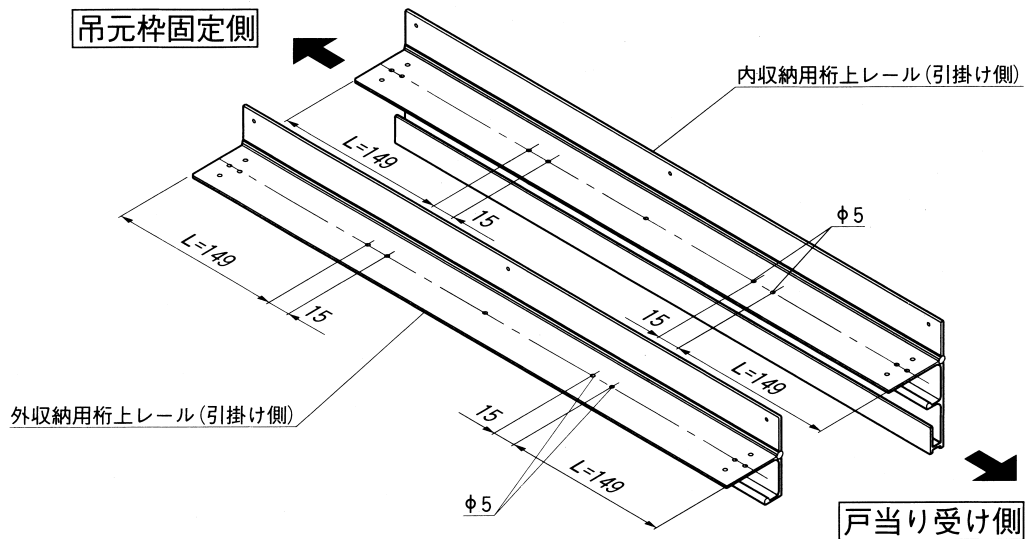


出 幅	L
7 尺	323.5
9 尺	332.5

- 躯体面よりL寸法をとり、妻梁上レールを妻梁に固定して下さい。

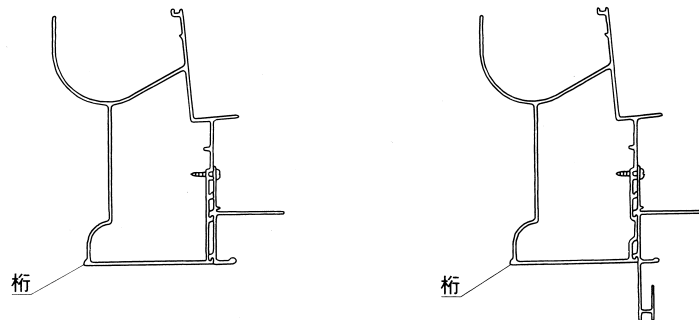
6-2 桁上レール(引掛け側)の取付け

- 桁レールセットの梱包を開いた時点で、下記の表に従って(戸当りストッパー取付孔φ5)の孔加工をして下さい。
内、外収納レール共、桁に引掛ける側のみ孔加工します。両端よりL寸法をとって下さい。

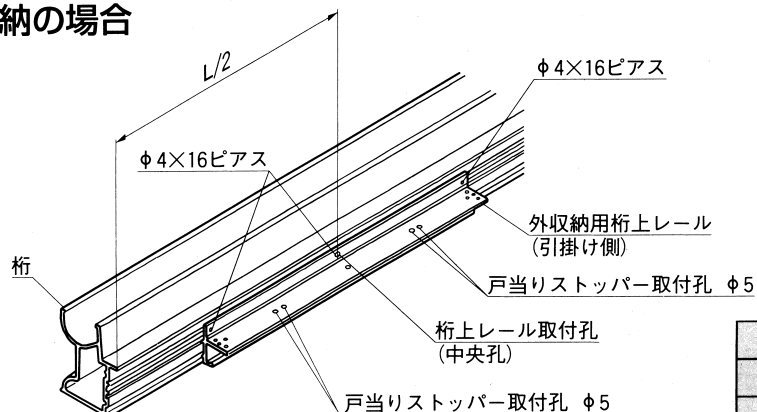


- 1.5間の桁レールセットは、妻梁レールセット(7尺用)と共通です。
- 1.5間の桁レールの吊元枠固定側は、標準仕様で外観『右側』です。
P36の妻梁レール加工を参照して下さい。

① 外収納の場合



② 内収納の場合

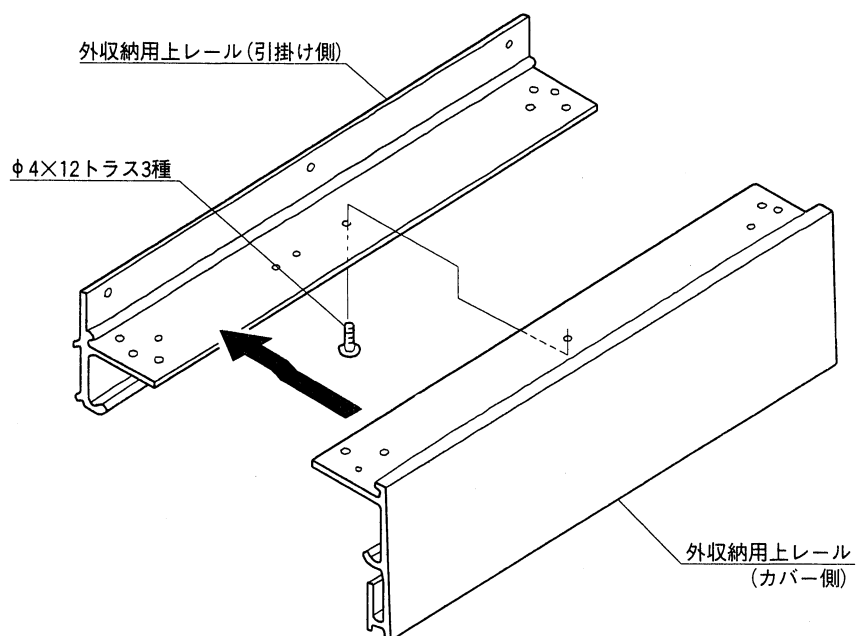


- 桁上レール取付孔の中央孔を、桁の中央(L/2)に設定し固定して下さい。

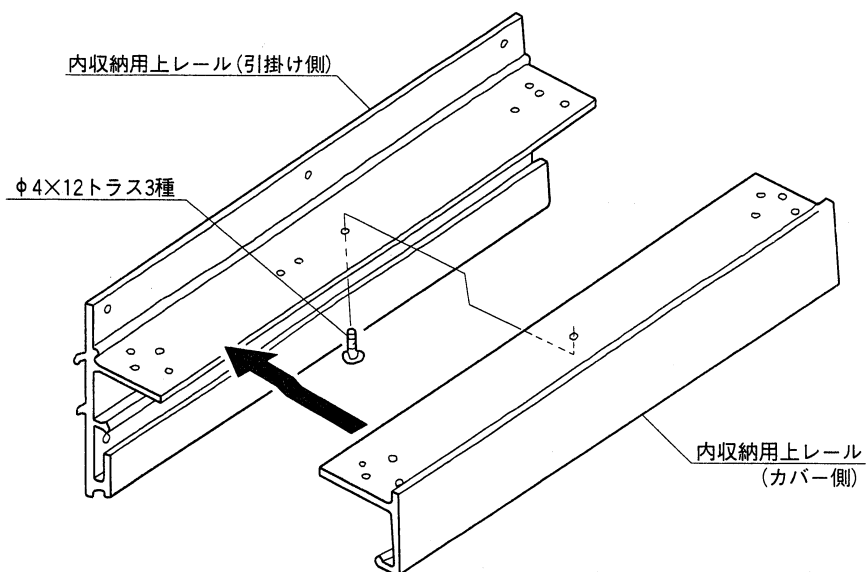
間口	L/2
1.5間	1534.5
2.0間	1912.3
2.5間	2290
3.0間	3045.5

6-3 上レール(カバー側)の取付け

① 外収納の場合



② 内収納の場合



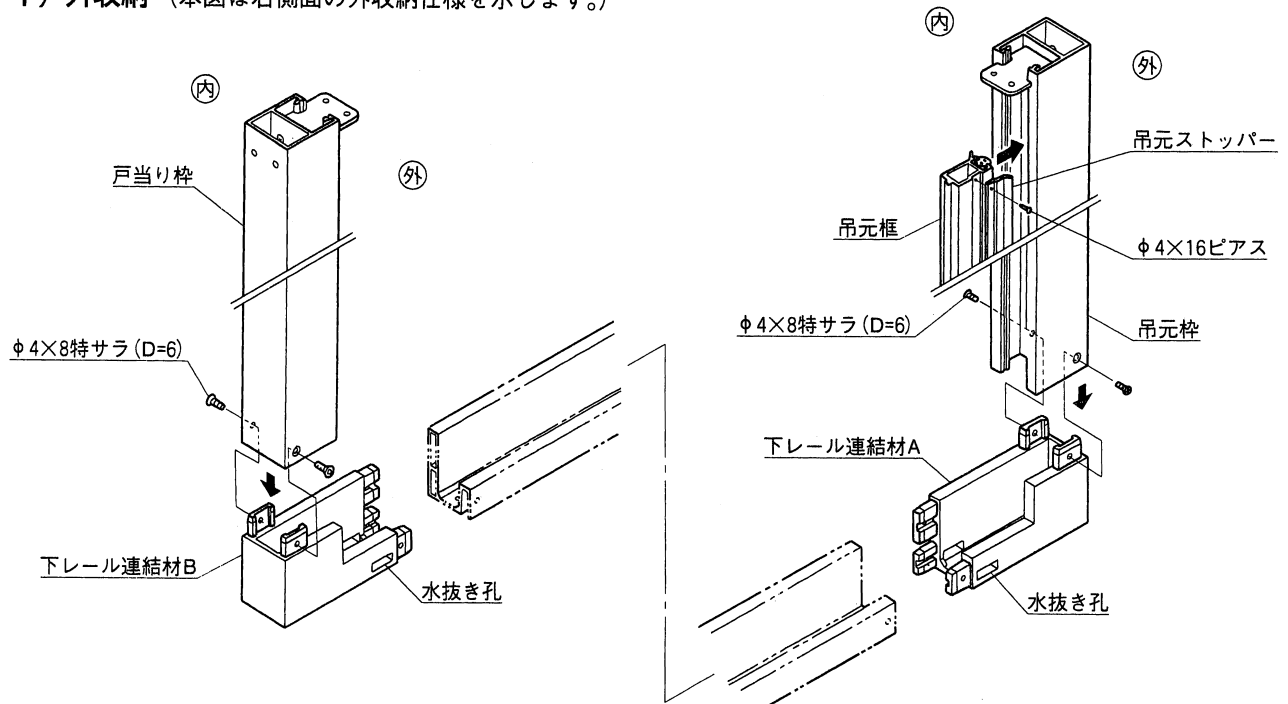
●上レール(カバー側)を上レール(引掛け側)の天板上面にセットし、取付ネジにて固定して下さい。

6-4 吊元枠・戸当り枠(片開きのみ)の組立て

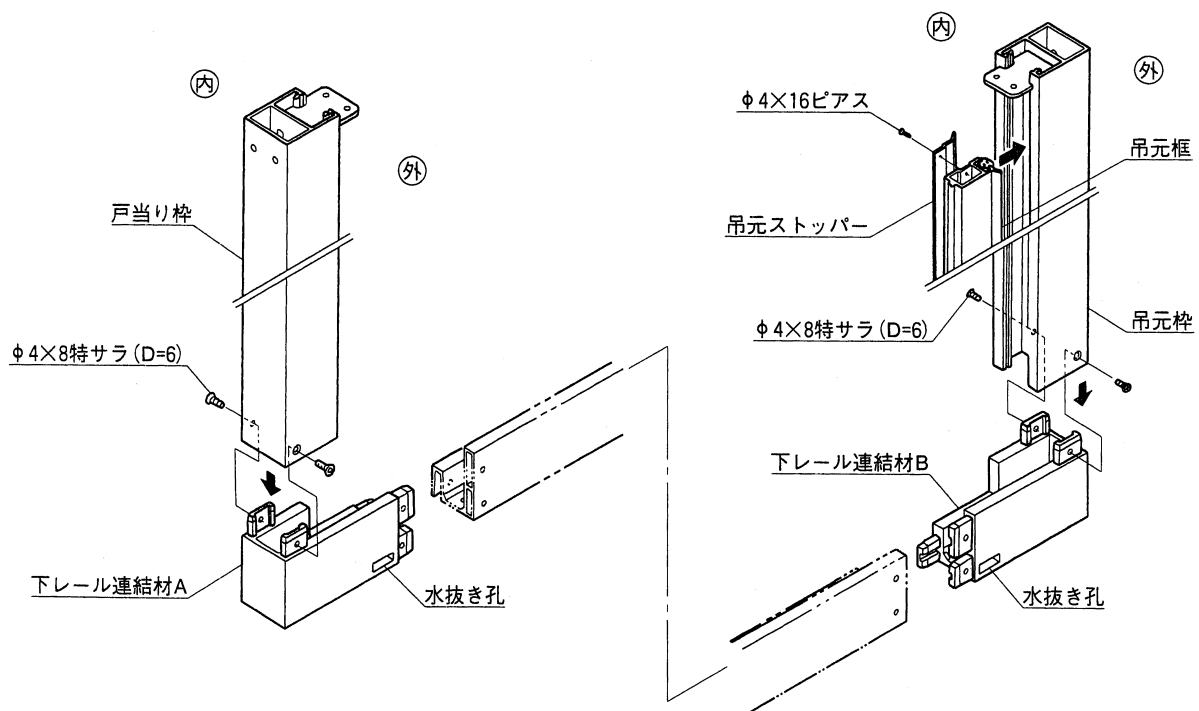
① 片開き.....各タイプの側面及び1.5間の前面に対応します。

- ①吊元枠及び戸当り枠を下レール連結材に差し込み、取付ネジにて固定して下さい。
- ②吊元框を吊元枠内に挿入し、抜け止めの為の吊元ストッパーを取付ネジにて固定して下さい。

1) 外収納 (本図は右側面の外収納仕様を示します。)



2) 内収納 (本図は右側面の内収納仕様を示します。)



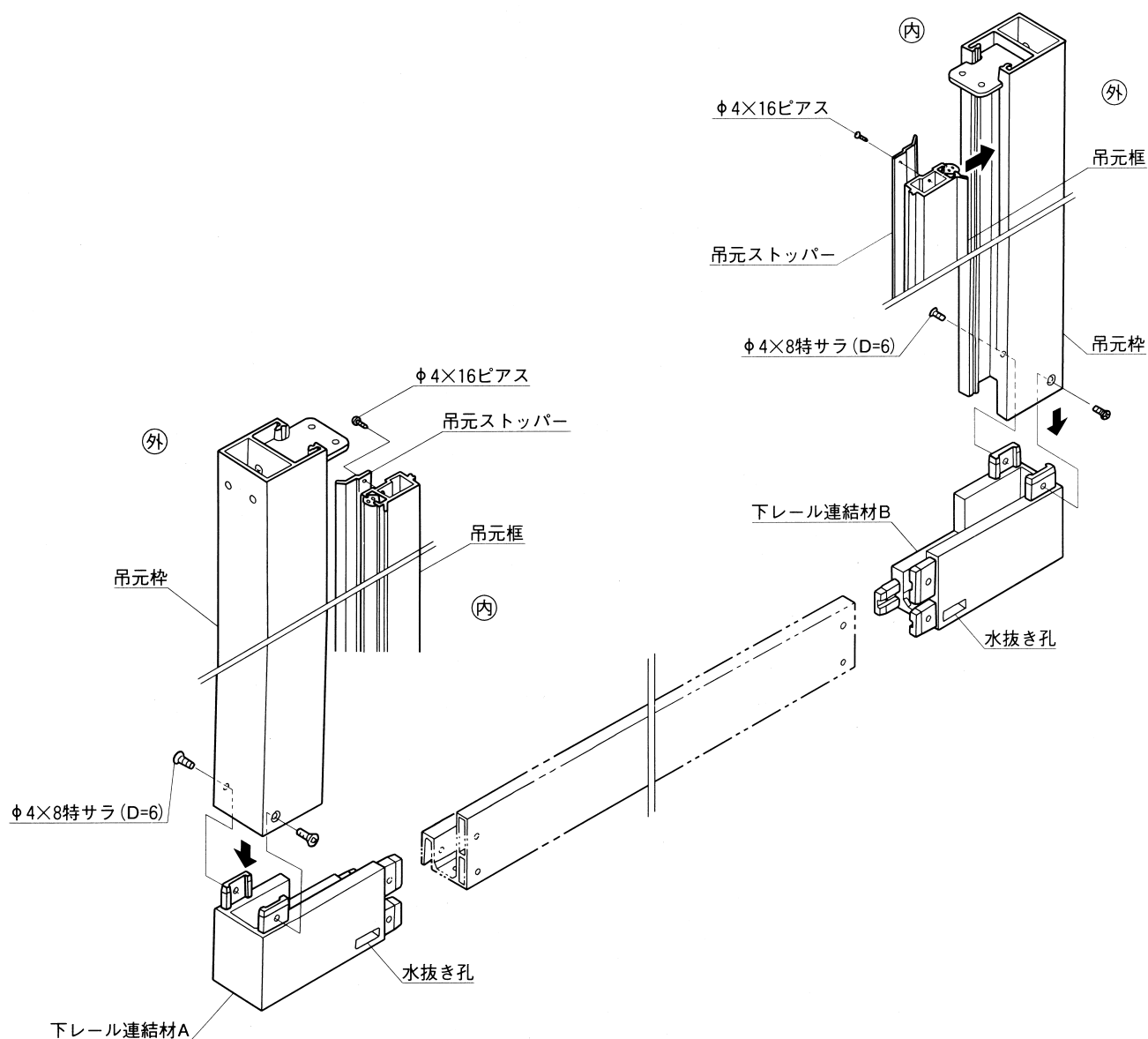
水抜き連結材の外側「水抜き孔」を軽く打ち抜いて下さい。(出荷時は外・内収納共通の為、孔が貫通していません)

6-4 つづき

② 両開き.....2.0間,2.5間,3.0間の前面に対応します。

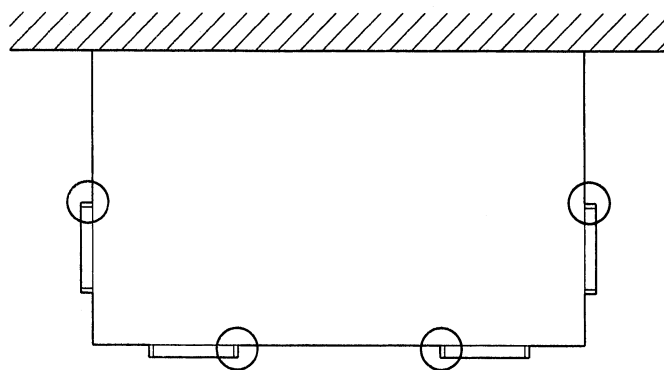
- ① 吊元枠を下レール連結材に差し込み、取付ネジにて固定して下さい。
- ② 吊元枠を吊元枠内に挿入し、抜け止めの為の吊元ストッパーを取付ネジにて固定して下さい。

☞ 本図は外収納仕様を示します。内収納仕様は(外)(内)が入れ替わります。

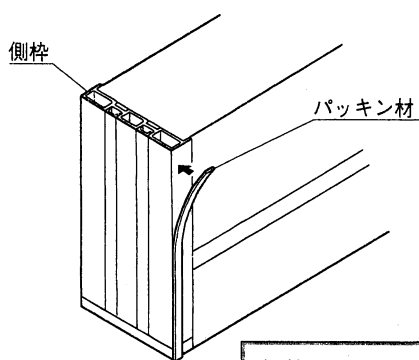


水抜き連結材の外側「水抜き孔」を軽く打ち抜いて下さい。(出荷時は外・内収納共通の為、孔が貫通していません)

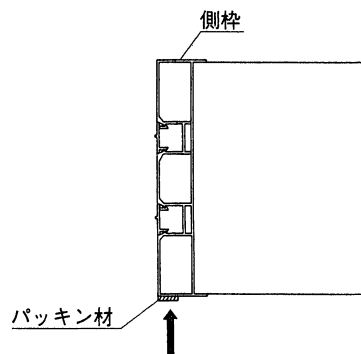
6-5 パッキン材の取付け



●○部の側枠内面にパッキン材を貼って下さい。



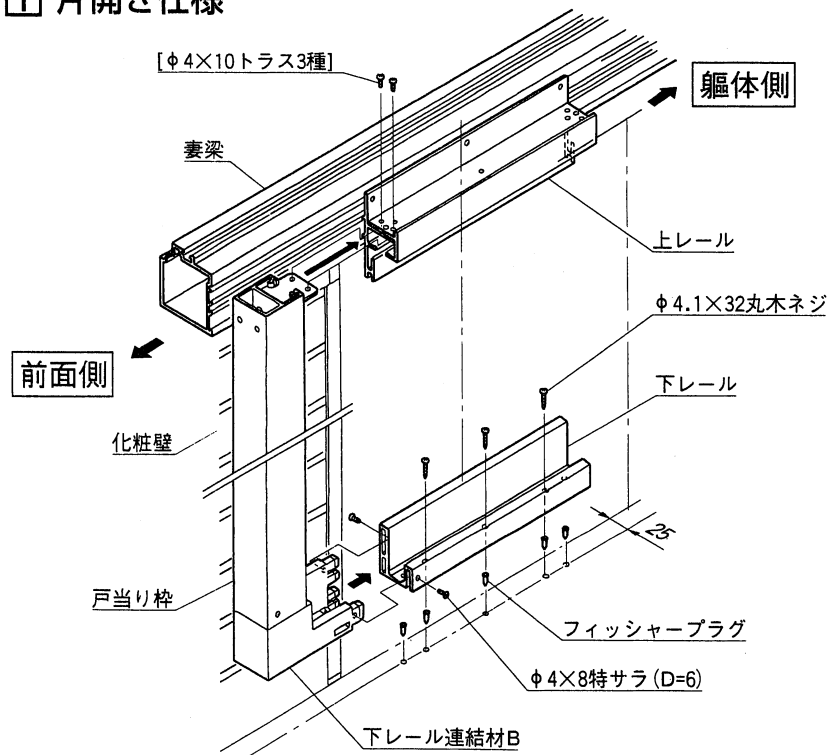
側枠の下から上に向かって貼って下さい。



側枠の外端に合わせて貼って下さい。

6-6 下レールの取付け

① 片開き仕様



- ①上レールに戸当り枠及び下レールを仮組し、土間との固定位置を決定し、フィッシャープラグをあらかじめセットします。(下孔はφ6です)
- ②下レール連結材と下レールを組付けて下さい。
- ③戸当り枠を上レールに組付けて下さい。
- ④下レール連結材及び下レールを土間に固定します。

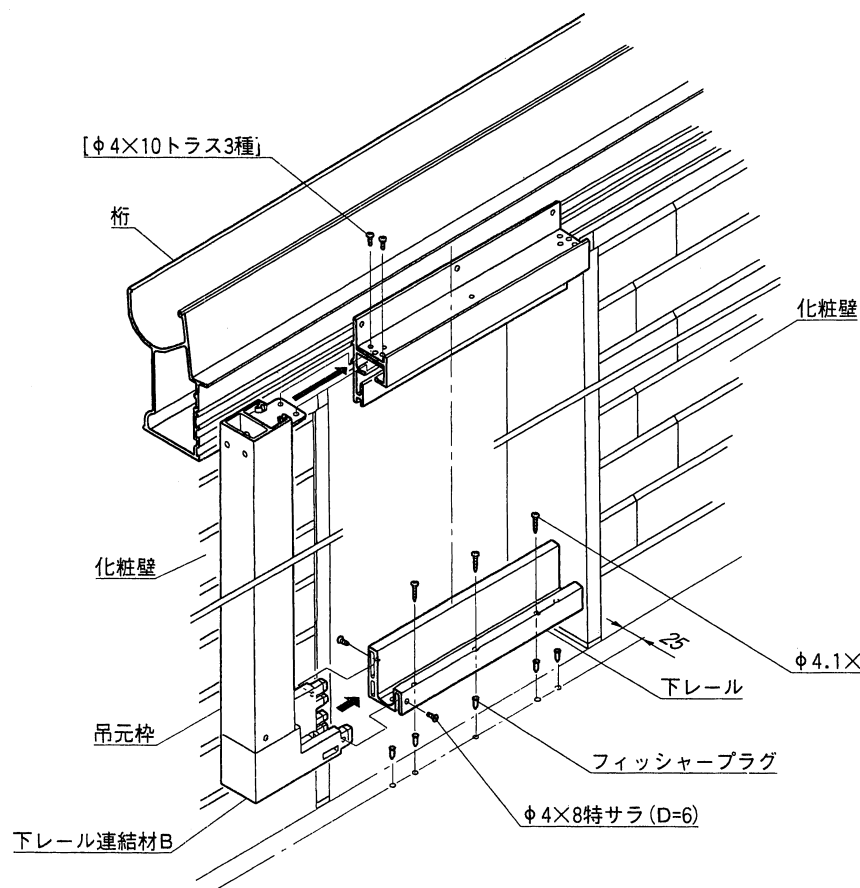
1. 上レールのセンターと下レールのセンターが一致します。
2. 戸当り枠を垂直に、側枠のパッキン材をはさみ込む様に固定して下さい。
3. 下レールの土間固定用孔のうち、両外の孔(端部から10mm)は使用しません。

注 本図は左側面、内収納を示します。

図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

6-6 つづき

② 両開き仕様



①上レールに戸当り枠及び下レールを仮組し、土間との固定位置を決定し、フィッシャープラグをあらかじめセットします。(下孔はφ6です)

②下レール連結材と下レールを組付けて下さい。

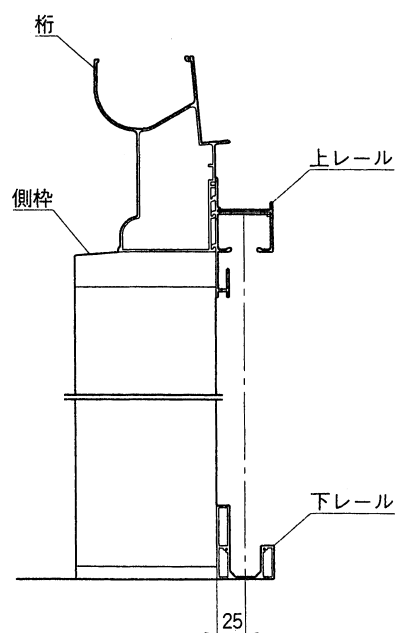
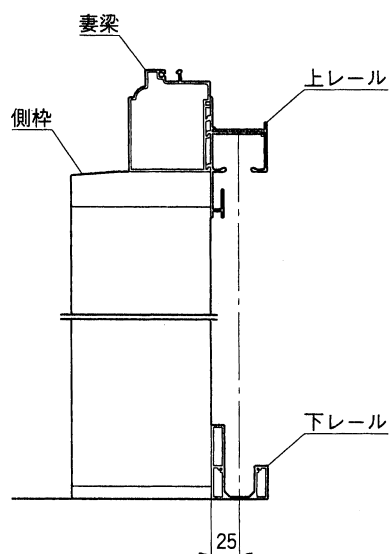
③吊元枠を上レールに組付けて下さい。

④下レール連結材及び下レールを土間に固定します。

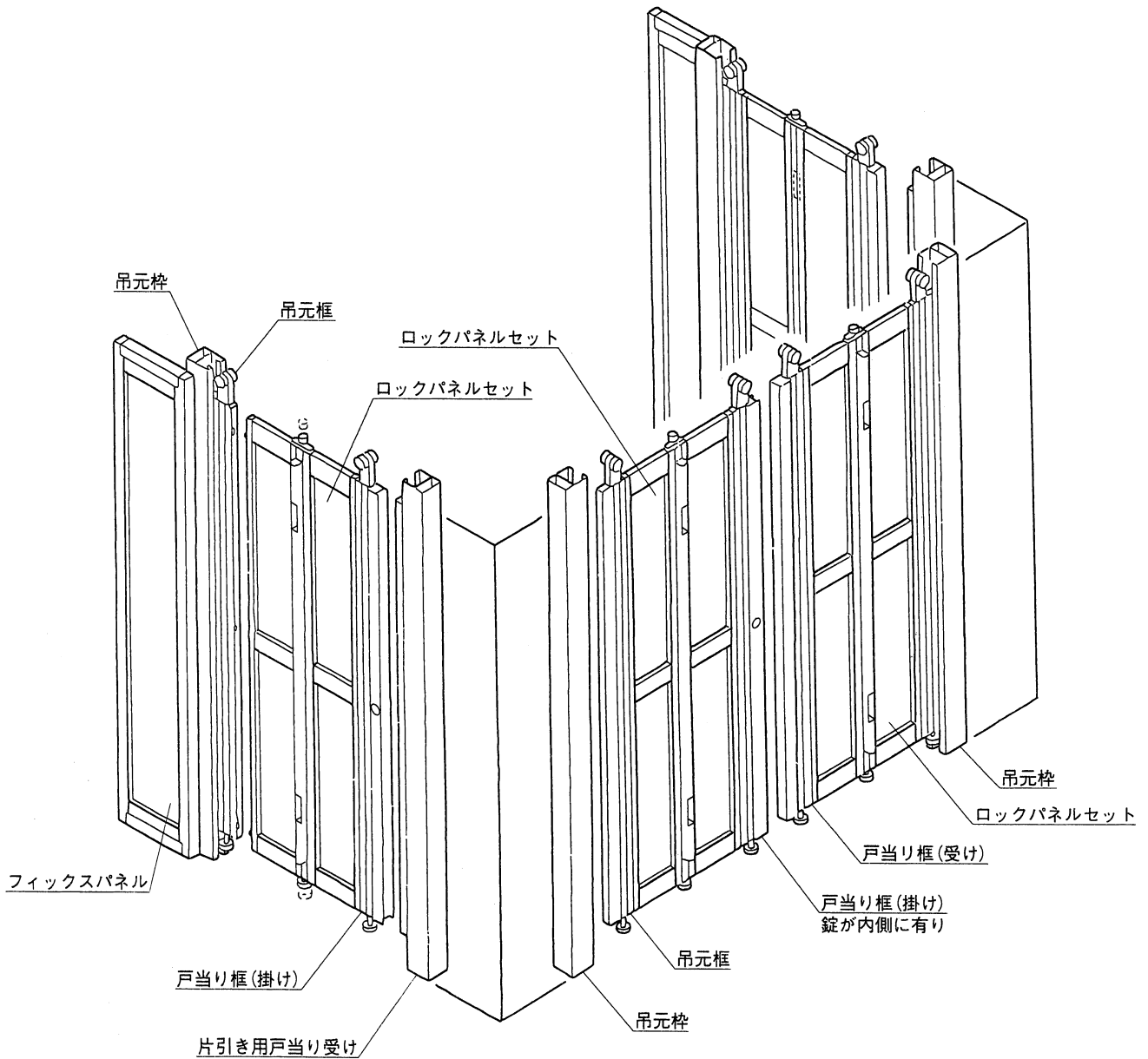
1. 上レールのセンターと下レールのセンターが一致します。
2. 吊元枠を垂直に、側枠のパッキン材をはさみ込む様に固定して下さい。
3. 下レールの土間固定用孔のうち、両外の孔(端部から10mm)は使用しません。

注 本図は前面、内収納を示します。

図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。



7 ブリッサ 部材名称とパネルの施工

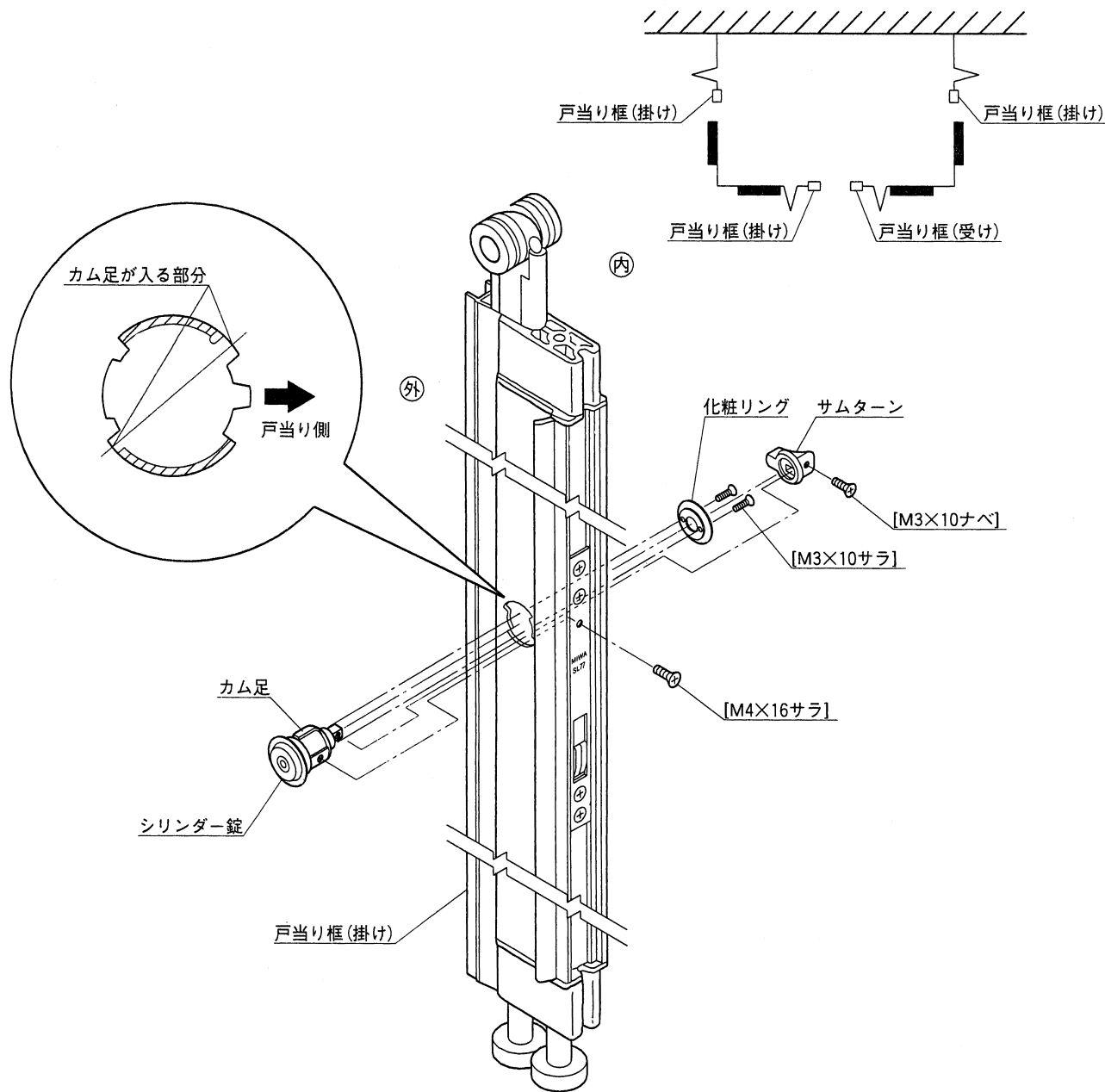


<注 意>

本図は、側面：出幅7尺仕様
前面：両開き仕様

7-1 戸当り框への錠の取付け

- 戸当り框(掛け)へシリンダー錠を取付ける場合、シリンダー錠が外側にくるように取付けて下さい。
- 両開きの場合は、外観左側に戸当り框(掛け)がきます。

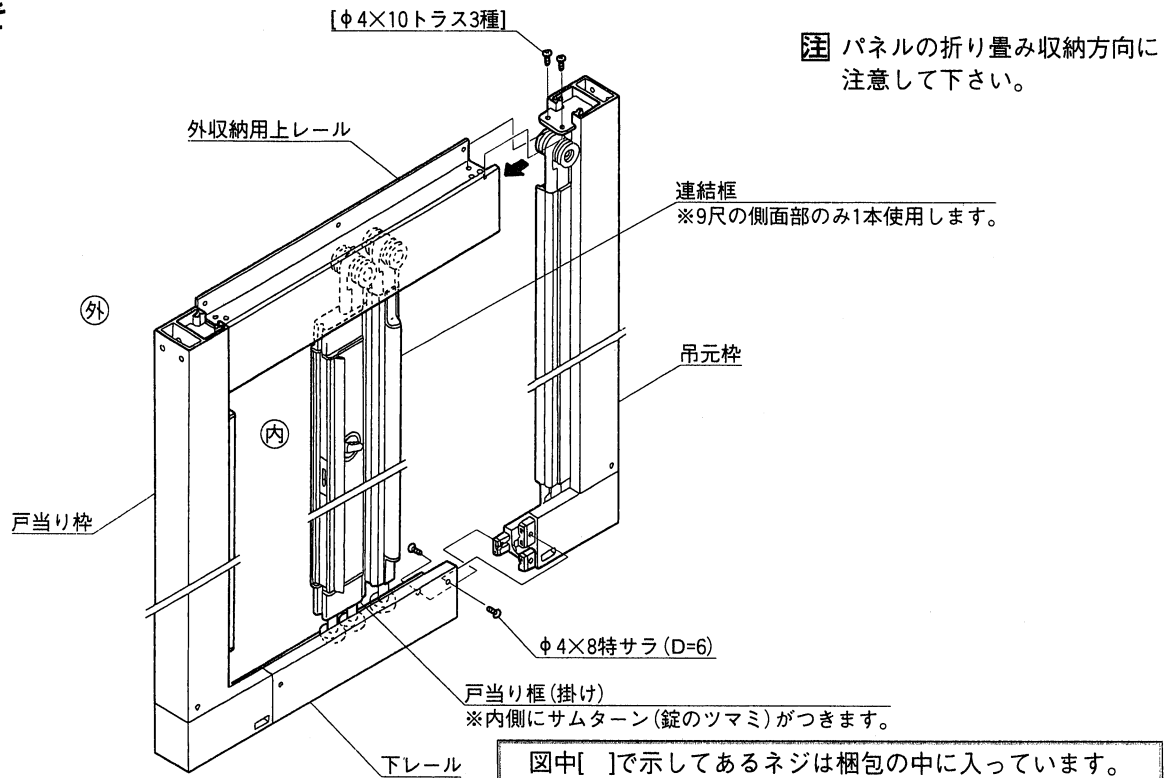


図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

- ①シリンダー錠が外側に来るように框の向きを調整し、框の穴に挿入して下さい。
 注 シリンダー錠側面にあるネジ穴を戸当り側へ向けて下さい。
 注 シリンダー錠の挿入部分の形状を框の中の穴形状に合わせて下さい。
- ②シリンダー挿入後、框戸当り側からシリンダーをネジ止めして下さい。
- ③化粧リングの凸部が表に来るようにはめ込み、ネジ止めして下さい。
- ④サムターンをはめ、ネジ止めして下さい。
 注 ネジ止め部が上に来るように取付けて下さい。

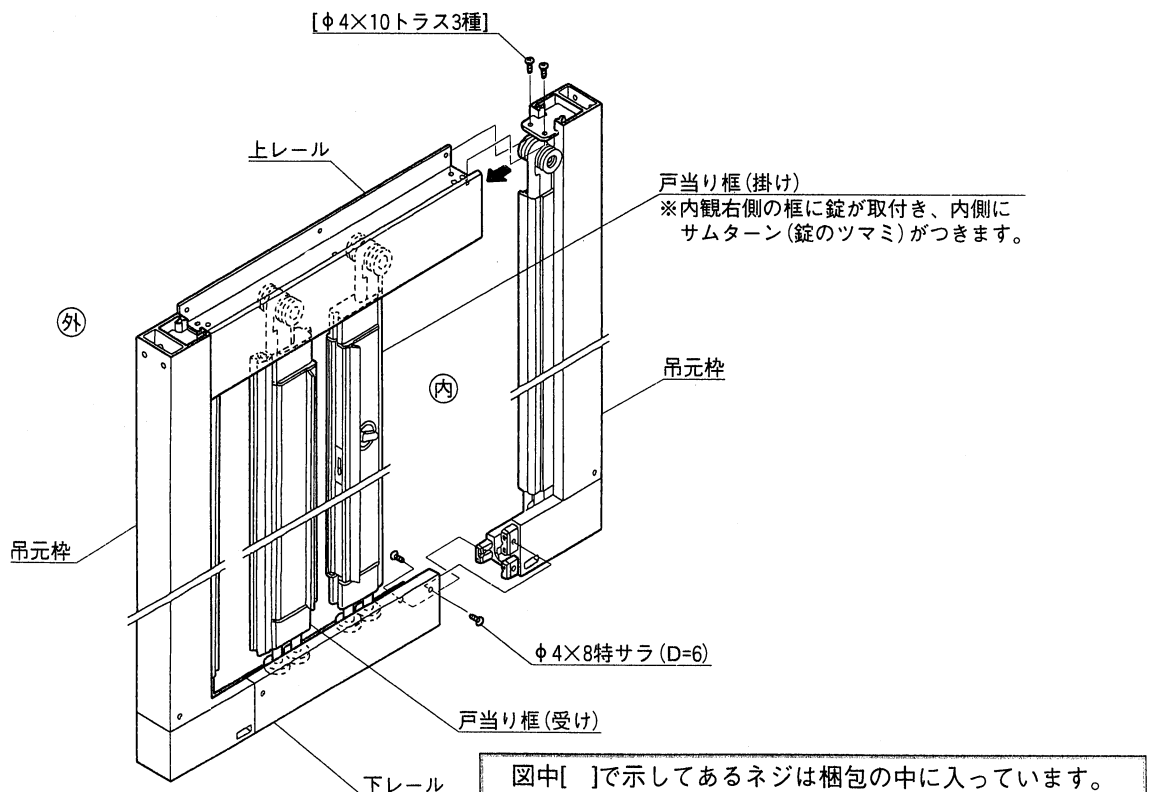
7-2 戸当り框・連結框・吊元框の取付け

① 片開き



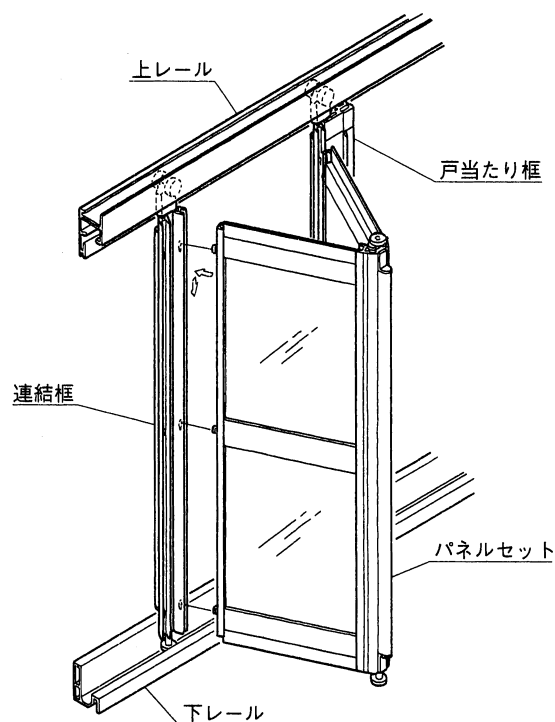
戸当り框 (掛け) を入れ、次に連結框を挿入し (9 尺の側面部にのみ 1 本使用)、最後に吊元枠を組付けて下さい。

② 両開き

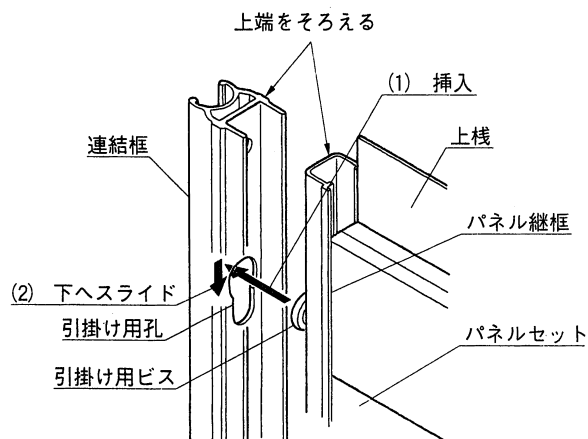


戸当り框 (受け) 及び戸当り框 (掛け) (内観右側にきます) を挿入し、最後に吊元枠を組付けて下さい。

7-3 パネルの吊込み

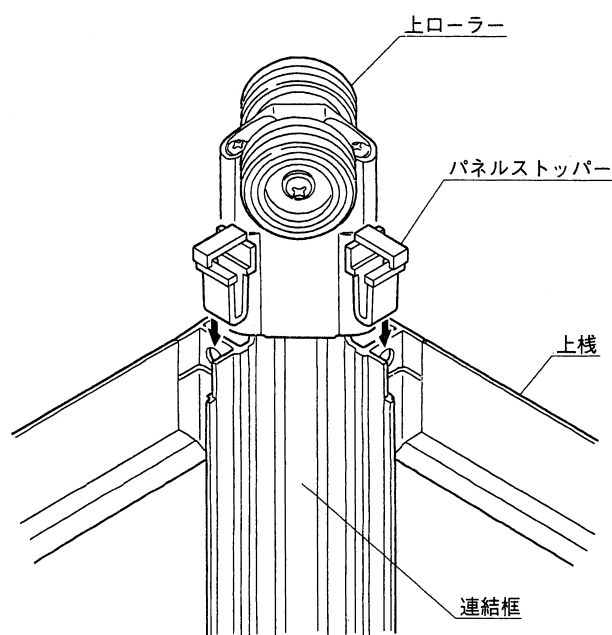


框同志の高さをそろえて引掛け用孔に挿入する。



パネルの上中下3ヶ所に引掛け用ビスの頭が確実にひっかかっていることを確認して下さい。
引掛け用ビスの頭が完全に引っ掛かっていないと、パネルが脱落したり、破損の恐れがあります。

- パネル抜け止めのためのパネルストッパーを連結框側へ取付けて下さい。
パネルストッパーがないと開閉時や地震時にパネルが脱落したり、強風ではずれてケガをする危険があります。



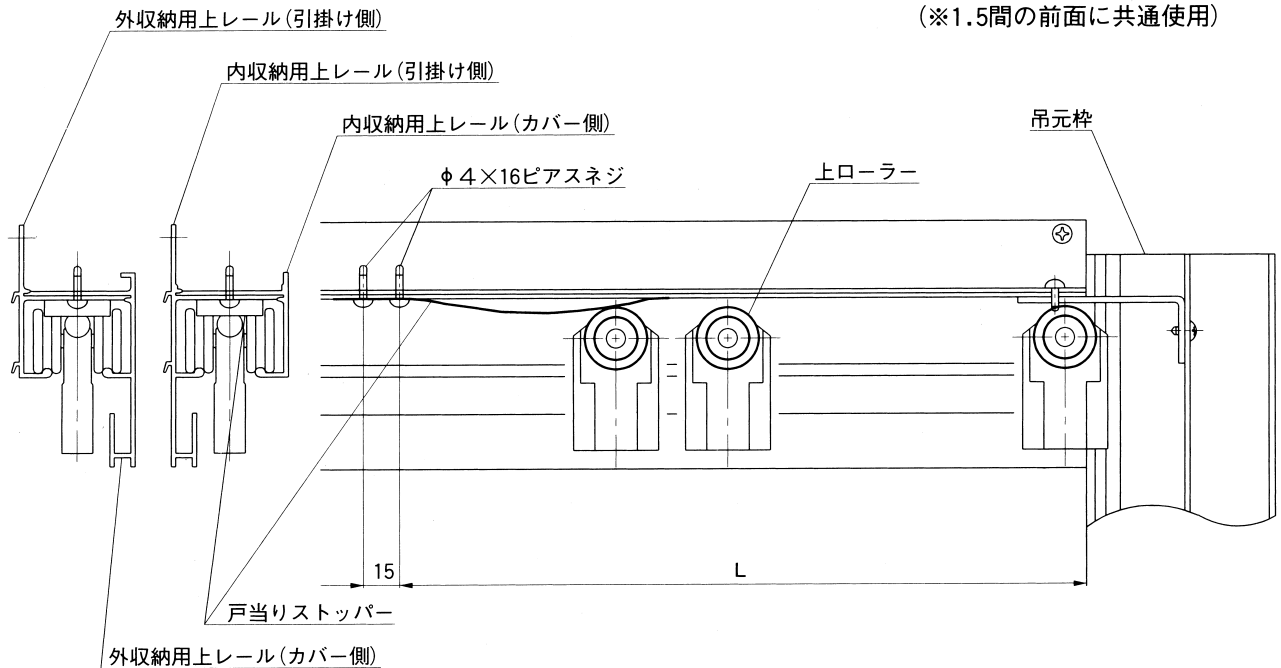
1. パネルセットには、内収納セット、外収納セットがあります。吊込み時に注意して下さい。(シール有り)
2. パネルセットに上下が有ります。吊込み時、シールの指示に従って吊込んで下さい。

7-4 戸当りストッパー及びストッパーガイドの取付け

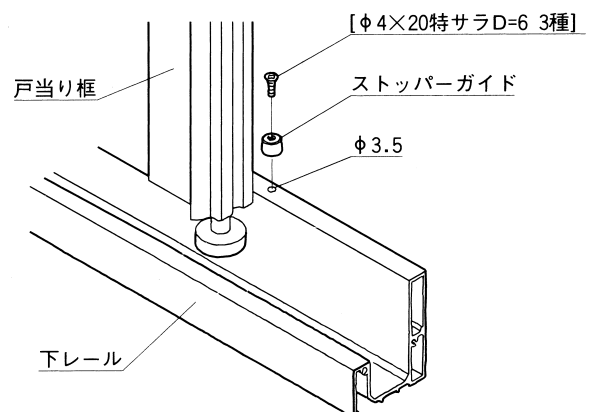
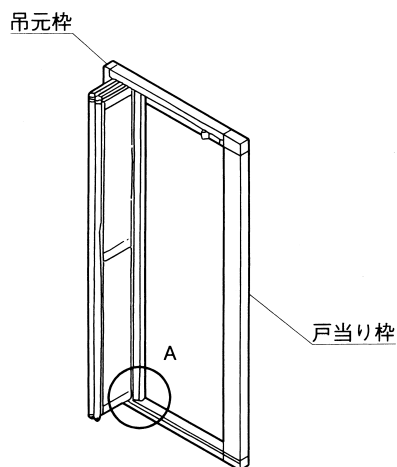
- 上下レールの組み付け、全パネルの吊込み後、戸当りストッパーを戸袋レール内に挿入し $\phi 4 \times 16$ ピアスネジにて固定して下さい。

L寸法	前 面	側 面
149	1.5~3.0間	7 尺
191	—	9 尺

(※1.5間の前面に共通使用)



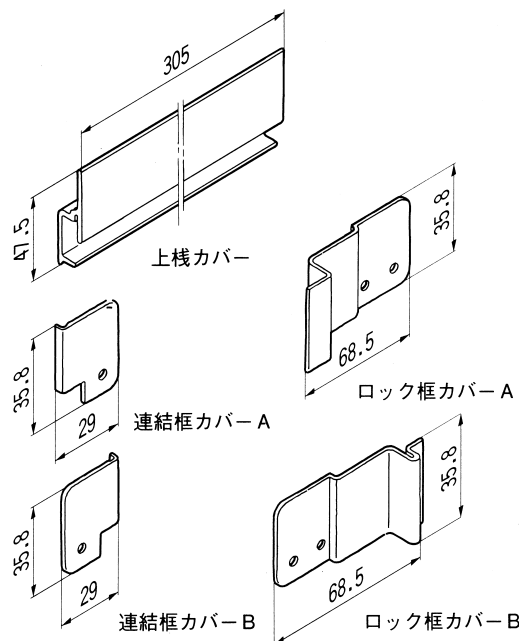
- 下図の様に下レールに $\phi 3.5$ の下穴をあけ、ストッパーガイドを同梱されているネジ ($\phi 4 \times 20$ 特サラ D=6, 3種) にて取付けて下さい。



A 部詳細図

図中[]で示してあるネジは梱包の中に入っています。

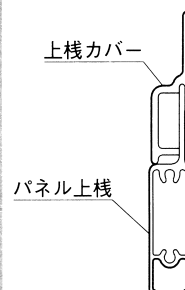
7-5 パネル上棧への戸袋水切りカバーの取付け(外収納のみ)



①上棧カバーを各パネルに合わせカットし、パネル上棧へ取付けます

名 称	カット寸法
ロックパネル(3) (9尺側面用)	227
ロックパネル(4) (9尺側面以外)	—

上棧カバー取付断面



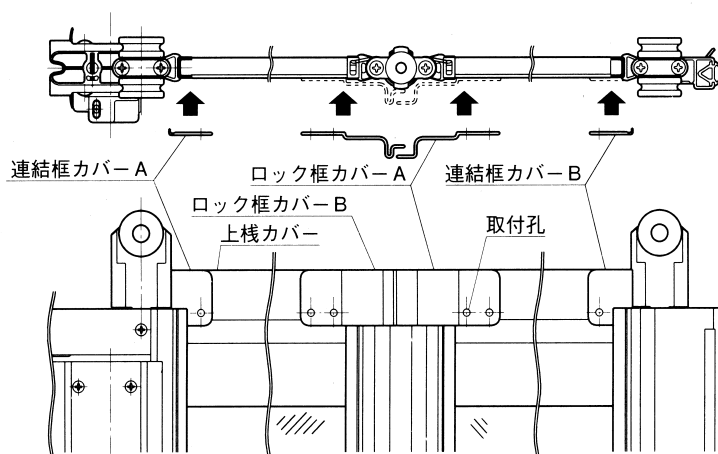
②下の框カバーの納まり図を参考にして、框カバーの穴の上からφ3.5のドリルで取付孔をあけて下さい。この時、穴は上棧カバーのV溝に合わせて下さい。

③同梱のネジ(φ4×8特サラD=6 3種)にて取付けて下さい。

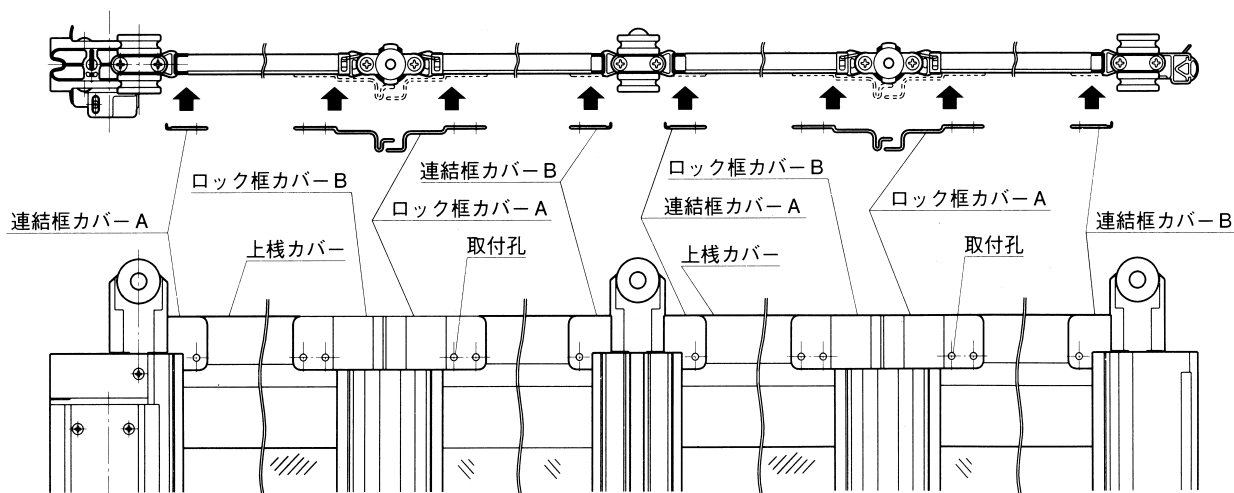
注 戸袋水切りカバーは戸袋レール内に納まるパネル及び框に取付け雨の吹き込みを防ぐためのものです。

1 框カバー納まり図

1) ロックパネルが2枚(1セット)の場合
(9尺の側面納り以外)



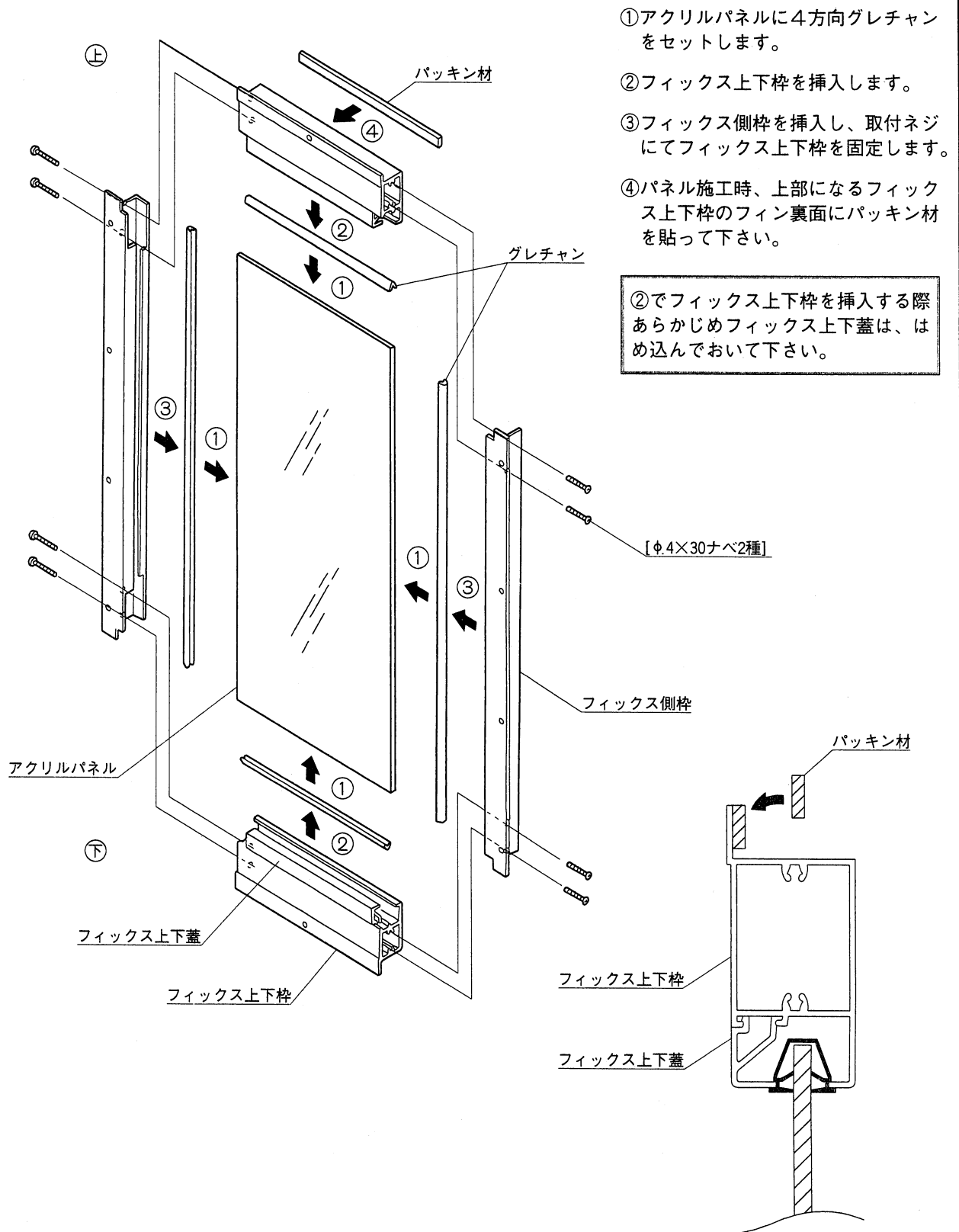
2) ロックパネルが4枚(2セット)の場合
(9尺の側面納り)



本図は右を示します(左は対称)

7-6 側面フィックスパネルの取付け

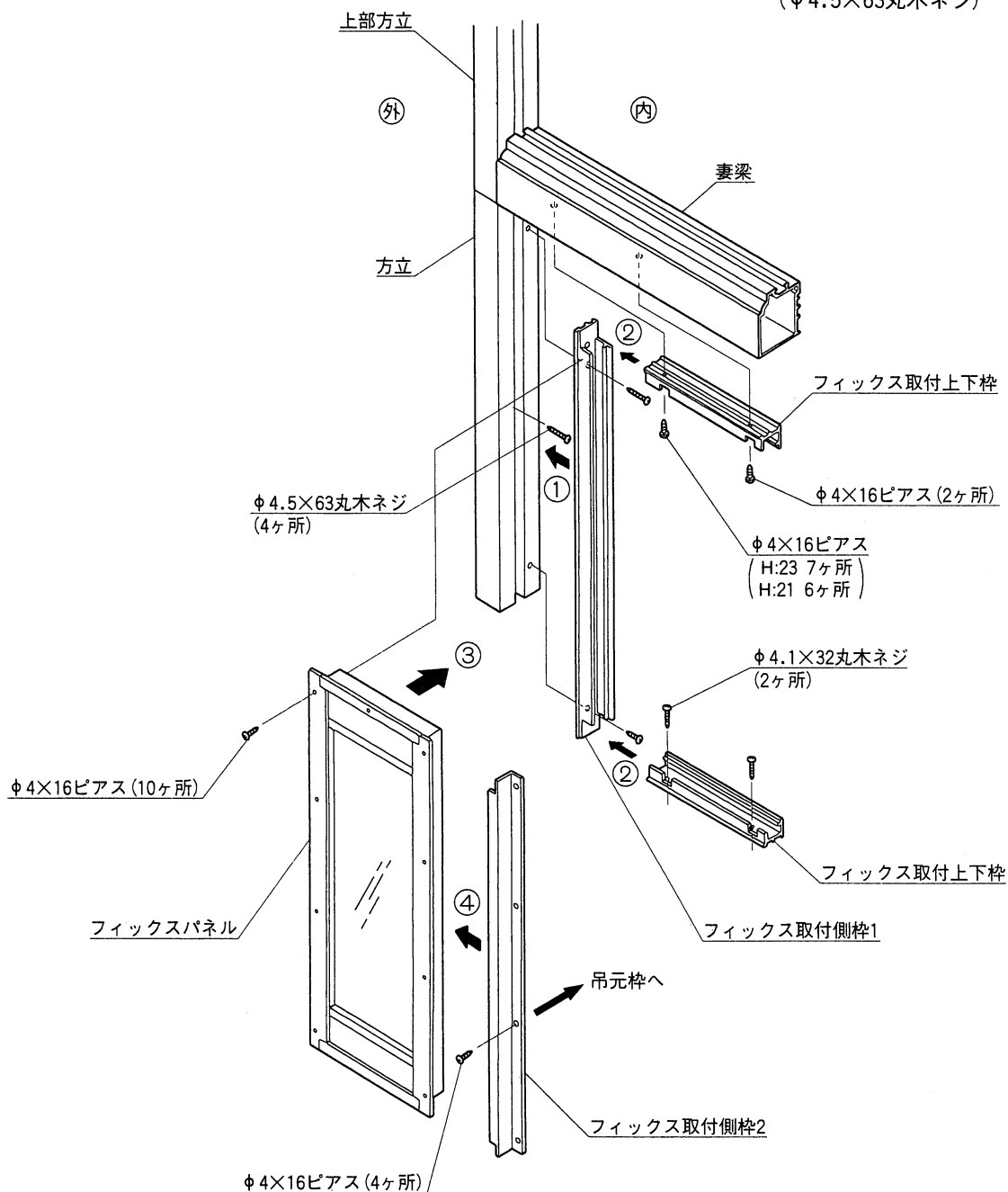
① 側面フィックスパネルの組立て



7-6 つづき

② 側面フィックスパネルの取付け

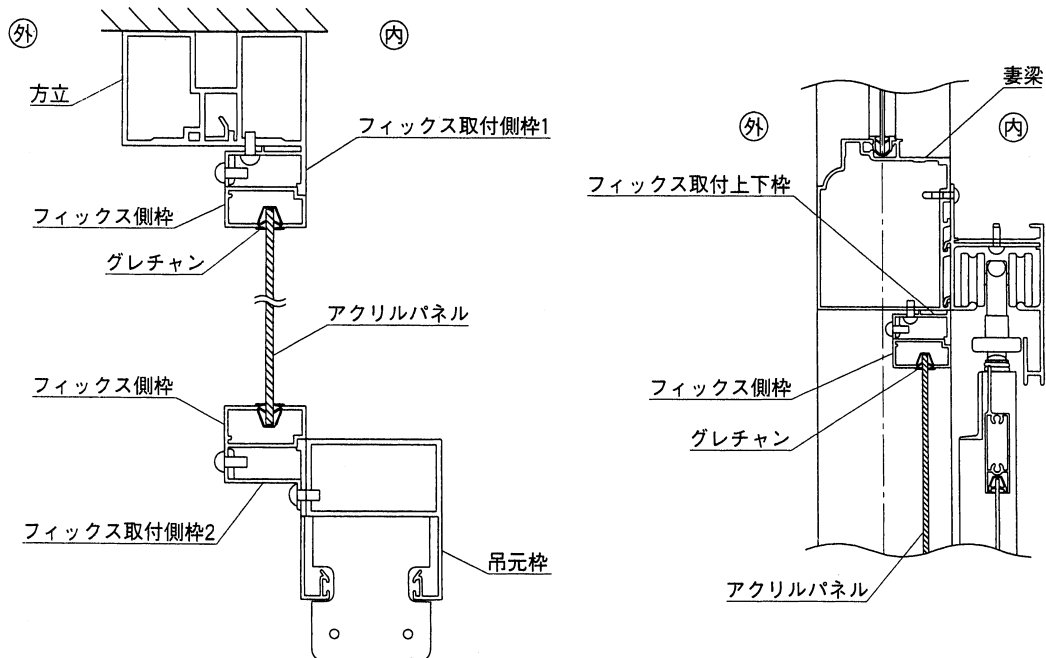
●方立を躯体側に取付けて下さい。
($\phi 4.5 \times 63$ 丸木ネジ)



- ① フィックス取付側枠1 を方立の内側の面に合わせて取付けて下さい。
- ② フィックス取付上下枠を妻梁の内側の面に合わせて取付けて下さい。同時に床部へも取付けて下さい。
(注床部に取付ける際、 $\phi 6$ 用フィッシャーを用いて下さい。)
- ③ フィックスパネルを側枠及び上下枠へ外側より挿入します。
- ④ フィックス取付側枠2 を挿入し、吊元枠へ取付けて下さい。

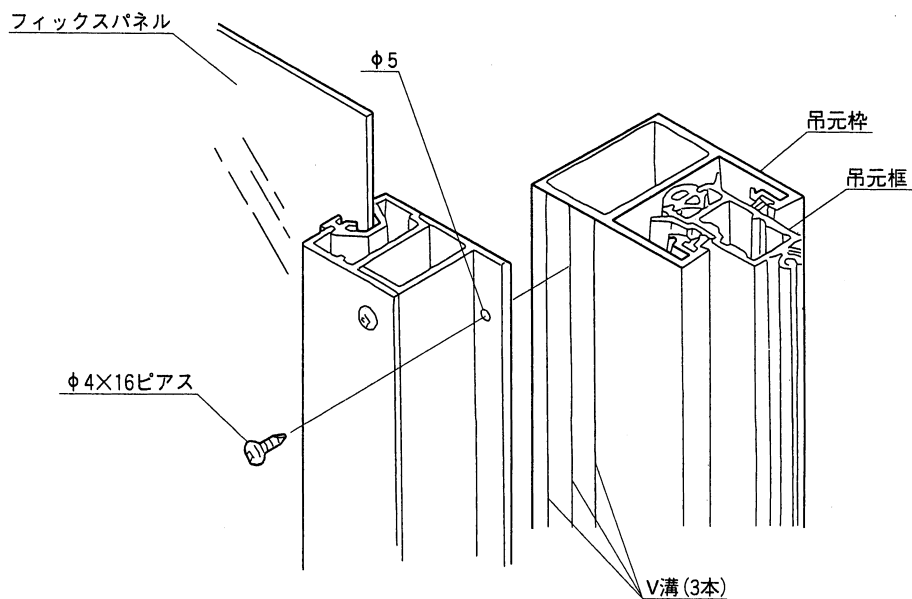
フィックス上下枠にパッキン材がついている方向を上にして取付けて下さい。

③ 側面フィックスパネルの納り



※本図は左側面の外収納仕様を示す。

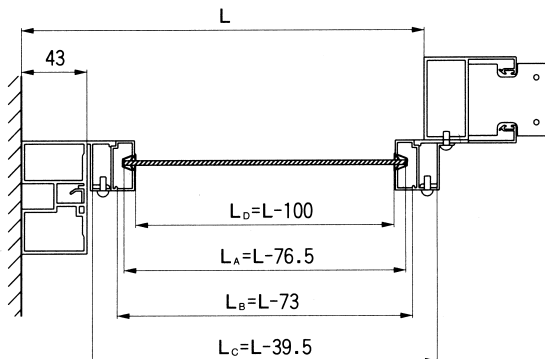
吊元枠へのフィックス取付側枠2の固定は、下図のように吊元枠側面の3本のV溝内に納まる位置で固定して下さい。
V溝より外れると折戸パネルの開閉に不具合を生じる恐れがあります。



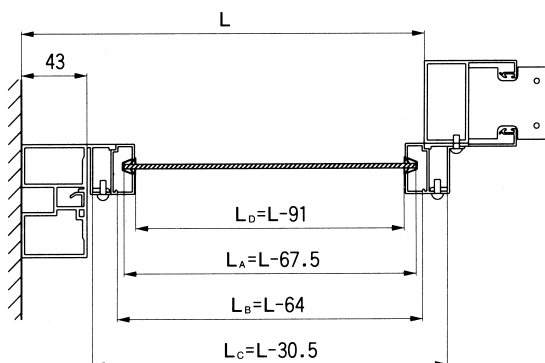
7-6 つづき

④ フィックスパネルの基本寸法

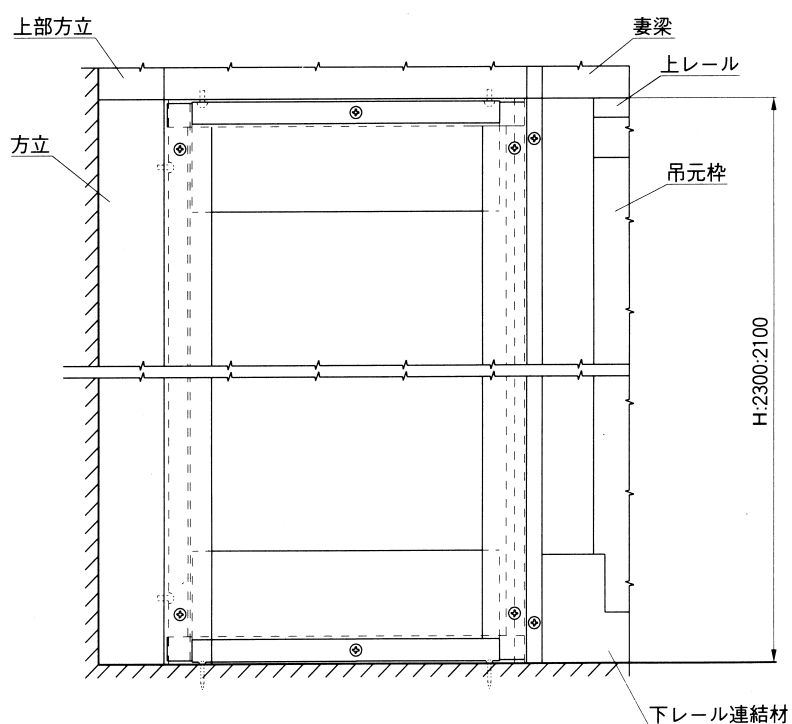
1) 9尺側面 (標準仕様)



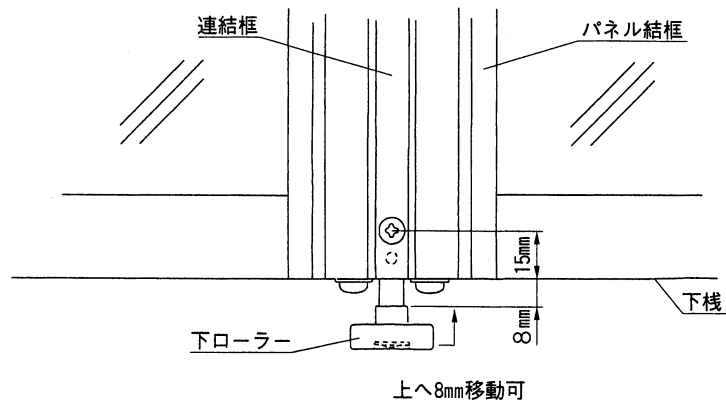
2) 7尺側面 (標準仕様)



※ (L_A : アクリルパネル寸法 L_c : フィックス取付上下枠寸法
 L_B : フィックス上下枠寸法 L_D : グレチャン(横)寸法



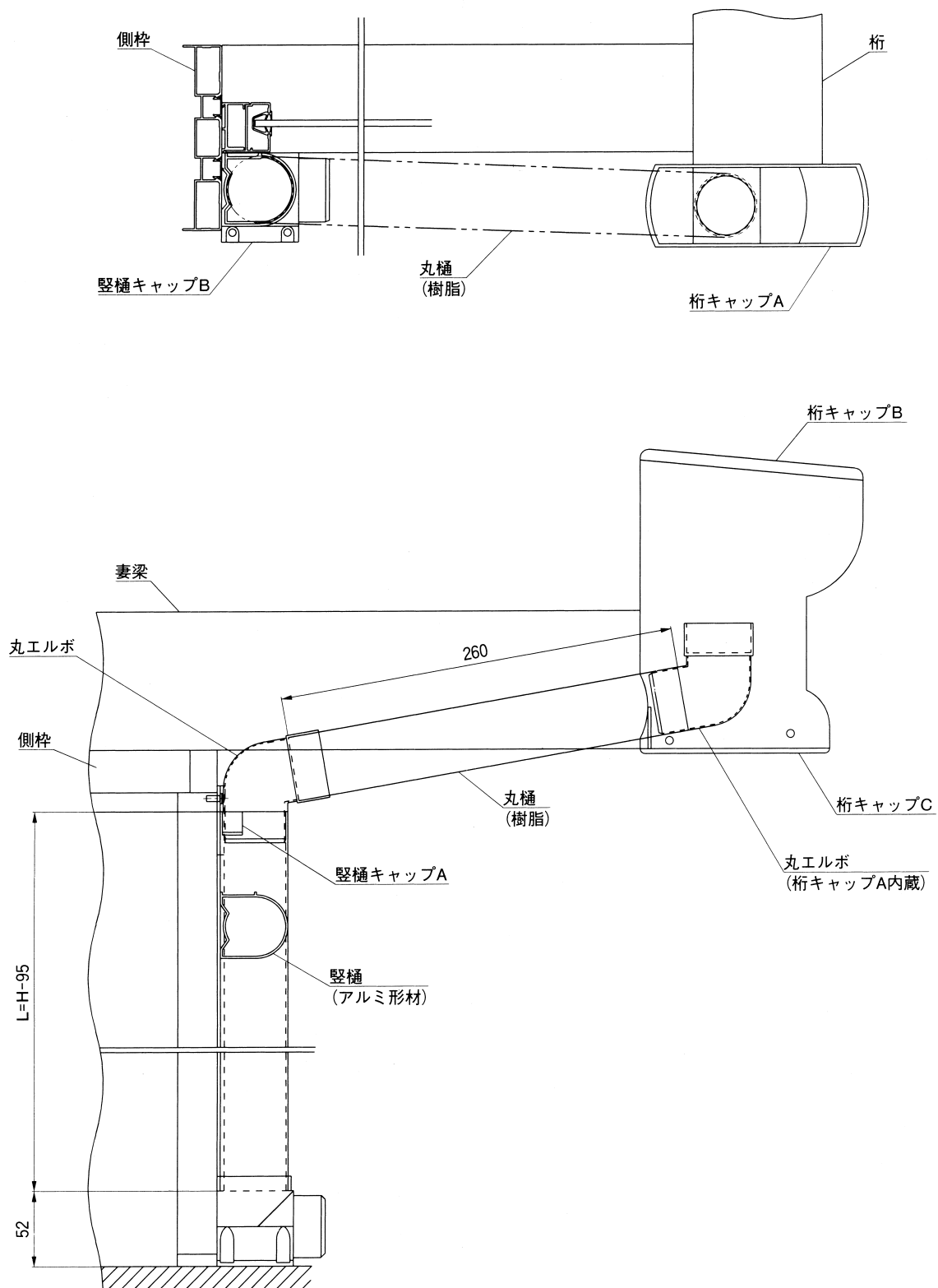
7-7 パネルの調整



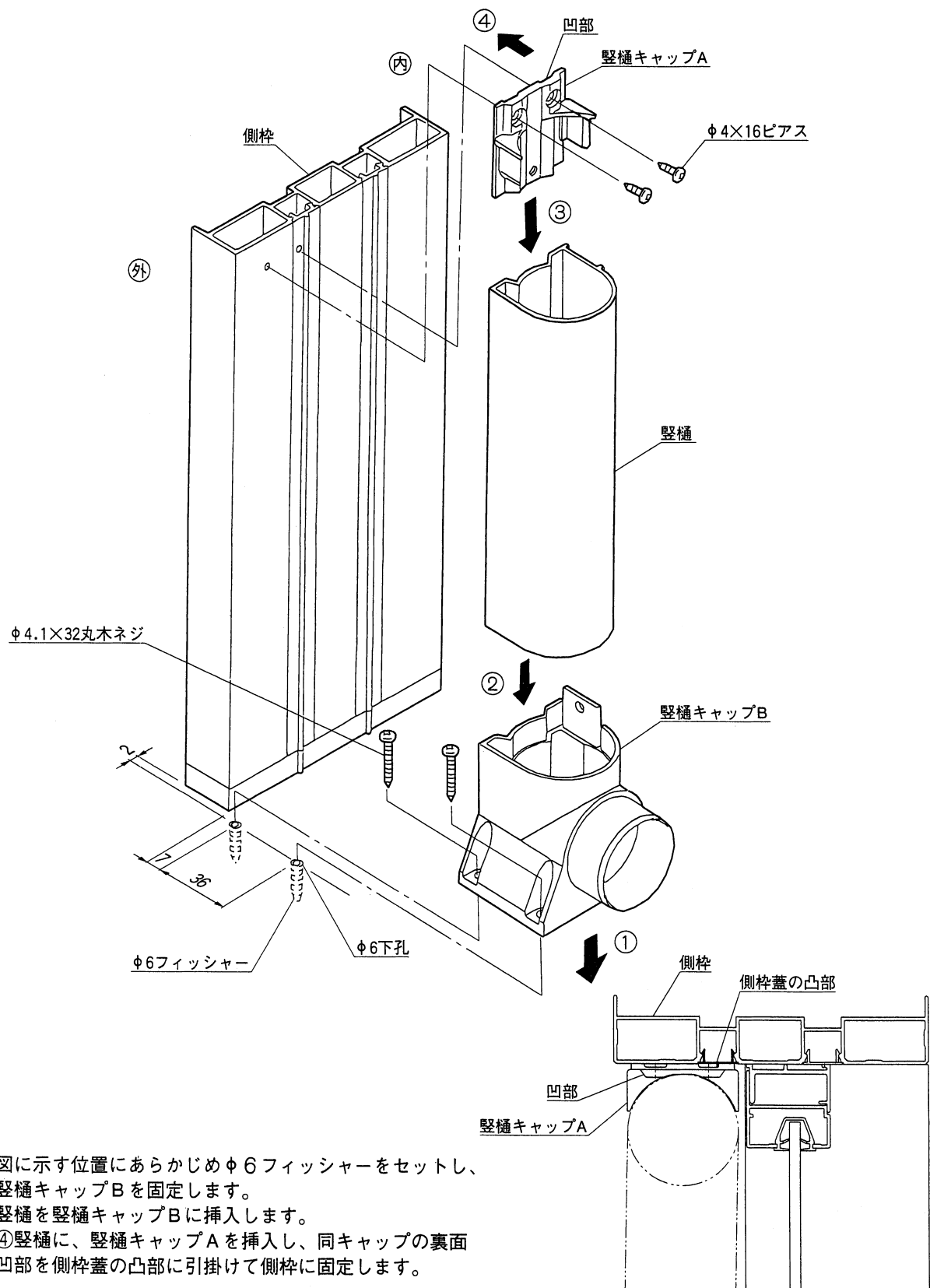
- パネルの下ローラーは2段階の調整式となっています。通常の設置の場合には問題の無いように設定されていますが、様々の条件により、下ローラーが下レール固定ネジと干渉する場合には、ローラーを1段上へ上げて下さい。

7-8 縦樋の取付け

① 縦樋の基本納り



② 縦樋の取付け

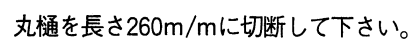


- ①図に示す位置にあらかじめ $\phi 6$ フィッシャーをセットし、縦樋キャップBを固定します。
- ②縦樋を縦樋キャップBに挿入します。
- ③④縦樋に、縦樋キャップAを挿入し、同キャップの裏面凹部を側枠蓋の凸部に引掛けて側枠に固定します。

縦樋は、H:2300用の切断寸法になっています。H:2100用としては200m/m切断して取付けて下さい。

※本図は左側面を示します。

② 縦樋の取付け(つづき)



- ①丸エルボと丸樋を連結し、堅樋および
桁キャップA(底面の内側)に挿入します。
- ②桁キャップCをはめ込みます。
- ③桁キャップBをはめ込みます。

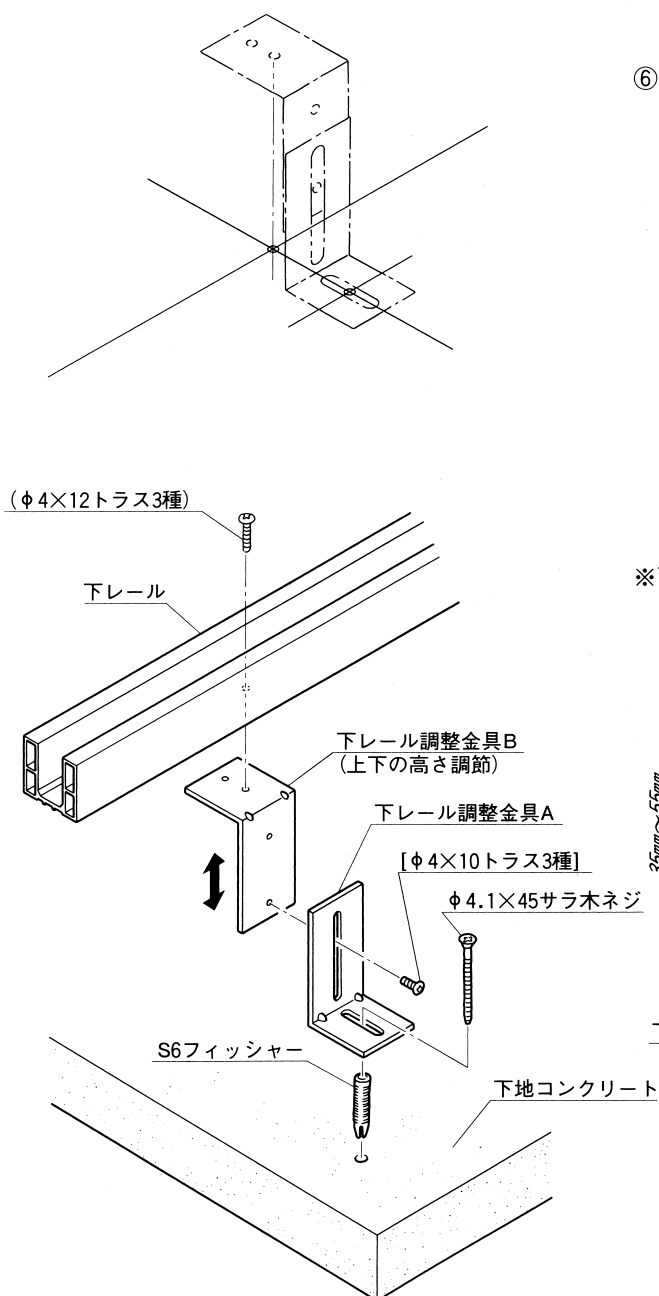
桁キャップと桁雨樋部との接合部にコーキングを施工して下さい。



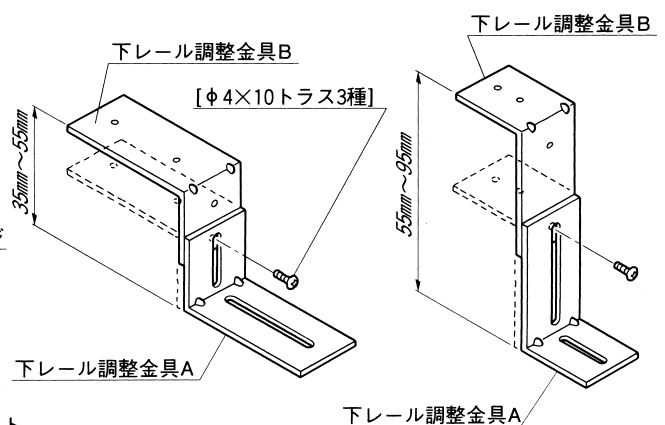
7-9 下レール調整金具の取付け(10ヶ入)

●床をテラス仕様にする際、下レールと下地コンクリート面の間を浮かして仮止め施工する場合にご利用下さい。

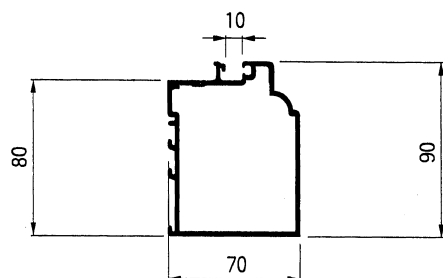
- ①桁部上レールから下げ振りにより土間コンクリート床面にマーキングして下さい。
- ②2点以上のマークをつけマーク間を線引きして下さい。
- ③あらかじめ下レールは組付してセットしておいて下さい。
- ④次に下レール調整金具Bと下レール調整金具Aを $\phi 4 \times 10$ トラス3種で仮止めして下さい。
- ⑤下レールの孔と下レール調整金具Aの2ヶの孔の内一方を合わせ、調整金具Aの長孔のセンターに印をして $\phi 6$ の孔を土間コンクリートにあげS6フィッシャーを入れてネジで固定して下さい。
- ⑥最後に調整ネジで高さを調整して下さい。



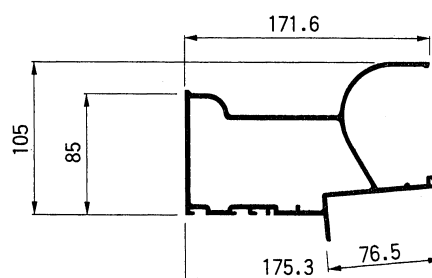
※下レールの調整金具のA、Bを下図の様に、組変えすることにより、35mm～95mmの範囲で高さ調整が出来ます。



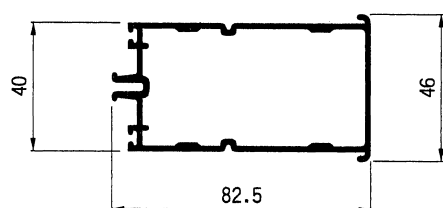
8 ブリッサ 形材一覧表



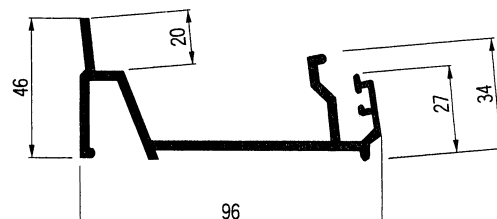
妻梁



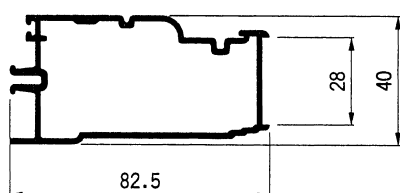
桁



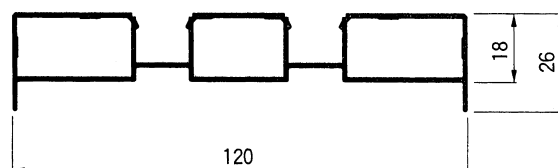
垂木



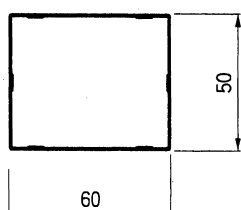
垂木掛け



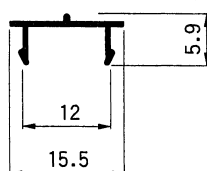
妻垂木



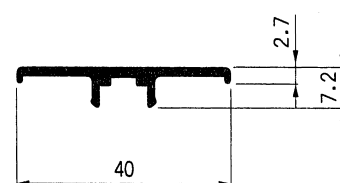
側枠



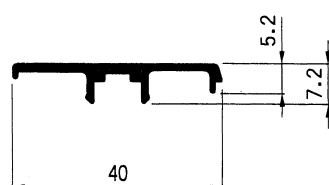
支柱



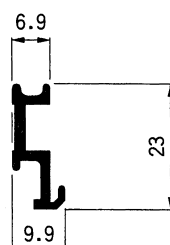
側枠蓋



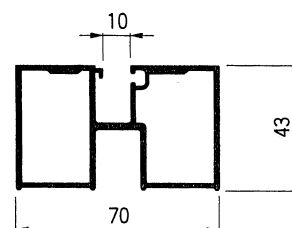
垂木カバー



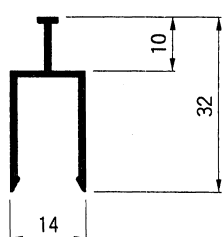
妻垂木カバー



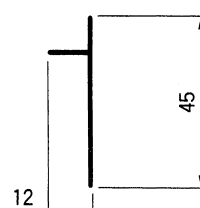
押え縁



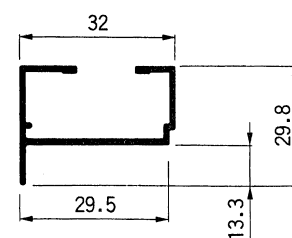
方立



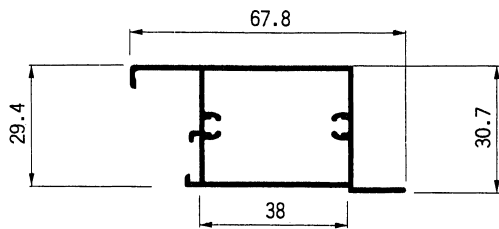
中骨



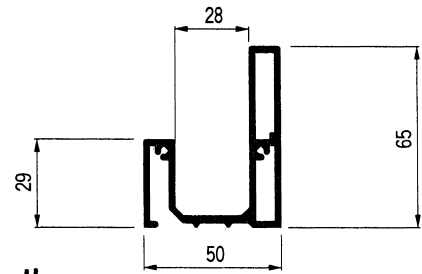
下留め金具



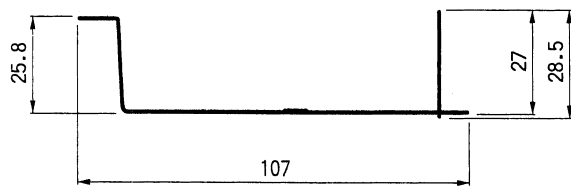
フィックス側枠



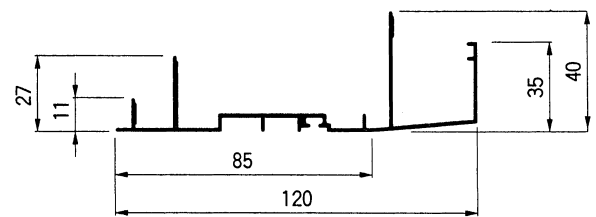
フィックス上下枠



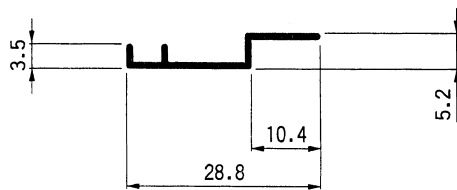
下レール



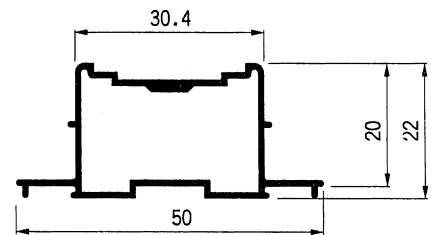
水切りベースB



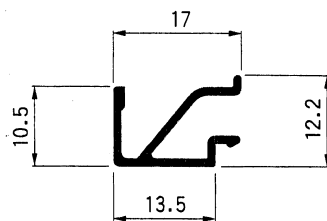
水切り笠木



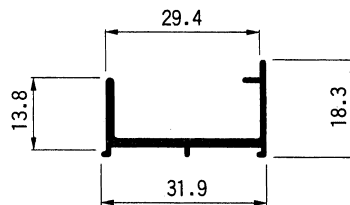
水切り笠木側枠



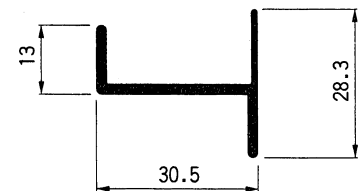
戸当り枠



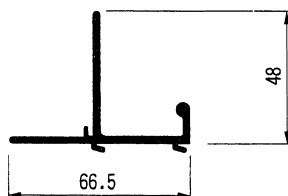
フィックス上下蓋



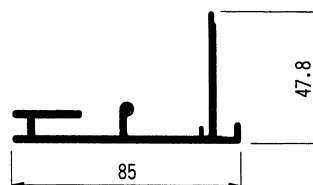
フィックス取付け枠1



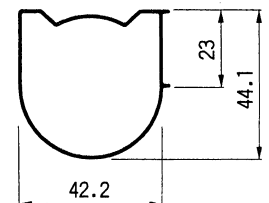
フィックス取付け枠2



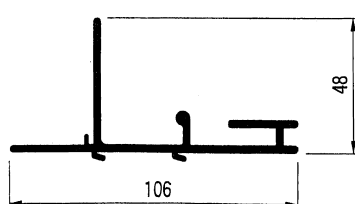
外収納用レール(引っ掛け側)



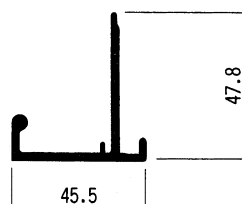
外収納用レール(カバー側)



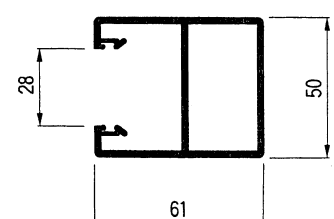
縦樋



内収納用レール(引っ掛け側)



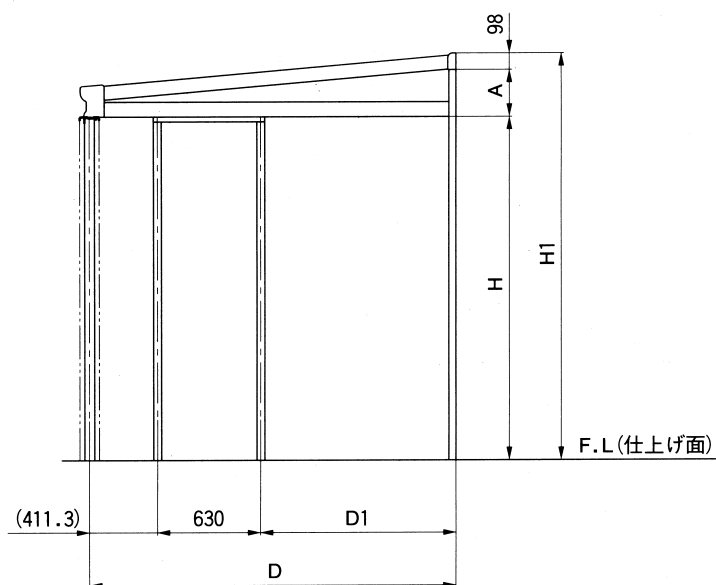
内収納用レール(カバー側)



吊元枠

9 ブリッサ 取付寸法図

① 出幅：7尺,9尺

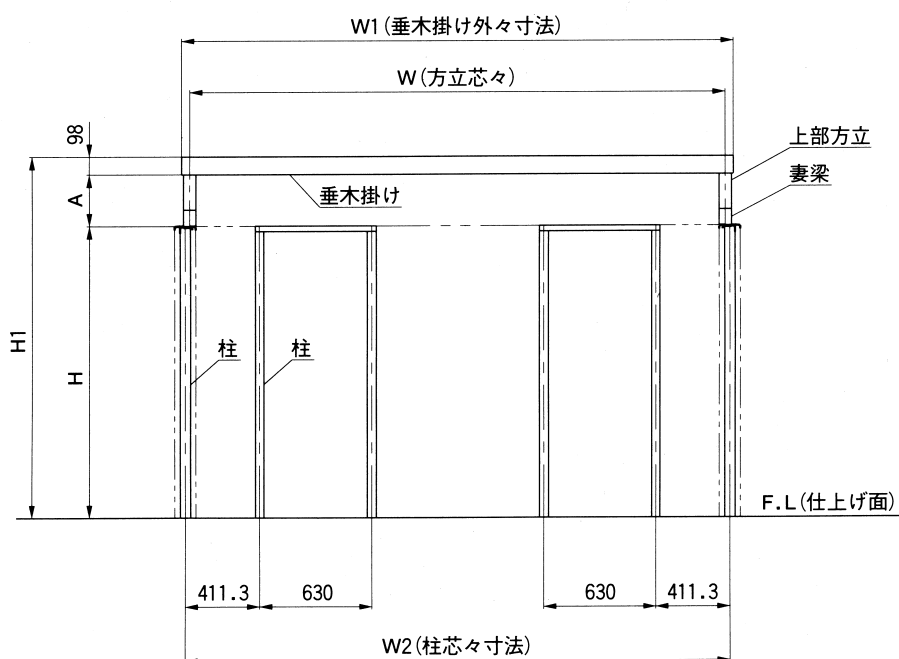


間口	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	2989	3744.5	4500	6011
W1	3079	3834.5	4590	6101
W2	3039	3794.5	4550	6061

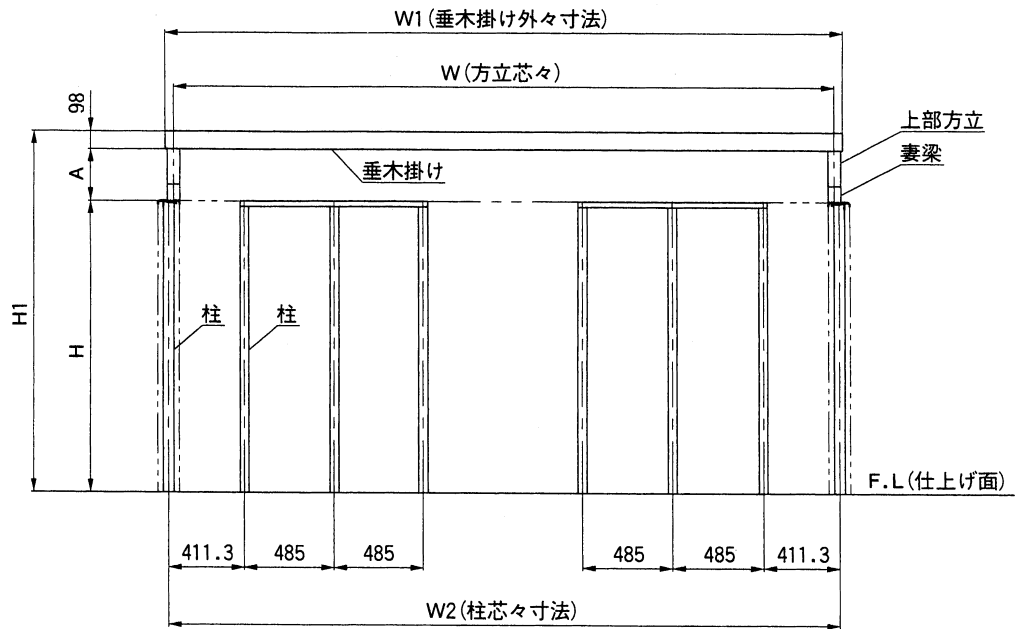
出幅7尺の場合				
H	H1	A	D	D1
2300	2683.5	285.5	2245	1203.7
2100	2483.5			

出幅9尺の場合				
H	H1	A	D	D1
2300	2725.5	327.5	2725	1683.7
2100	2525.5			

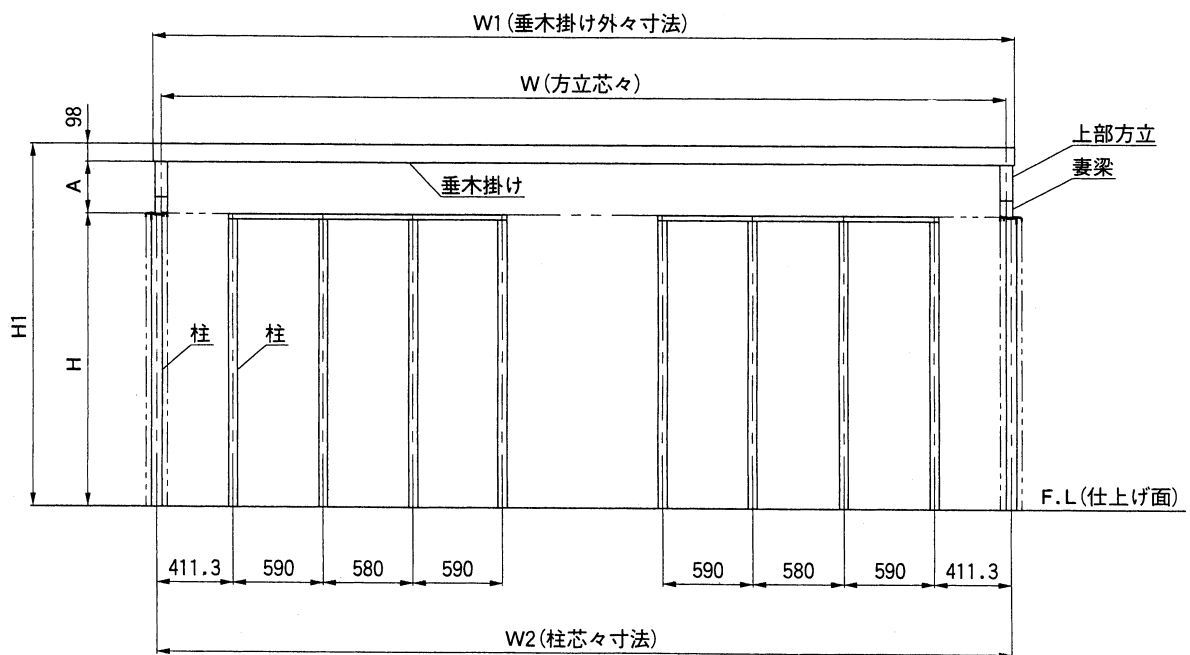
1) 1.5間および2.0間



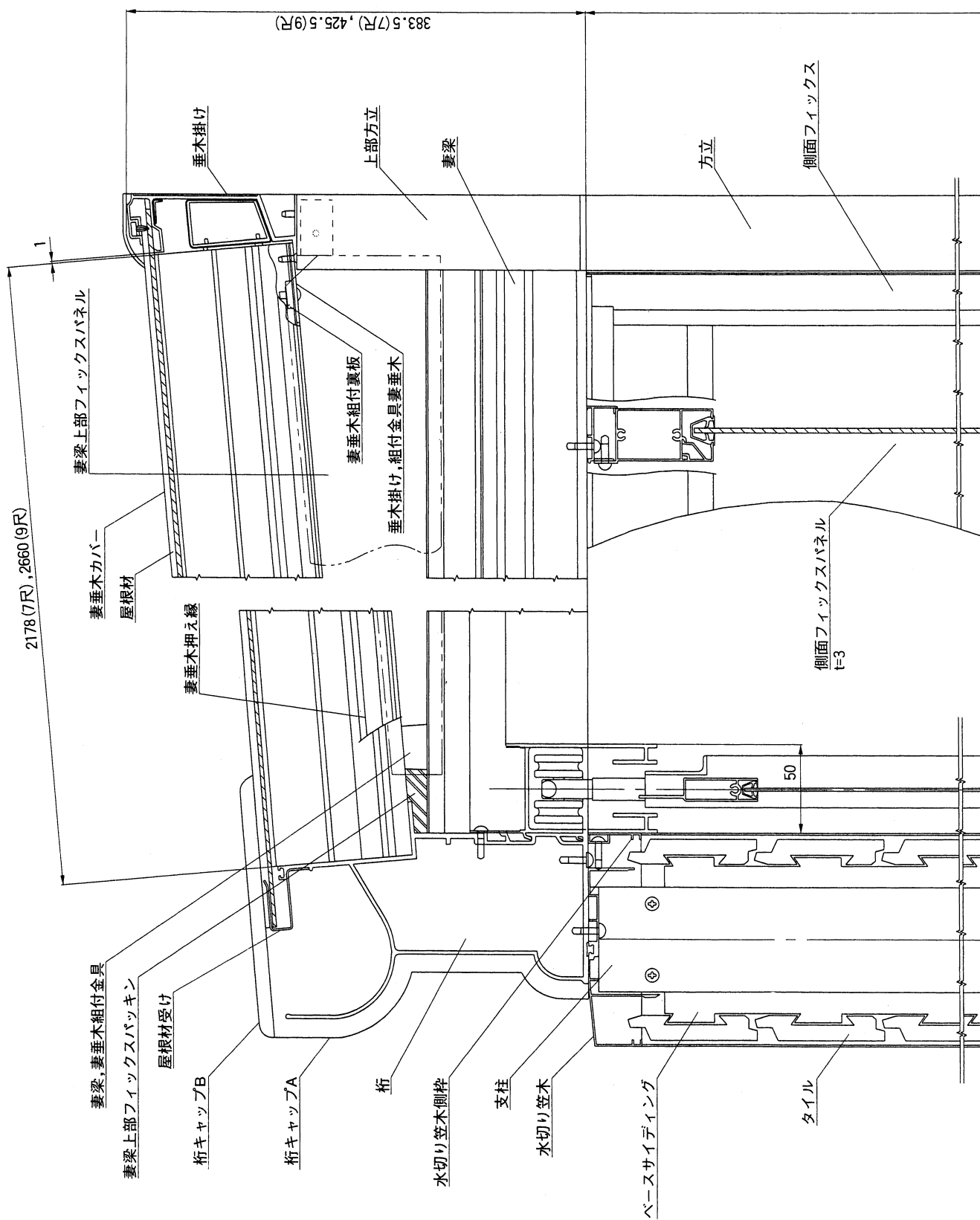
2) 2.5間

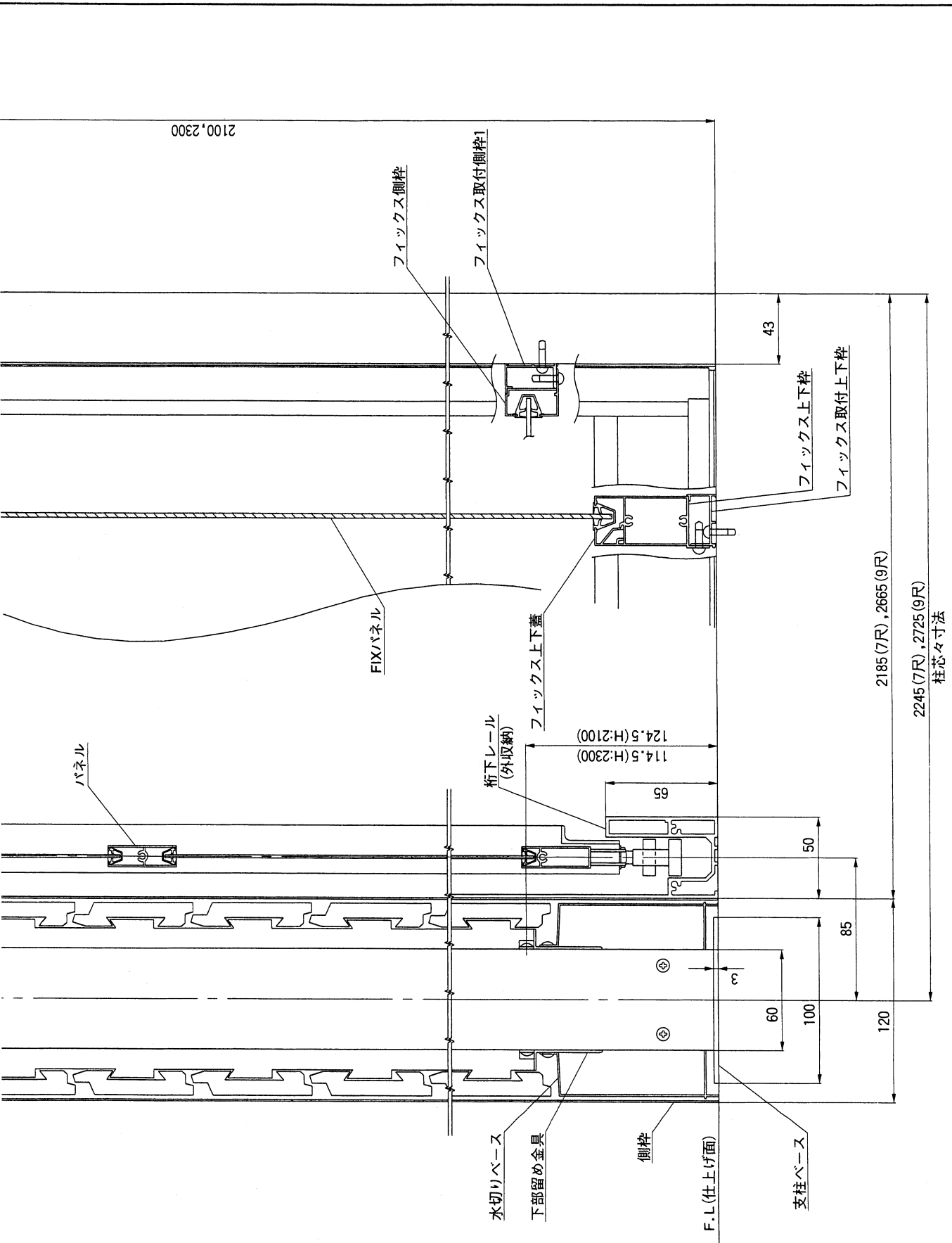


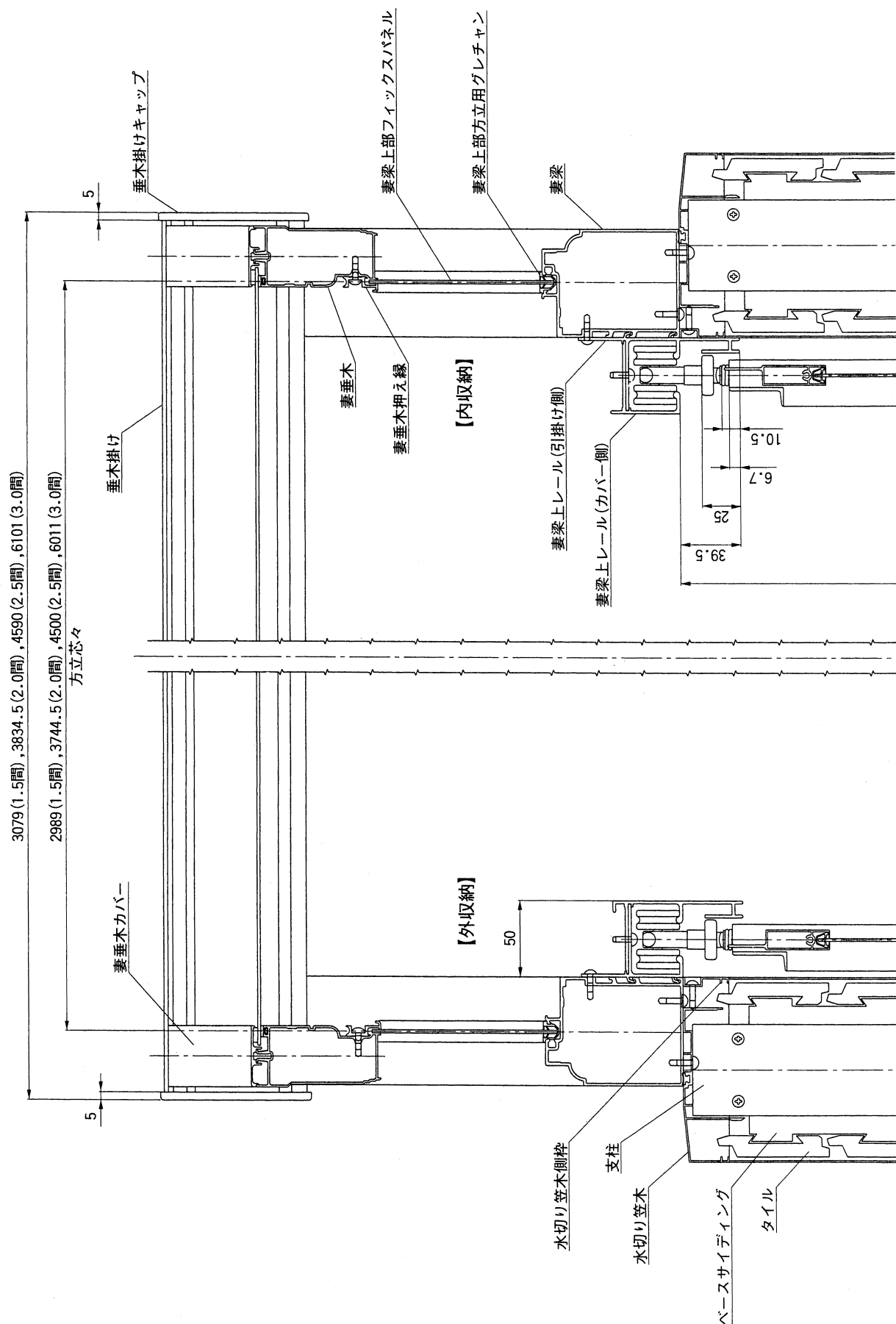
3) 3.0間

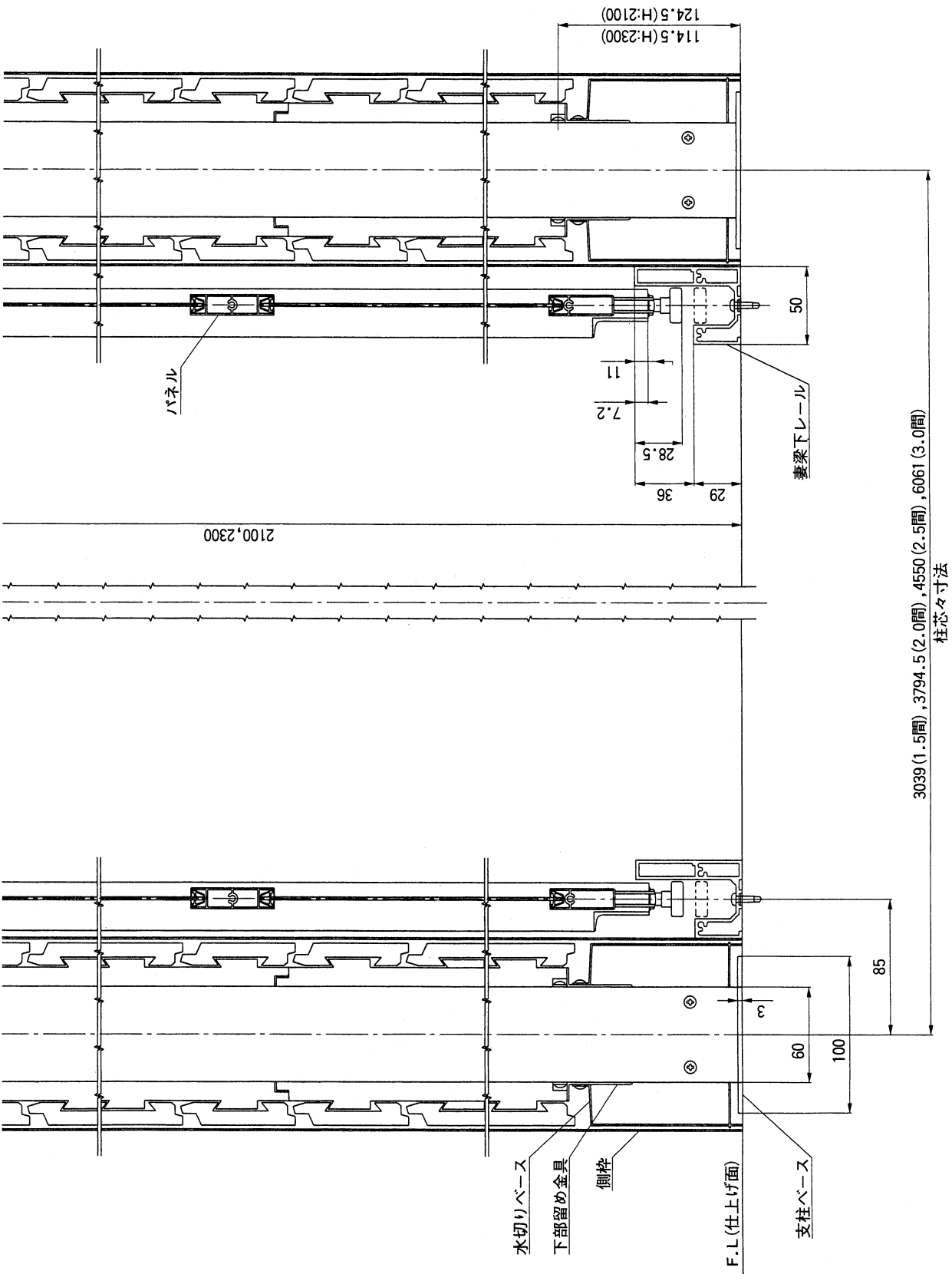


10 プリッサ 出幅断面納まり図









12 ブリッサ チェックリスト

12-1 本体関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
(1) 垂木掛けの高さ、水平が正しく設置されているか		22	● パネルの開閉動作の不具合 ● 各部材の組付不具合
(2) 桁と垂木は直角に取付けられているか		27	● パネルの開閉動作の不具合 ● 各部材の組付不具合
(3) 桁キャップにしっかりとコーキングが施されているか		58	● 雨もり
(4) 屋根材は桁側の屋根材受け金具まで引出されて取付けられているか		32	● 雨もり
(5) 垂木カバーは垂木掛けの奥まで(先付ビートに当たるまで)挿入して取付けられているか		32	● 雨もり
(6) 上部方立の垂直は正しくとられているか		22	● パネルの開閉動作の不具合 ● 各部材の組付不具合
(7) 接着剤は正しく塗布されているか		30	● タイルの脱落
(8) 側枠のパッキン材が正しく張り付けられているか		43	● 雨等の吹き込み
(9) 妻垂木カバーと桁の組付部へコーキングは正しく施されているか		32	● 雨もり

12-1 レール関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
(1) 戸当りストッパーは正しく取付けられているか		49	● パネルの開閉動作の不具合 ● パネルの破損 ● スムーサの破損
(2) 上レール、下レールそれぞれの連結部は内側壁が段差無く連結されているか		37 44	● パネルの開閉動作の不具合
(3) 吊元枠、戸当り枠とレール連結材の取付けビスはφ4×8特サラ(D=6)を使用しているか。		41 47	● パネルの開閉動作の不具合 ● 化粧壁とのすき間の発生

12-3 パネル関係

チェック項目	チェック欄	参照ページ	発生すると思われる不具合点
(1) 折戸パネルの上中下3ヶ所の引掛け嵌合部は確実にセットされているか		48	● パネル連結框の破損 ● パネル開閉動作の不具合
(2) 折戸パネルの上下方向は正しくセットされているか (連結框端にバネのある方が上部となる。)		48	● パネル開閉の不具合 ● バネの破損
(3) 折戸パネル抜け防止のためにパネルストッパーは全て取付けられているか		48	● 折戸パネルの抜けおよび連結框の破損
(4) 折戸パネルの全閉、全開はスムーズに行なえるか 重い、異音、ひっかかり等の異常はないか		48 49	● パネルの破損
(5) 折戸パネルの内収納、外収納は正しくセットされているか		48	● 折戸パネルの開閉不可 ● 折戸パネルの破損
(6) フィックスパネル取付側枠2の吊元枠への固定は吊元枠側面のV溝(3本)の間にビス止めされているか		53	● 折戸パネルの開閉不具合 ● 吊元枠の破損
(7) 錠は正しく取付けられているか		46	● パネルの施錠解錠の不具合

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

工事店様へ

- 施工時、本体に付着したコンクリート等は硬化前に完全に拭き取ってください。
- ゴミ、汚れ等を長期間放置しますと、汚れが落ちにくくなりますので、速やかに清掃してください。
- みだりに改造、変更はしないで下さい。
- 施工終了後、取付説明書及び取扱説明書は施主様にお渡し願います。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

